



2024 年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告書

2025 年 12 月



目 次

I	かながわ文化芸術振興計画について	1
1	かながわ文化芸術振興計画とは	
2	かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け	
3	重点施策の実施状況の概要	
II	重点施策の実施状況	
重点施策 1	地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	5
重点施策 2	子ども・若者の文化芸術活動の充実等	8
重点施策 3	共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等	10
重点施策 4	国際・観光分野との連携	12
重点施策 5	文化芸術の振興を推進するための環境整備	15
III	基本的な施策の実施状況	
1	県民の文化芸術活動の充実	18
2	文化資源を活用した地域づくりの推進	21
3	文化芸術の振興を図るための環境整備	23
IV	施策事業の実施状況一覧	25
V	進行管理のための参考指標等	
1	総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け	65
2	県立文化施設の利用者数	68
3	文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度	70
4	県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）	72
5	過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	78
VI	年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）	82

・表紙上段：日本舞踊に学ぶ‘和’の作法

・表紙下段：共生共創事業 精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト（撮影：橋本貴雄）

I かながわ文化芸術振興計画について

1 かながわ文化芸術振興計画とは

本県では、文化芸術振興基本法（現文化芸術基本法）の趣旨に則り、文化芸術の振興についての基本理念や施策の基本となる事項を明らかにした神奈川県文化芸術振興条例（以下「条例」という。）を2008（平成20）年7月に制定し、2019（平成31）年4月に改定しました。

また、同条例に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本的な計画を定めることを目的として、かながわ文化芸術振興計画（以下「計画」という。）を2009（平成21）年3月に策定し、その後、2014（平成26）年3月、2019（平成31）年3月及び2024（令和6年）3月に改定を行っており、現行計画は、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度を計画期間としています（以下「第4期計画」という。）。

計画においては、5年間を計画期間としており、これまでの間の文化芸術を取り巻く状況の変化とこれまでの取組の実績と課題を踏まえ、今後取り組むべき「基本的な施策」及び「重点施策」を整理しました。

2 かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け

県は、第4期計画に掲げる「重点施策」及び「基本的な施策」に基づき取組を進めています。この年次報告は、それぞれの施策に係る2024（令和6）年度の実施状況について県文化芸術振興審議会に報告し、御意見を踏まえまとめたものです。

このうち、重点施策については概要を3のとおり整理しました。

資料の構成は、「重点施策の実施状況」（5～17 ページ）、「基本的な施策の実施状況」（18～24 ページ）で整理しています。

「Ⅱ 重点施策の実施状況」（5 ページ）

計画の施策体系のうち、「重点施策」と位置付けている各施策の実施内容を記載しています。また、その効果、課題、今後の方向性について、記載しています。

「Ⅲ 基本的な施策の実施状況」（18 ページ）

計画に掲げる「基本的な施策」に位置付けられている各事業の実施状況について、その概要を記載しています。

「Ⅳ 施策事業の実施状況一覧」（25 ページ）

2024（令和6）年度に実施した施策の概要を一覧にしています。

「Ⅴ 進行管理のための参考指標等」（65 ページ）

施設の利用者数、利用率など量的なものと、文化芸術に関する県民の意識など質的なもの両面から、それぞれ関連するデータを記載しています。

I かながわ文化芸術振興計画について

3 重点施策の実施状況の概要（詳細は5～17ページに記載しています。）

「重点施策」に位置付けた各事業の2024（令和6）年度の実施状況は次のとおりでした。

重点施策1：地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用



かながわ伝統文化こども歳時記

○県民が伝統文化の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見」などの地域の伝統文化を紹介する事業を実施した。

○伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成することを目的として「かながわ伝統文化こども歳時記」を実施した。

重点施策2：子ども・若者の文化芸術活動の充実等



演劇部お助け講座

○県立文化施設で「KAATキッズ・プログラム2024」や「神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ2024」、「かなぶんキッズクラブ」といった取組を実施し、演劇や音楽、ダンス、文学など、子どもたちを対象とした様々な芸術作品を体験する機会を提供した。

○「演劇部お助け講座」では、中学校の演劇部の部員244名を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。

重点施策3：共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等



県営団地におけるシニア合唱

○「シニア劇団」や「シニアダンス企画」の運営、障がい者等が参加する舞台公演等の実施など、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる取組を行った。また、県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を実施し、県立音楽堂にて成果発表会を実施した。

○「ともいきアートサポート事業」の一環で、障がい者のアート作品を横浜赤レンガ倉庫で展示する「第1回かながわともいきアート展～生きること、表現すること～」を実施し、発表機会の確保・創作活動の支援を図った。

重点施策4：国際・観光分野との連携



日英国際共同制作 KAAT × Vanishing Point『品川猿の告白
Confessions of a Shinagawa Monkey』(撮影：細野晋司)

○日英の国際共同制作によりKAAT神奈川芸術劇場が創作した「品川猿の告白 **Confessions of a Shinagawa Monkey**」は、スコットランドでも上演を行い、日英両国で演劇賞を受賞した。

○ベトナム・神奈川の文化や魅力を感じられるプログラムを盛り込んだイベントを引き続き開催し、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流をさらに推進した。

○観光情報ウェブサイト「観光かながわNOW」等で県内の伝統的な行事や祭りの開催など、文化資源に関する地域情報の発信を行った。

重点施策5：文化芸術の振興を推進するための環境整備



ありがとう神奈川県民ホール (撮影：阿部章仁)

○県内の文化芸術イベントの情報を一体的に集約した「イベントカレンダー」を日英併記で作成し、情報発信を行った。また、県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信した。

○2025年4月から休館した県民ホール本館を会場に、現行ホール最後の県主催イベントとして「ありがとう神奈川県民ホール」を実施し、休館後の展開に向けた機運を高めた。

2024年度には、県内の文化芸術活動が新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復してきた。県立文化施設、県立社会教育施設の来場者数は年々増加傾向にあり、博物館・美術館、劇場・音楽堂、文学館等の文化施設において展示・公演等を鑑賞することや、建築、史跡等の文化財に触れることといった文化芸術に親しむ機会が提供されるとともに、オンラインによる公演等の配信により、文化芸術を表現・鑑賞する機会を幅広く提供し、有意義な文化芸術体験の充実を推進した。

また、人生100歳時代が到来する中、共生共創事業の参加者（出演者、観覧者等）満足度は90.2%を達成し、共生社会の実現を文化芸術の面から後押しすることができた。

今後は、本県の文化芸術を一層振興していくため、活動の場の提供や補助金等により、県内における文化芸術活動を支援するとともに、伝統芸能の普及振興や共生社会の実現、人材の育成を推進していく必要がある。また、県民ホール本館が2025年4月から休館したことから、休館中も引き続き、県民の文化芸術の鑑賞・参加の機会を確保できるよう取り組むことが求められる。さらに、市町村や関係団体等と今後も連携し、年齢や障がいなどに関わらず誰もが県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しめるよう、文化芸術活動の裾野を広げる取組をオール神奈川で推進していく必要がある。

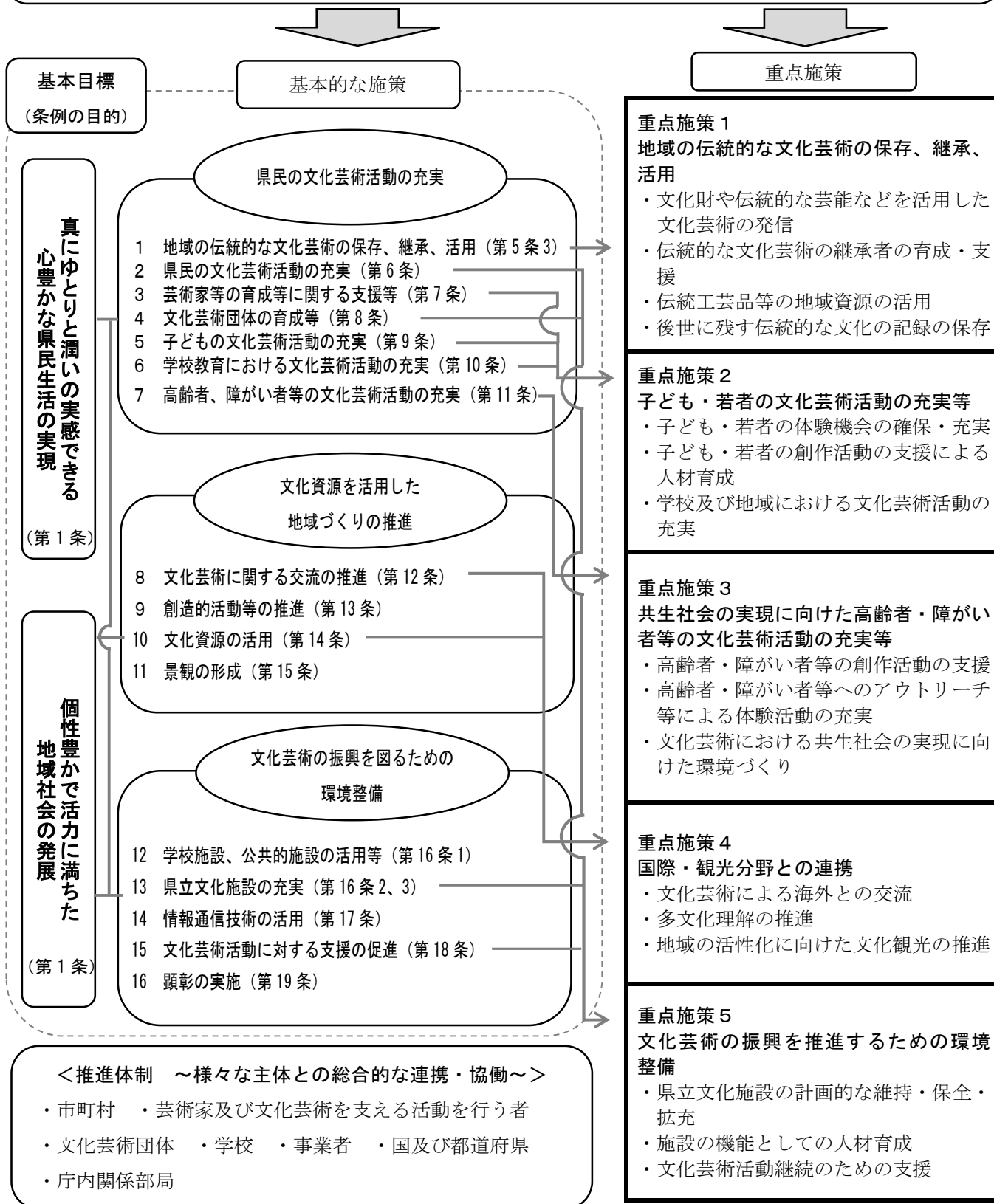
I かながわ文化芸術振興計画について

<第4期計画（計画期間：2024（令和6）年度～2028（令和10）年度）の施策体系図>

かながわ文化芸術振興計画の概要

<施策展開の基本的な視点>

- 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャーを推進する
- 共生共創事業をはじめとして、文化芸術を通じて、共生社会の実現を後押しする



Ⅱ 重点施策の実施状況

重点施策 1 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

1 施策の内容

(1) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信

市町村と連携しながら、県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、川崎市と横浜市鶴見区の2か所を会場に「カナガワ リ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見」を開催した。川崎市では、多様で豊かな民俗芸能の公演を実施するとともに川崎市に伝わる獅子舞及び神奈川県にゆかりのある世界の獅子舞の公演を実施したほか、横浜市鶴見区では、県内にある2つの寺院の^{しょうみょう}声明公演を行った。

また、「かながわ民俗芸能祭」では、地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。

これらの取組により、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を醸成した。



カナガワ リ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見

(2) 伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援

伝統的な芸能についての理解と認識を深めるとともに、継承者の育成につながるよう、高等学校等において、伝統的な芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行う「相模人形芝居学校交流ワークショップ」を実施した。また、子どもを対象とした伝統的な芸能の鑑賞に加え、祭礼や民話、昔遊びといった地域の伝統文化の体験プログラムを組み合わせた「かながわ伝統文化こども歳時記」では、複数回の稽古を経て成果発表まで行うワークショップを実施したほか、子どもスタッフの取組を行うことで、参加する子どもたちの成長や達成感を高めることができた。このほか、小・中学生を対象に日本舞踊等を体験できる「日本舞踊に学ぶ



相模人形芝居学校交流ワークショップ

‘和’の作法」や、能の歩き方や使用する楽器の体験等を行う「能楽ワークショップ」の取組により、伝統的な芸能の体験機会の充実を図った。

（３）伝統工芸品等の地域資源の活用

ものづくりに必要な設備機器等の木製品製造事業者への貸出しや、事業者からの依頼に基づく新商品の試作等に係る加工・製作を実施し、工芸品を主とする木製品事業者向けの支援を行った。

また、「工芸ヤングフォーラム」を実施し、木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供したほか、専門家による講座を開催することで市場に受け入れられる工芸品の商品づくりを支援し、地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を継承する人材の育成を図った。

（４）後世に残す伝統的な文化の記録の保存

地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、現状等を記録する記録保存調査を行った。令和４年度からの３年間の調査で、「菊名のあめ屋踊り」をはじめ、県内に伝承される「飴屋踊り、万作踊り」について、歴史や芸能の特徴などを記録保存し、報告書として取りまとめた。

また、県が実施した伝統的な芸能に係る事業について、報告書の整理を実施し、記録として後世に残していく取組を行った。

2 施策の効果

伝統芸能や地域で受け継がれている貴重な民俗芸能を紹介する公演により、県民の理解・認識を深めることができた。

「かながわ伝統文化こども歳時記」の伝統芸能ワークショップでは、複数回の稽古を経て成果発表まで行う構成としたほか、子どもスタッフの取組を実施し、子どもたちが主体的に参加する



かながわ伝統文化こども歳時記

機会を増やすことで、成長や達成感を高めることができ、ワークショップに参加して「大変よかった」・「よかった」が100%と、好評を得た。

また、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見」のアンケート結果では、公演に「大変満足している」・「満足している」が川崎で95.2%、横浜鶴見で97.5%となったほか、伝統文化に大変興味を持ったという回答も多く、本県ゆかりの伝統文化の魅力を伝えることができた。

3 今後の課題

人口減少、少子高齢化の影響などにより、地域において伝統的な芸能の継承者が不足し、伝統文化が失われていくおそれがある。伝統的な芸能の担い手だけでなく、広く県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、守り、継承していけるよう、伝統的な芸能の発表の機会及び鑑賞・参加による実際に体験できる機会を継続して提供していくことや、伝統的な文化芸術の継承者に対する支援の充実を図るとともに、地域のコミュニティの活性化などに文化資源を活用していくことが、引き続き必要である。

4 今後の方向性

県民をはじめ多くの人たちが県内各地域の伝統的な芸能を知る機会を持ち、その価値を知って大切に継承していけるような公演・ワークショップ等の事業や、伝統的な芸能の記録を保存し、後世に伝えることを視野に入れた取組を継続して実施する。

その際、県内市町村や文化芸術団体とも連携しながら、各事業の参加者や対象地域を広げていくとともに、地域に根付かせ、地域住民の具体的な動きにつなげていく取組を進める。

また、次世代を担う子ども・若者が文化財や伝統的な芸能に興味を持つような企画・広報を目指し、より幅広い世代に向けて発信する取組を進める。



能楽ワークショップ

重点施策2 子ども・若者の文化芸術活動の充実等

1 施策の内容

(1) 子ども・若者の体験機会の確保・充実



オープンシアター2024 オルガンの謎を解き明かそう！（撮影：岩田えり）

県立文化施設での子どもたちを対象とした公演として、KAAT 神奈川芸術劇場では「KAAT キッズ・プログラム 2024」を実施し、子ども向けのプログラムを上演した。県民ホール本館では、ホールを身近に感じてもらう取組として「オープンシアター2024」を実施したほか、神奈川近代文学館における「かなぶんキッズクラブ」では、子どもたちが文学作品に触れる機会を提供した。また、かながわアートホールでは「神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ 2024」

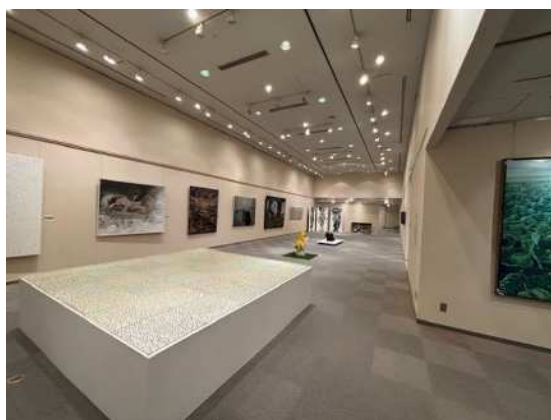
を実施し、小学4年生～高校3年生の子どもたちが神奈川フィルハーモニー管弦楽団員の指導を経て神奈川フィルと共演するなど、演劇や音楽、ダンス、文学など、様々な芸術作品を体験する機会を提供した。

(2) 子ども・若者の創作活動の支援による人材育成

青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる「紅葉坂舞台塾」を開講し、ダンス、音楽、演劇等の舞台芸術のレッスン及び成果発表会を通じて、コミュニケーション力、表現力、社会性を持つ人材の育成を図った。

また、青少年センター スタジオHIKARI及びかながわアートホールを活用し、若者たちが自らの才能や可能性を引き出し、発信する場として、会場・設備・備品を無料で提供する「マグカルシアター」を実施した。

さらに、新人作家の育成と美術文化の向上のため、美術作品の発表機会を提供し、創作活動の支援を図るとともに、優れた美術作品を県民に紹介することを目的とした全国公募による「神奈川県美術展」や、中高生等を対象とした「神奈川県美術展 中高生特別企画展」を開催し、青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援を行った。また、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行った。



神奈川県美術展 中高生特別企画展 鎌倉巡回展

さらに、神奈川近代文学館においては「かなぶんキッズクラブ」を実施するなど、演劇や音楽、ダンス、文学など、様々な芸術作品を体験する機会を提供した。

（３）学校及び地域における文化芸術活動の充実

文化芸術の次世代を担う子どもたちが、文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、青少年センターでは中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座として「演劇部お助け講座」を実施した。

また、県立近代美術館におけるフリースクール生徒を対象としたワークショップの実施や、県立歴史博物館及び生命の星・地球博物館における学校への出張講座を実施し、生徒の好奇心や向学心を育む一助となることができた。

さらに、博物館施設における博物館学芸員実習、インターンシップ、職場体験等を実施し、博物館の資料の取扱いや整理の方法などについて実践的に学ぶ機会を提供するとともに、「キャリア教育」の一環として、将来における幅広い職業選択の視野を広げる取組を行った。

２ 施策の効果

県立文化施設での子ども向け公演の開催、県内の小学校等へのアウトリーチやワークショップ等を実施し、舞台やオーケストラの鑑賞機会が少ない子どもや若者が優れた文化芸術に触れ、文化芸術への関心を高めることに繋げることができた。

歌舞伎鑑賞教室では、引き続き親子券を導入したほか、国立劇場閉場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた結果、学生の入場者数が前年度の約５倍となり、学校行事としての鑑賞者が大幅に増加した。

３ 今後の課題

子ども・若者の趣味・嗜好は多様化してきているため、ニーズを踏まえた優れた文化芸術の体験機会の充実を図るとともに、文化芸術の次世代を担う人材を育成する取組も必要である。

また、子どもたちが文化芸術活動を行う場でもある学校部活動について、少子化などの影響により、従前と同様の体制で運営することは困難になってきており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあることから、市町村や文化芸術団体と連携を図りながら、学校部活動の地域移行を推進していくことも求められている。



紅葉坂舞台塾

４ 今後の方向性

子ども・若者の文化芸術活動の更なる充実に向けて、青少年センター等を活用した子ども・若者を対象とする舞台芸術の裾野を広げる取組や、県内の中高生等を対象とした公募美術展の開催など、関係団体と協力しながら引き続き取組を進める。

学校及び地域における文化芸術活動の充実を図るため、学校、市町村、教育委員会、文化芸術団体等の要望を聴き取り、連携しながら事業を展開する。

重点施策3 共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等

1 施策の内容

(1) 高齢者・障がい者等の創作活動の支援

県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を展開し、文化芸術の振興とともに、共生社会の実現や、団地におけるコミュニティの活性化、未病改善など健康団地の推進に向けた取組を実施し、2,667人の方が参加した。

また、高齢者や障がい者が行う文化芸術活動の充実を図る事業等を支援するため、「マグカル展開促進補助金」を交付した。

さらに、横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペースにおいて、県内に在住・在勤・在学している障がい者の方のアート作品の公募展を実施し、県内の多くの方が「ともいきアート」に触れる機会を提供するとともに、会場内にビーズクッションを配置したり、おしゃべりしながら鑑賞することを可能とするなど、誰でも楽しめるイベント・ワークショップ等を同時開催することで、障がいのある方も気軽に来場できるようにした。

その他、「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表の場を提供した。



かながわともいきアート展

(2) 高齢者・障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実

年齢や障がいなどにかかわらず、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を、委託先である公益財団法人神奈川芸術文化財団の社会連携ポータル課と連携して、シニア劇団やシニアダンス企画の運営、集客公演を行ったほか、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。実施にあたっては、神奈川県民ホール等文化施設や社会教育施設をはじめ、動画配信の手法も活用した。



綾瀬シニア劇団公演「父の詫び状」（撮影：泉山朗土）

「楽絵ん祭」では、会場のかながわアートホールがある地元保土ヶ谷で活動をしている団体と協働し、障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行い、障がい児が文化芸術に触れる機会を提供した。

また、県立近代美術館における「むすんでひらいてプロジェクト」事業では、葉山町や逗子市など近隣の小・中学校の特別支援学級や留学生を対象にオリジナル教材を使用したワークショップ等を実施した。

（３）文化芸術による共生社会の実現に向けた環境づくり

ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」では、障がいのある方が、身近な地域で芸術文化に触れることができるよう支援するため、相談支援事業やワークショップの実施、コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。

その他、県立文化施設では、文化芸術がより多くの人の心に届くよう、視覚障がい者向けの音声ガイドや聴覚補助のためのヒアリンググループ及び字幕の設置、点字・拡大・反転文字プログラムなど、さまざまな鑑賞サポートを充実させた。

2 施策の効果

シニア合唱事業においては、事業参加者のうち身体や心が元気になった割合が 83.2%となった。また、共生共創事業における参加者（出演者、観覧者等）満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が 90.2%となったほか、高齢者や障害者等が出演する演劇・ダンス作品等を動画配信し 23,769 回の再生回数があった。

「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」ではウェブサイトを作成し、センター主催イベント等について発信した。また、神奈川県障害者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて 8 回配信したことで、障がい者の文化芸術活動を支援する体制の充実に貢献した。

3 今後の課題

あらゆる人が文化芸術に親しみ、自ら文化芸術活動を楽しめる環境づくりにおいては、共生の理念の一層の浸透を目指し、文化芸術団体等による取組との連携を図りながら、県内全域での事業展開を推進していく必要がある。

4 今後の方向性

年齢や障がいの程度などにかかわらず、子どもから大人までのあらゆる人が文化芸術に親しめるよう、市町村や文化芸術団体をはじめ、他分野との連携も図りつつ創作活動の支援や発表の場の提供を広げていく取組を引き続き行っていくとともに、アウトリーチ等による鑑賞・参加の機会を提供する取組の県内全域での実施を目指す。

重点施策 4 国際・観光分野との連携

1 施策の内容

(1) 文化芸術による海外との交流



横浜国際舞台芸術ミーティング 2024 (YPAM2024) 「ディードーとエネアス」 (撮影：前澤秀登)

KAAT 神奈川芸術劇場において、横浜国際舞台芸術ミーティング 2024 (YPAM2024) を複数の文化芸術関連団体等と共同で開催し、舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等を通じて、舞台芸術の国際交流の拠点としての役割を発揮した。YPAM2024 と同時期に上演を行った日英の国際共同制作「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」は、スコットランドでも上演され、神奈川から世界へ文化芸術を発信する機会となった。



ベトナムフェスタ in 神奈川 2024

また、地球市民かながわプラザにおいて、世界各地から絵画を募集し、作品を通じて国際理解と国際交流の推進を図る「第 23 回カナガワビエンナーレ国際児童画展」の実施に向けて、作品の募集及び審査会を開催した。

さらに、ベトナム・神奈川の文化や魅力を感じられるプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流をさらに推進するため、「ベトナムフェスタ in 神奈川 2024」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2024」を実施した。

(2) 多文化理解の推進

外国籍県民や民族団体、NPO、ボランティアなどと連携した多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ 2024」を開催期間の拡大や企画内容の充実を図り、地球市民かながわプラザで開催した。

「青少年国際交流セミナー」では、高校生を対象に、主体的に多文化共生活動について学ぶ宿泊セミナーを開催し、グループディスカッション等を通じて、共通の関心を持つ参加者同士と意見交換しながら、共に学ぶ場を作った。

また、県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「イベントカレンダー」を、日英併記



あーすフェスタかながわ 2024

II 重点施策の実施状況

で作成し、文化施設、駅、商業施設等での配布のほか、インターネット上でも掲載するなど、県民及び国内外の観光客に向けて、適時適切な文化イベント情報の発信を行った。

県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。

さらに、音楽堂で開催した「子どものための音楽堂 せかいはともだち！」では、多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでの工作ワークショップ等を実施し、日本語を母国語としない人々への鑑賞サポートを行った。



イベントカレンダー 3～5月号

(3) 地域の活性化に向けた文化観光の推進

県立文化施設においては、紅葉ヶ丘地域に所在する音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの5館の連携事業として、5館共同で「紅葉ヶ丘まいらん・アートな初詣／スタンプラリー・見学会」を開催し、地域を回遊するスタンプラリーなどを実施した。KAAT 神奈川芸術劇場では、街の一部である劇場、またあらゆる人々に「ひらかれた」劇場を目指した「KAAT フレンドシッププログラム」を実施し、「横浜中華街 2025 横浜春節祭 ランタンオブジェ展示」では「西遊記」をモチーフにしたランタンをアトリウムに展示することで、地域の魅力を発信した。

また、県内の伝統的な行事や祭りの開催など、文化資源に関する地域情報を観光情報ウェブサイト「観光かながわNOW」等でも発信するとともに、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」をリンクさせた。

2 施策の効果

横浜国際舞台芸術ミーティング 2024 (YPAM2024) は、舞台芸術に関する国際交流の拠点として国内外から認知されつつあり、多彩なプログラムを通じて、情報交換や相互学習、ネットワーク構築の場を提供した。また、YPAM ディレクターが舞台芸術における国際交流と日本の舞台芸術を国内外に発信するプラットフォームの確立に尽力したとして、令和6年度芸術選奨 芸術振興部門・文部科学大臣賞を受賞した。

KAAT 神奈川芸術劇場において創作・上演した日英国際共同制作「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」は、KAAT 神奈川芸術劇場での公演後スコットランドでも上演され、日英両国で高く評価された。

「ベトナムフェスタ in 神奈川」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI」は、例年どおり、多数の方が来場され高い満足度を得ることができ、日本とベトナム両国の関係強化に貢献した。「あーすフェスタかながわ 2024」では、アンケートの結果、約7割の方が、イベントに来て多文化共生に興味・関心が増えたとの回答があるなど、多文化共生について考えるきっかけを提供することができた。また、学生向けのセミナーを開催することにより、多文化共生の意識醸成に繋げることができた。

II 重点施策の実施状況

「イベントカレンダー」により県内の文化芸術イベント情報を積極的に発信するとともに、「マガカル・ドット・ネット」において、今後のインバウンド需要を喚起するため、通年で英語によるインターネット広告を行ったことから、より多くの人が県内で実施するイベント等の情報を閲覧することにつながり、イベント等の周知に貢献した。また、「観光かながわNOW」では、県内の文化資源について、タイムリーなイベント情報を提供した。

3 今後の課題

今後も、国際色豊かな文化事業や文化交流を推進するとともに、県の文化資源の魅力を国内外に発信し、地域の活性化を図っていくことが必要である。

今後は、これまでに県が構築してきた三県省道やベトナム等とのネットワークを活用し、文化芸術の国際交流の活性化に向け取り組んでいくことが必要である。

また、神奈川県には多くの外国籍県民が居住していることから、若い世代やより多くの外国籍県民等が参加・交流できる事業を実施し、多文化理解の推進のため、より一層の文化交流に取り組む必要がある。

4 今後の方向性

今後も引き続き、様々な国や地域との国際交流事業を実施しながら、神奈川発の文化芸術を海外に発信していくとともに、県立文化施設において国際色豊かな取組を充実させることで、県民の国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進していく。

また、引き続き関係団体等と連携しながら、地域における多文化理解の推進に取り組んでいくとともに、県内の文化芸術を観光資源として活用し、観光との連携も意識しながら、文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を創出する取組を推進する。



マガカル・ドット・ネット

重点施策5 文化芸術の振興を推進するための環境整備

1 施策の内容

(1) 県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充

KAAT 神奈川芸術劇場ではムービングライトなど舞台照明設備等の改修工事、音楽堂では音響卓更新工事、神奈川近代文学館ではパッケージエアコン更新工事、かながわアートホールでは防犯（監視）カメラ更新等工事など、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。



ありがとう神奈川県民ホール（Jewels from MIZUKA 2025

ジュエルズ・フロム・ミズカ 2025）（c）Hidemi Seto

また、県民ホール本館休館前の施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するため、日々の点検等を行うとともに、県民ホール本館を会場に、現行ホール最後の県主催イベントとして「ありがとう神奈川県民ホール」を実施し、これまで利用いただいた県民への感謝の想いを込めて、バレエ公演やオーケストラ・合唱演奏会等を開催することにより、休館後の展開に向けた機運を高めた。

(2) 施設の機能としての人材育成

KAAT 神奈川芸術劇場において、現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。県民ホール本館や音楽堂では、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施するとともに、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。

また、大学の寄付講座では、昭和音楽大学と連携し、施設職員による講義を実施したほか、県の重要文化財である音楽堂では、横浜国立大学建築科の実習見学を受け入れる等、大学や教育現場との連携を行った。



「KAAT 人材育成プログラム「グリーンシアター・ワークショップ」

写真提供：（公財）神奈川芸術文化財団

(3) 文化芸術活動継続のための支援

文化芸術活動団体への支援として、地域のにぎわいをつくり出す事業を認証する神奈川文化プログラム認証制度の取組を推進した。また、県内で活動する非営利の文化芸術活動団体の事業を対象とする「文化芸術活動団体事業補助金」、県内で民間団体が実施する文化芸術の新たな事業を対象とする「マグカル展開促進補助金」の2つの補助制度*により、文化芸術活動の振

II 重点施策の実施状況

興を図った。なお、「マグカル展開促進補助金」については、対象事業に「多文化共生事業」等を加えるとともに、「地域が主体的に文化芸術活動を通じて地域活性化を図る事業」を新設するなどの見直しを行った。

神奈川近代文学館では、コミック、ゲームとのコラボレーションを実施した他、ホームページや SNS を積極的に活用した広報周知活動を行った。また、安部公房展では特設サイトを作成した。県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信したほか、文化芸術に関する特集記事の掲載、SNS の利用など、各媒体のユーザーに合った情報を提供して情報発信の強化を行った。

また、県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「マグカル開放区」を実施し、日本大通りの更なる活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押ししたほか、「マグカル開放区」を県内各地で展開する「とびだせ！マグカル開放区」を実施し、各地域における文化芸術によるにぎわいの創出に寄与した。

情報誌については、県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する「イベントカレンダー」を日英併記で作成し、情報発信を行った。

また、「かながわパフォーミングアーツアワード2025」では、ファイナルをKAAT神奈川芸術劇場、22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）を県立神奈川総合高等学校で実施し、神奈川の舞台芸術人材の技術向上や創作活動の活性化・振興を図った。



マグカル開放区



とびだせ！マグカル開放区 in 県民ホール

2 施策の効果

県立文化施設の改修工事等を行い、利用者の方に施設をより安全に利用していただくために必要な整備を行うことができた。

学生等を対象とした各種育成事業では、県の施設の機能を生かし、芸術事業に興味を持つ若い人材に対して制作や広報に関わる業務への理解促進など、多角的理解の機会を提供することができた。

また、市町村・文化芸術団体等の文化事業を統一



かながわパフォーミングアーツアワード 2025

II 重点施策の実施状況

的な名称やマークを活用しながら、一体的かつ効果的に広報を行うことで、地域のにぎわい・つながりをつくり、文化芸術に触れる機会を創出することができた。

「かながわパフォーミングアーツアワード 2025」では、全国から公募した団体が舞台芸術を競うことで、県民へよりレベルの高い舞台芸術の鑑賞機会を提供できた。

3 今後の課題

県立文化施設については、必要に応じて改修工事等を行っているが、近年の物価、人件費の高騰を受け、老朽化対策はますます大きな課題となっている。また、2025 年 4 月から休館した県民ホール本館については、建替えに向けた検討を着実に進めていく必要がある。

今後の文化芸術の継承、発展のため、人材育成事業の充実や文化芸術の担い手確保につながる取組、市町村や文化芸術団体等との連携を生かした文化芸術を県内各地で盛り上げていく取組を推進する必要がある。

4 今後の方向性

県立文化施設については、長寿命化や収蔵スペース確保等、計画的な維持、保全、拡充に努めていく。県民ホール本館については、関係各機関等とも調整を図りながら、新たな県民ホールの施設、設備等のあり方を引き続き検討していく。ソフト面の環境整備については、関係団体と連携して、ニーズに沿った必要な取組を継続して実施しつつ、施設の今後のあり方なども含め検討していく。また、各施設の特徴を生かしながら、文化芸術に関するプロフェッショナル人材を育成する取組を継続して推進する。

情報発信については、「マグカル・ドット・ネット」において、外国人向けに多言語化翻訳記事の作成を行いつつ、訪日外国人の増減を見極め、適切なタイミングで魅力的な情報を発信するなど、国内外向けにインターネットによる広報を継続して展開していく。

また、引き続き、市町村や文化芸術団体との連携し、コロナ禍でその重要性が再認識された文化芸術活動を盛り上げ、これらを通じた地域課題の解決や地域の活性化につなげていく。

※ 神奈川県文化関係補助金

補助金名	①文化芸術活動団体事業補助金	②マグカル展開促進補助金																								
対象団体	・県内に住所又は活動の本拠 ・県内で継続的に文化芸術の振興に寄与 ・営利団体、自治体主導公益法人は不可	民間団体(県外団体、営利団体も可) ※比較的広め																								
対象事業	県内で実施する文化芸術の事業(継続)	県内で実施する文化芸術の新たな事業																								
補助額、補助率、優遇等	補助額は対象経費の1／3以内 ※ 比較的小規模 高齢者・障がい者・伝統芸能・青少年優先枠を設ける	<table><tr><th colspan="2">事業の区分</th><th>補助率</th><th>補助上限額</th></tr><tr><td colspan="2">通常事業(重点事業以外)</td><td>1／3</td><td>100万円</td></tr><tr><td rowspan="5">重点事業</td><td>共生社会</td><td>1／2</td><td>300万円</td></tr><tr><td>地域活性化</td><td>1／3</td><td>1,000万円</td></tr><tr><td>伝統芸能(当年度)</td><td>2／3</td><td>300万円</td></tr><tr><td>伝統芸能(将来)</td><td>定額</td><td>30万円</td></tr><tr><td>若年者</td><td>1／3</td><td>300万円</td></tr></table> ※小規模～大規模まで	事業の区分		補助率	補助上限額	通常事業(重点事業以外)		1／3	100万円	重点事業	共生社会	1／2	300万円	地域活性化	1／3	1,000万円	伝統芸能(当年度)	2／3	300万円	伝統芸能(将来)	定額	30万円	若年者	1／3	300万円
事業の区分		補助率	補助上限額																							
通常事業(重点事業以外)		1／3	100万円																							
重点事業	共生社会	1／2	300万円																							
	地域活性化	1／3	1,000万円																							
	伝統芸能(当年度)	2／3	300万円																							
	伝統芸能(将来)	定額	30万円																							
	若年者	1／3	300万円																							

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

【施策の方向性】

地域の伝統的な芸能の大切さについての理解、認識を深めるとともに、後継者の育成につながるよう、市町村と連携しながら伝統的な芸能の体験機会の提供、発表機会の確保などに取り組む。

文化財や伝統工芸品等の地域資源の保護を図るため、未指定の文化財への保護措置や、伝統工芸品等の事業者へ向けた支援などに取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策 1 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付し、支援を行った。
- ・ 既指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。
- ・ 県立歴史博物館等において、資料の収集や収蔵資料の定期的な修繕及び展示を行った。
- ・ 市町村と連携し、「かながわの太鼓」や「かながわ民俗芸能祭」といった、伝統芸能を発表する場を設けた。

(2) 県民の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県内各地で開催される文化芸術の催しや文化芸術団体の活動の情報、県民が文化芸術に対する関心や理解を深めるための県立文化施設等での文化芸術に関する講座・講演会等の情報を提供する。

県立文化施設等での公演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図る。

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる公募展やコンクール等の開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川近代文学館や県立金沢文庫等の県立文化施設において、展覧会の開催に合わせてレクチャーコンサートなどのプレ企画や講演会を実施した。
- ・ 県民ホール本館や音楽堂等において、現代音楽やオペラ、バレエ、クラシック音楽コンサートといった様々なジャンルの舞台芸術の公演を実施し、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供した。
- ・ 吹奏楽ウィークでは、アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、アートホールを練習で利用する団体に発表の機会を提供するとともに、吹奏楽のメッカとしてのアートホールの認知度向上を図った。
- ・ 「神奈川芸術プレス」や「季刊誌 神奈川芸術劇場 KAAT PAPER」を発行し、県内の文化情報や県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の公演情報等を情報提供した。

（３）芸術家等の育成等に関する支援等

【施策の方向性】

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成支援を実施し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組む。

県立文化施設などを活用し、芸術家等の練習、発表の場を提供するとともに、公募による展覧会やコンクール等の開催、県立文化施設の主催事業などでの将来の活躍が期待される芸術家等の積極的な登用を行う。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、また、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。
- ・ 県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施する「オーディション事業」により、次代を担う若手芸術家に経験の場を提供することができた。
- ・ 県立文化施設では、専門家による舞台技術者へのセミナーの開催やインターンの受け入れなど文化芸術を支える人材の育成に取り組んだ。

（４）文化芸術団体の育成等

【施策の方向性】

文化芸術団体の自主的な活動を支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進するとともに、文化芸術団体との連携・協働に取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策５に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付し、支援を行った。
- ・ 文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。
- ・ かながわ児童劇グループ交流会を実施し、地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供した。

（５）子どもの文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県立文化施設で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供する。

子どもたちが自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術団体との連携などにより、市町村の実情に応じた支援に取り組み、公立中学校における文化部活動の地域移行を図る。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらうことを目的に、初めての音楽会事業「音楽たまたま箱」を行った。
- ・ 藤野芸術の家において、気軽に参加できる常設事業や募集型の体験事業、季節限定体験事業

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

を実施し、子どもから大人まで多くの人々が自ら陶芸・木工・ガラス工芸等の制作活動を通して、文化芸術に親しむ機会を提供した。

- ・ 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、青少年センターにおいて「第309回青少年芸術劇場」及び「第310回青少年芸術劇場」を実施した。

（６）学校教育における文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を県及び市町村の教育委員会と連携して図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施する。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 青少年センターにおいて、中・高等学校を対象に、演劇の講習会・発表会を学校部活動と連携して開催した。また、青少年の舞台表現のためのスキルアップクラスでは、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施するとともに、参加者のうち希望者には講師が演出する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えることとした。
- ・ 音楽堂アウトリーチ事業により、アーティストが地域単位の教員の研究会等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式でのアウトリーチを行った。また、記録動画を撮影してダイジェスト版を制作し、参考として利用できるようアーカイブ化した。
- ・ 県立神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について、県立文化施設ではプロの舞台技術者による特別講座を開催したほか、アドバイザーボードの設置など継続的に支援を受ける仕組みを構築し、協議会を開催した。

（７）高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

高齢者、障がい者、外国籍県民、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、共生共創事業をはじめとした文化芸術活動を楽しむための取組を推進するとともに、文化施設のバリアフリー化や情報保障など、利用サービスの向上に努める。

【主な施策の内容】

重点施策３に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 「かながわシニア美術展」を開催し、高齢者の文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで、高齢者の社会参加やふれあい・生きがいづくりを推進した。
- ・ KAAT 神奈川芸術劇場、音楽堂、アートホールにて託児ルームを設置し、主催公演において、乳幼児を育てる県民に対する、文化芸術鑑賞機会の提供に寄与した。
- ・ 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施し、外出することの難しい特別支援学校や医療施設の子どもたちに鑑賞機会を提供することができた。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進

【施策の方向性】

市町村と連携した文化芸術事業や他県との交流事業の実施などにより、文化芸術の地域間交流を推進する。

三県省道やベトナム等との文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設等での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進する。

多文化共生イベントの開催や多文化理解を深めるための講座を実施するなど、多文化理解を推進する。

【主な施策の内容】

重点施策4に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立文化施設では、イギリスのオペラやオランダのダンスカンパニー、海外の著名な音楽家の演奏会などを開催し、県民への鑑賞の機会を提供した。
- ・ 県立歴史博物館において、青森県や岐阜県などの県外の博物館等の展覧会に収蔵資料の貸出しを行い、展覧会の充実に貢献するとともに、博物館同士の連携協力を行った。
- ・ 県立生命の星・地球博物館において、学術目的や、教材や広報を目的とした収蔵資料の館外貸出を行った。
- ・ 県立金沢文庫において、特別展の実施にあたり、他の博物館や社寺などから文化財82点の借入れを行い、展示内容を充実させるとともに博物館以外の文化財保有施設との連携協力を行った。
- ・ 県高等学校総合文化祭の開催や全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、高校生の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化の促進を図った。
- ・ 文化芸術の地域間交流推進のため、KAAT 神奈川芸術劇場が創作した新たな舞台芸術作品等の公演を富山県、兵庫県、福岡県で展開した。

(2) 創造的活動等の推進

【施策の方向性】

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図った。

(3) 文化資源の活用

【施策の方向性】

県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用方策を検討する。また、地域の活性化等に活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に努めるとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策 4 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 湘南邸園文化祭 2024 を開催し、相模湾沿岸地域の 12 市町の邸園等において、29 の市民団体等により 55 のイベントを実施することにより、邸宅・庭園等の価値を周知するとともに、保全活用の必要性について啓発を行った。
- ・ 箱根ジオパークに対する地域の機運醸成及びジオパークとしての環境整備を行った。
- ・ 「日本遺産」新規認定申請等に係る県内市町村等への周知や、既認定の「日本遺産」に係る文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。
- ・ 11 月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行い、地域に根ざした木工芸品産業に対する県民の興味を喚起し、理解を深めてもらうことができた。

（４）景観の形成

【施策の方向性】

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たっては、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 地域の特性を踏まえた景観行政を推進するため、景観行政団体に移行し景観計画を策定することの必要性について、未移行団体に対して啓発を行った。
- ・ 文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県内市町村に周知した。

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等

【施策の方向性】

県民が空き教室や休日等の学校施設を文化芸術活動のために利用できるよう、学校施設開放に取り組む。また、文化施設以外の庁舎などの公共的施設についても、作品の展示などの利用ができるよう取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 県立学校の音楽室などの学習施設やグラウンド・体育館などの体育施設を、県民の学習や文化活動、スポーツ活動の場として提供した。

(2) 県立文化施設の充実

【施策の方向性】

県立文化施設では、文化芸術の鑑賞や活動、交流の場としての機能に加えて、施設の特性に応じて、文化芸術に関する人材の育成や教育、普及活動に取り組む。

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的な事業の実施や効率的な施設運営等について、適切な検証を行う。

県立文化施設の文化芸術発信拠点としての機能を充実させるため、長寿命化や県民ニーズに対応した施設改修、文化資源を収蔵するための施設整備に取り組む。また、県民ホール本館の今後のあり方について検討する。

【主な施策の内容】

重点施策 5 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県民ホールで実施する公演へのオーディションを実施し、若手のオルガニストの発表機会を提供した。
- ・ 県立文化施設の指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。
- ・ 県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の 3 館一体による効率的な運営が行われているかをチェックするため「神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会」を設置し、公募委員を含む委員により指定管理者が行う主催事業を中心にモニタリングを行い、その内容について会議を開催した。

(3) 情報通信技術の活用

【施策の方向性】

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや SNS を活用した情報提供を行う。

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるなどの利用者サービスの向上に取り組む。

県立文化施設に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を推進し、公開資料の検索や閲覧に情報通信技術を活用するなど、利用者の利便性向上に取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、web サイトで公開した。
- ・ 県立金沢文庫において、特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）3,173 件のデータベースをインターネットで公開するなど、情報通信技術を活用した利用者の利便性の向上を図った。
- ・ 施設予約システムにおいて、原則 24 時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図った。

（４）文化芸術活動に対する支援の促進

【施策の方向性】

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策 5 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）を利用し、文化芸術に触れる機会が少ない方々に対して、オーケストラを鑑賞する機会を提供するための支援を実施した。
- ・ （公財）神奈川芸術文化財団が（公社）企業メセナ協議会に準会員として参加し、情報収集を行った。

（５）顕彰の実施

【施策の方向性】

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
(1)地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用									
ア伝統的な芸能の普及啓発、体験・発表機会の提供									
001文化財や伝統的な芸能を活用した文化芸術の発信									
カナガワリ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見	川崎市と横浜市鶴見区の2か所を会場に事業を行った。 川崎では、多様で豊かな民俗芸能の公演を実施するとともに川崎市に伝わる獅子舞及び神奈川県にゆかりのある世界の獅子舞の公演を実施した。 また、横浜鶴見では県内にある2つの寺院の声明公演を行った。	川崎では、ホール近隣の屋外においても、ミニステージを実施し、往来の方々に民俗芸能の訴求を行った。	【川崎】 543名 (来場者393名、出演者150名) 【横浜鶴見】 284名 (来場者253名、出演者31名)	【川崎】 2024年11月23日 【横浜鶴見】 2024年10月26日	【川崎】 川崎市コンベンションホール 他 【横浜鶴見】 横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール	—		重点施策 1	
002伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援									
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①17人 ②29人 ③25人 ④44人	①2024年7月12日(金) ②2024年7月27日(土)・28日(日) ③2024年8月8日(木)・9日(金) ④2024年8月12日(月祝)・13日(火)	①三崎小学校 ②秦野市立西公民館 ③横須賀市文化会館 ④県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、65人(回答者数)全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。		重点施策 1	
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①238人 ②242人 ③200人 ④126人 ⑤171人	①2024年9月26日 ②10月3日 ③12月2日 ④2025年2月20日 ⑤3月18日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③二宮高校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—		重点施策 1	
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①15人 ②6人 ③17人	①2025年1月18日(土) ②2025年2月8日(土) ③2025年3月2日(日)	①サン・エールさがみはら多目的室 ②あつき市民交流プラザamyuスタジオ ③青少年センター練習室	—		重点施策 1	
003伝統的な芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保									
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	429人	2024年11月10日	県立青少年センター	—		重点施策 1	
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：784人	2025年3月16日	南足柄市文化会館大ホール	—		重点施策 1	
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受け入れに力を入れた。 また、前年度に引き続き親子券を導入した。	1,395人	2024年6月23日、24日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると94.7%にのぼった。		重点施策 1	
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,096人	2024年10月6日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると87.7%にのぼった。		重点施策 1	
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	336人	2024年12月8日	はまぎんホールヴィアマーレ	—		重点施策 1	
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 こども達が主体的に参加できる機会を増やし、より一層こども達の成長や達成感を高めるため、複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施したほか、子どもスタッフの取組みも開始した。	648人	メインプログラム 2024年10月28日 事前ワークショップ(講談・筆曲・手妻) 9月23日、10月13日、10月14日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると97.0%にのぼった。その中でも伝統芸能ワークショップ参加者に絞ったアンケートでは、満足度が100%に達した。		重点施策 1	
KAAT×国立劇場(つたえつなぐ)「観てよみ解く〜実演&レクチャー」	国立劇場と連携し、日本舞踊、神楽、人形遣い、太夫の4つの芸について実演とレクチャーを行った。	—	①95人 ②123人	①2024年11月16日、17日 ②2025年3月15日(2回)	KAAT神奈川芸術劇場(中スタジオ)	—			
004伝統的な芸能にかかわる文化芸術団体への支援									
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川芸術文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：61件 助成団体数：30件 助成金交付額：8,046千円	交付申請書の提出期限：2024年2月15日～2024年3月15日(電子申請) 審査会：2024年4月9日 交付決定通知書の送付：2024年4月23日～5月13日	—	—		重点施策 1	
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集：2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集：2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—		重点施策 1	
005後世に残す伝統的な文化の記録の保存									

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
伝統的な文化芸術保存ライブラリー	県で実施した伝統的な芸能について、映像及び報告書等の整理をし、後世に残していく取組を実施した。	2019年度から実施した取組であるが、2016年度分から収集した。	—	—	文化課内で紙媒体又はデータで保存	—		重点施策 1
民俗芸能調査事業費	地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、「菊名のあめ屋踊り」をはじめ、県内に伝承される「飴屋踊り・万作踊り」について、歴史や芸能の特徴等の記録保存調査を行った。令和4年度から調査を開始し、令和6年度に報告書を刊行した。	「飴屋踊り・万作踊り」の芸能の特徴とも言える衣装について、染織文化の専門家の協力を得て調査を行った。	調査員4人、補助調査員2人	現地調査・文献調査2024年4月6日ほか77回	三浦市南下浦町菊名、横須賀市長井ほか	—		重点施策 1
イ文化財や伝統工芸品等の伝統的な地域資源の保護								
006文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施								
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（25件） ・記念物等保存修理等（30件） ・民俗文化財保存修理等（9件） ・埋蔵文化財発掘調査等（21件） 合計85件	—	—	—		
007県立の博物館等での文化財、伝統的な芸能等に関する資料の収集、保管、展示								
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（25件） ・記念物等保存修理等（30件） ・民俗文化財保存修理等（9件） ・埋蔵文化財発掘調査等（21件） 合計85件	—	—	—	再掲	
県立金沢文庫における文化財の管理	2万点を超える国宝・重要文化財をはじめとする文化財を適切に管理した。	日々の温湿度管理や収蔵庫内の整理等を行った。	—	—	県立金沢文庫	—		
県立歴史博物館における資料の収集、修繕	神奈川県内の文化と歴史に主眼を置いた資料を収集した。また、収蔵資料の定期的な修繕を行った。	資料の収集について、購入は市場の動向を注視するとともに、寄贈ではコレクションを補完する関連資料の積極的な収集を行った。また、部門毎にまとめた修繕希望資料のリストを集約し、優先順位をつけた上で、順次修繕を行った。	—	—	県立歴史博物館	「北条家朱印状」1幅と「観音図」1幅を購入した。寄贈について、歴史資料は横浜正金銀行の行員に関わる複数の資料群、美術資料は「大倉孫兵衛旧藏錦絵画帖」、考古資料は石鐮ほかのコレクションなどを受け入れた。また、「西洋老婦人図」「井田譲像」「赤羽刀」の3件4点の資料修繕を実施した。		
県立近代美術館における資料の収集、修繕等	展覧会への出品作及び県展近代美術鑑賞受賞作などを購入し、その寄贈・寄託を継続して受けている。また展覧会出品に合わせて作品の修復も行っている。	常勤学芸員による収集・選定会議を経て受け入れを決定しており、当館にふさわしい作品を厳選するようにしている。	—	—	—	—		
県立図書館における資料の収集	地域の伝統的な文化芸術に関する資料として、かながわ資料を中心に資料の収集を行う。	—	—	通年	県立図書館	特になし		
県立生命の星・地球博物館における資料の収集、修繕等	自然遺産を集積し、将来へ継承するデータバンク機能を果たすとともに、資料に基づいた調査研究、展示、普及活動に活用するために、資料の計画的な収集を進める。	コレクションポリシー、資料収集方針に則り、自然科学（生物科学・地球環境科学）資料の継続的な収集を実施した。	—	—	—	令和6年度新規登録資料数55,267点。		
008県ホームページ等による文化財に関する情報の提供								
指定文化財の所有・保持者に対する情報提供	指定文化財の所有・保持者に対する周知を行うとともに、県内文化財の目録を時点更新し、ホームページへ掲載した。	—	ページビュー数：22,819件	—	—	—		
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県内の無形民俗文化財及び民俗行事等の開催日時の情報をホームページへ掲載した。	—	ページビュー数：1,687件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（飴屋踊り、万作踊り）」の調査報告書を刊行することができた。		
009工芸を主とする木製品業者向けにものづくり支援や技術情報の提供、連携・交流								
木製品ものづくり支援事業①	ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造事業者に貸し出した。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	機器利用件数：1,088件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1
木製品ものづくり支援事業②	木製品製造事業者からの依頼を受け、新商品の試作等のための加工・製作を行った。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	依頼加工・試作等件数：51件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1
工芸ヤングフォーラム	小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供した。	木工技術、産地の歴史等、幅広い知見があり、事業者支援の経験を有する専門家を指導講師として招いた。	延べ参加者数：103人	年9回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1
工芸品産業担い手育成事業	地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を次代に継承するため、若手技術者などに専門家を招き、市場に受け入れられる商品づくりを支援した。	事業者が抱える課題等到的確に対応するため、事業者等からの要望を反映して講座を開催した。	参加人数：20人	年2回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1
(2) 県民の文化芸術活動の充実								
ア文化芸術に対する関心、理解を深めるための情報提供・普及啓発								
010県立文化施設等での文化芸術に関する講座、講演会等の開催								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
開館70周年記念／街なかトークカフェ ①＃ピアノ・デュオ 「ピアノ・デュオと四手連弾は何が違う？－19世紀の音楽文化について」 ②＃オペラ「オペラ界きつての売れっ子キャラ！オルフェオの魅力をさぐる」	一流のアーティストや音楽学者を講師に迎えたレクチャーと、参加者同士も含めた交流を図るコミュニケーションタイムで構成し、音楽への理解とホールへの愛着を深めるコンサートのブレ企画。	音楽参与をファシリテータに、レクチャーだけでなく、後半は参加者の座を円形にして、ドリンクを交えて参加者同士も講師も気軽な交流を図るコミュニケーションタイムで構成した。	①27人 ②37人	①2024年8月9日 ②2025年1月15日	音楽堂ホワイエ	ドリンクの提供は県内の福祉作業所に委託している。		
舞台芸術講座 ①青島広志&水野英子の「少女マンガ界とオペラ界～ワーグナーに焦点をあてて！～」 ②マエストロ・サロン・レクチャー「耳の劇薬～あなたもハマるS.シャリーノのささやき～」	一流のアーティストや音楽学者を講師に迎え、レクチャーコンサートや、オペラシリーズのブレ企画を実施した。	レクチャーコンサートでは少女漫画に、ブレ企画ではトークと映像と実演で一人の作曲家に焦点を当て、テーマ設定に企画性を持たせた。 また昨年度提示した課題に基づき、②ではライブ配信を行った。	①211人 ②25人／ライブ視聴57人	①2024年8月17日 ②2024年8月31日	県民ホール ①小ホール ②英一番館	—		
県立近代文学館における講演会	第一線で活躍する作家や研究者を招いて講演会を実施することができた。 開館40周年記念企画として「文学・どこへゆくのか」と題した連続講演会を実施した。	—	企画展等に合わせて9回実施 計1,830人 開館40周年記念企画として8回実施 計1,357人	企画展等に合わせて9回実施 開館40周年記念企画として8回実施	神奈川近代文学館	コロナ禍では実現が難しかった、作家や編集者、研究者を講師に迎え、来場者とともに文学について語る貴重な機会となった。		
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	419人	2024年8月7日、8日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：90.3%」「良かった：5.7%」と合わせて96.0%であった。		
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、時代のニーズに合ったプログラム（ステージング）を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：431人	中学校：2024年8月3日、4日 高等学校：2024年7月29日、30日	青少年センター	—		
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、高校生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	ステージング編3人 舞台衣装編8人	ステージング編 2025年1月25日 2月2日 舞台衣装編 2025年2月11日 2月22日	青少年センター	—		
県立金沢文庫における講座、講演会等の開催	特別講演会、月例講座、解説講座、社会教育施設公開講座等を開催した。	展覧会の開催に合わせたものや、地域史に関わるものを中心に実施し、横浜市区金沢区とも連携した。	特別講演会：8回、446人 特別連続講座：3回、172人 月例講座：12回、934人 解説講座：7回、422人 社会教育施設公開講座：5回、291人 金沢区連携講座：3回、273人 子ども夏休金沢歴史教室：1回、13人	特別講演会：2024年9月7日他 特別連続講座：2025年2月16日他 月例講座：2024年4月13日他 解説講座：2024年4月21日他 社会教育施設公開講座：2025年1月26日他 金沢区連携講座：2024年4月27日他 子ども夏休金沢歴史教室：2024年8月14日	県立金沢文庫	—		
県立社会教育施設における公開講座の開催	県民の多様化・高度化する学習ニーズに応えるとともに今日的な学習課題に対応するために、県立社会教育施設が有する人的・物的資源を活用し、開設機関の機能や特色を生かした学習機会を提供する。	実施機関の機能と特色を生かしたものとし、内容に応じて講義・事例研究・実習・見学など効果的な学習方法を工夫した講座内容となっている。	金沢文庫：291名 近代美術館：112名 歴史博物館：116名	金沢文庫：1/26～2/22 近代美術館：11/4～1/18 歴史博物館：12/1～12/15	金沢文庫、鎌倉商工会議所ホール、歴史博物館	—		
県立図書館における講座、講演会等の開催	県民の生涯学習に資するとともに、図書館への理解と利用の促進を図るため講座等を開催した。	単発の講座のほか、本を介して人と人が交流し、更なる学びにつなげていくことを支援するための連続講座を実施	1,362人	通年	県立図書館本館	—		
県立近代美術館における講座、講演会等の開催	県立社会教育施設活用講座を開催した。	鎌倉別館の開館40周年を記念して所縁のある方、地域に詳しい方を講師に迎えた。	5回、120人	2024年11月4日、11月23日、12月7日、12月21日、2025年1月18日	鎌倉商工会議所ホール	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における講座、講演会等の開催	県民の生涯学習支援のための特別展開連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。休館に入ってから専門性の高い講演会および現地見学会を実施した。	バラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：20件、900人 伝統工芸実演：2件（自由見学） 一般向け展示解説：23件、887人 青少年向け講座他：2件、22人 子ども向け体験教室・展示解説：5件、137人 ミュージアムコンサート：1件、61人 学校への出張講座：23件、1,701人	通年	県立歴史博物館等	—		
県立生命の星・地球博物館における講座、講演会等の開催	主に当館学芸員が担当し、野外観察会や、屋内での実習や講座を実施する。また、月に複数回、主に子どもを対象としたよろずスタジオを実施する。	電子申請による講座の申し込みにより、講座中止連絡がスムーズに行えるようにした。	野外観察会および講座は51回実施し924人の参加者、よろずスタジオは23回実施し2,339人の参加者。	通年	生命の星・地球博物館および屋外	—		
011広報誌、ホームページ等による情報提供・普及啓発の実施								
広報誌 神奈川芸術劇場 KAAT PAPER 発行	長塚芸術監督が掲げる“劇場をひらく”取組の1つとして、毎号、劇場そのものや演劇の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や、取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。	KAATを知らない方や、演劇を鑑賞したことが無い方にも、興味を持って手に取ってもらえるよう、演劇に寄らない切り口での特集を企画した。また、版型もタブロイド判とし、駅や県有施設などKAAT以外でも配布を行った。	各号5万部発行	年3回発行 春号：2024年5月17日 秋号：2024年9月15日 冬号：2024年12月27日	KAAT神奈川芸術劇場他	劇場ホームページにPDF版、電子ブック版を掲載するとともに、対談記事はホームページにロングバージョンを掲載した。		重点施策 5
神奈川芸術プレス発行	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	半期の公演レビューや読み応えのある特集を盛り込み、芸術文化以外の幅広い話題や取組を取り上げた。	年間18,000部 ※年間36,000部の予定だったが、サイバーインシデントにより2025年3月の発行予定号を中止。連載部分のみWEB版での公開を目指して取材等準備を行った。（公開は令和7年5月）	年1回発行（2024年9月） ※年2回発行の予定だったが、サイバーインシデントにより2025年3月の発行予定号を中止。連載部分のみWEB版での公開を目指して取材等準備を行った。（公開は令和7年5月）	—	全ページのWEB版を作成公開し、読者サービスと発信力向上に努めた。		重点施策 5
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の誕生日の日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数（公式noteを含む）：325,392件 安部公房展特設サイトアクセス数：39,764件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	講演会の動画公開など新たにコンテンツを公開した。		重点施策 5
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度PV（ページビュー）数554,612	通年	インターネット上	—		重点施策 5
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—		重点施策 5
県立金沢文庫における普及啓発の実施	金沢文庫で開催する展覧会や関連する講座等のイベントについて、金沢文庫HPや地域の情報誌、美術館・博物館関係の雑誌、新聞等で展覧会の紹介を行った。	展覧会の紹介記事では展覧会の目玉となる作品を紹介し、展覧会の魅力やみどころを伝え、金沢文庫の知名度を高めるように努めた。	—	—	—	毎日新聞（2024年6月17日掲載）他		重点施策 5
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX（旧Twitter）で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX（旧Twitter）で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力を伝えるよう発信した。	X（旧Twitter）発信件数：253件	—	—	—		重点施策 5
県立近代美術館における普及啓発の実施	広報誌『たいせつな風景』を発行し、美術館活動の周知に努めた。また、近代美術館ウェブサイトを通して、開催する展覧会の情報を広く県民に発信した。	ウェブサイトについては、展覧会開催前に代表的な出品作品の画像を含む情報を提供した。	—	—	—	広報紙：1回（2025年3月30日発行） ウェブサイト展覧会詳細ページ：展覧会開幕に合わせて、年10件作成		重点施策 5
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。また、X（旧Twitter）上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：12件 X（旧Twitter）発信数：625回	—	—	—		重点施策 5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における情報提供の実施	HPやSNS（X、Instagram）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、プレスリリース資料を個別に送付する等、きめ細やかな情報提供に努めた。休館期間に入ってから、館長ブログを新設し、SNSと併せてタイムリーな情報発信をしている。	727件 【内訳】 HP：23件 SNS：422件 特別展等チラシ・ポスター：8件 記者発表（参考資料送付）：7件 プレスリリース：3件 イベント等：4件 催し物のご案内：1件 博物館だより：3件 WEB無料媒体：28件 新聞等アウトカム分：228件	—	—	—		重点施策5
県立歴史博物館における普及啓発の実施	県民の生涯学習支援のための特別展開連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。休館に入ってから専門性の高い講演会および現地見学会を実施した。	バラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：20件、900人 伝統工芸実演：2件（自由見学） 一般向け展示解説：23件、887人 青少年向け講座他：2件、22人 子ども向け体験教室・展示解説：5件、137人 ミュージアムコンサート：1件、61人 学校への出張講座：23件、1,701人	—	県立歴史博物館等	—		重点施策5
県立図書館における情報提供の実施	県立図書館で開催する講座、展示等について「催し物のご案内」やちらしを作成し広報した。また、ホームページやX、Instagram等のSNSを通じて、県立図書館の建物や所蔵資料等の魅力をきめ細かく発信した。	県立図書館への関心を高めるため、届けたい情報と対象により媒体を選択しながら効果的な広報を行った。	—	—	—	—		重点施策5
県立生命の星・地球博物館における普及啓発の実施	主に学芸員が執筆する広報誌「自然科学のとびら」を年に4回刊行する。またホームページにて、来館者にとって必要な情報を提供するとともに、新着情報なども提供する。	これまでのホームページはパソコンに対応したページ作りを行ってきたが、スマートフォンで見ても違和感のないページ作りを行っている。	令和6年のホームページの更新は739回、閲覧数（トップページ）は664,445件	自然科学のとびらは、6、9、12、3月の年4回。ホームページの更新は随時	—	—		重点施策5
県立生命の星・地球博物館における情報提供の実施	主に学芸員が執筆する広報誌「自然科学のとびら」を年に4回刊行する。またホームページにて、来館者にとって必要な情報を提供するとともに、新着情報なども提供する。	これまでのホームページはパソコンに対応したページ作りを行ってきたが、スマートフォンで見ても違和感のないページ作りを行っている。	令和6年のホームページの更新は739回、閲覧数（トップページ）は664,445件	自然科学のとびらは、6、9、12、3月の年4回。ホームページの更新は随時	—	—		重点施策5
イ鑑賞機会の充実								
012県立文化施設による公演事業の実施								
県民ホール本館での公演事業の実施	故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、開館50周年を迎える県民ホール本館における様々な主催、共催公演を実施した。また特に、年度末には、4月からの休館を前に「ありがとう神奈川県民ホール」と題した記念シリーズの主共催公演や県民を引き付けるイベントを様々な実施した。	プロフェッショナルなアーティストによる舞台芸術や音楽、美術作品を、ホールやギャラリーという会場で鑑賞したいという県民ニーズに応え、また公演だけでなくとどまらず、休館に入る県民ホールに対する、長年の県民の思いに応える記念イベントを実施した。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	2024年4月～2025年3月（下記各々の事業日程に記す）	県民ホール本館ほか	開館50周年と同時に休館に入る前の最後の年度として、新しい総合芸術表現を追求・創作する舞台から県民の鑑賞機会の提供、世界トップレベルのオペラやダンスカンパニーの公演、また「ありがとう神奈川県民ホール」と題した一連の取り組みにより県立文化施設としての発信を行った。		
神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚圭史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、プレゼンズと「某（なにがし）」をテーマに掲げたメインシリーズとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特性を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	KAAT神奈川芸術劇場ほか	つくる劇場としてのKAATの制作力、ネットワークを活用して、評価の高い新制作舞台作品、海外の劇場や演劇祭との連携を着実にし、神奈川から他県との連携、海外への発信を行なった。また県民に親しみをもたせ、無料で気軽に劇場を訪れられるアトリウム企画等やマルシェ等の「KAATフレンドシッププログラム」や次世代の観客を育てる「KAATキッズプログラム」などに取り組んだ。		
音楽堂での公演事業の実施	故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野雄司芸術参与のアドバイスのもと、開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、室内オペラ・プロジェクトやヘリテージ・コンサートのほか、開館70周年記念の特別企画など、各種プログラムを実施した。また特に開館記念日の11月4日近辺の1週間には特別企画を集めた「開館70周年記念週間」を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家や音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。また今年度は1年を通して開館70周年記念の冠を冠した企画とした。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	音楽堂ほか	室内オペラ・プロジェクト『オルフェオ』新制作は兵庫県立芸術劇場等との共同制作で実施したほか、その関連企画は、平塚、相模原等県内の他の公立文化施設のほか昭和音楽大学等と連携して県内各地で行った。また新企画の公募事業である「紅葉坂プロジェクト」、社会連携ポータル課との連携による、インターンシップや「先生のためのアウトリーチ」等の教育普及、人材育成に取り組んだ。また紅葉ヶ丘地域の公立文化施設五館の協働アクションである「紅葉ヶ丘まいらん」ほか他の公立文化施設との連携、協働に留意した。		
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・ブroomナード・コンサート ①Vol. 405 ②Vol. 406 ③Vol. 407 ④Vol. 408	公立ホールとして国内初の設置をしたパイプオルガンを活用し、開館以来伝統のコンサートを実施した。	年間シリーズで複数回実施し、気軽にご来館いただけるよう入場料を安価に設定した。 オルガン・アドバイザーをおき、プログラム内容の精査に努めた。	①339人 ②252人 ③336人 ④333人	①2024年4月26日 ②2024年8月30日 ③2024年10月25日 ④2025年1月17日	県民ホール本館小ホール	①③では「オルガンにチャレンジ!」、②④ではオルガン見学を行った。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和 6 年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
C×Organ ＜オルガン・コンサート・シリーズ＞ ①中田恵子オルガン・リサイタル ②オルガンクリスマスコンサート ③Vol. 3オルガンavecテアトル	公立ホールとして国内初の設置をしたパイプオルガンを活用し、開館以来伝統のコンサートを実施した。	オルガン・アドバイザー自身による演奏など、国内外最高峰の演奏家による演奏で行った。	①388人 ②396人 ③366人	①2024年11月16日 ②2024年12月 8 日 ③2025年2月 8 日	県民ホール本館小ホール	—		
ファンタスティック・ガラコンサート2024～愛は永遠に～	故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、開館50周年を迎える県民ホール本館における様々な主催公演を実施した。	プロフェッショナルなアーティストによる舞台芸術や音楽、美術作品を、ホールやギャラリーという会場で鑑賞したいという県民ニーズに応える公演を実施した。	2009人	2024年12月29日	県民ホール大ホール	—		
「ありがとう神奈川県民ホール」C×Baroque大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol. 4	国内随一のチェンバロ奏者を迎えて、小ホールのチェンバロを活用して数年にわたりシリーズ化されている室内楽コンサートを実施した。	同一テーマに基づくプログラムを 2 日間連続で実施した。	①339人 ②376人	①3月22日 ② 3月23日	県民ホール小ホール	3月23日の終演後にアフタートークを行った。		
開館70周年記念第57回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲	継続して音楽堂で開催している歴史的なクリスマス音楽会。神奈川フィル演奏。県民参加による合唱、県内高校生による『メサイア未来プロジェクト』を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインによる舞台上人数制限を撤廃し、従来通り多くの参加者が出演できるようにした。一昨年から新しく指揮者になったバロック専門家の大塚直哉氏の指導もあり、少人数でも質の高いバロック的な「メサイア」を実現した。	909人	2024年12月15日	音楽堂ホール	県内の高校生による「メサイア未来プロジェクト」も復活し、合計 3 校が合唱に参加した。		
開館70周年記念音楽堂ヘリテージ・コンサート ①2人のアムラン デュオリサイタル ②ステイヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル ③ベルチャ弦楽四重奏団&エペーヌ弦楽四重奏団	開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	①629人 ②644人 ③802人	①2024年9月14日 ②2024年12月8日 ③2025年3月29日	音楽堂ホール	主催公演のほか共催公演で音楽堂の音響、歴史に最適な公演を誘致し、年間セット券を販売した。関連企画として「街なかトークカフェ」を実施した。		
開館70周年記念大人のための音楽堂「音楽堂のピクニック」	音楽堂の建築空間を余すところなく楽しむ、20代以上の働き世代を含む文化的に成熟した大人が1日楽しめる音楽やパフォーマンス、ドリンクコーナーなども含めた、令和3年度から毎年開催している滞在型ワンディフェスティバルを令和5年度の中止をはさんで再び開催した。	従来の音楽堂の固定客と違う新しい来場者数の開拓に力点をおき、外部ディレクターのセレクションによる今日のテーマ設定に留意した。	352人	2024年10月12日	音楽堂ホール他	シリーズの特設サイトを開設し、プレ企画として文化人やディレクターによるトーク動画等を配信した。		
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟 9 団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	429人	2024年11月10日	県立青少年センター	—	再掲	
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の 5 座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数： 5 団体 観覧者： 784人	2025年 3 月16日	南足柄市文化会館大ホール	—	再掲	
DVD鑑賞会（かながわアートホール）	月に一度程度、ホールにて、かながわアートホールが所蔵する音源、映像を上演する事業を実施する。	毎回好評である副館長による映画解説を実施するとともに、副館長をモデルにしたゆるキャラを作成し、動員を図る。	4月 186人 5月 135人 6月 152人 7月 128人 8月 104人 9月 126人 10月 116人 11月 116人 12月 119人 1月 168人 2月 197人 3月 86人	2024年 4 月20日、5 月26日、6 月16日、7 月28日、8 月21日、9 月29日、10 月20日、11 月24日、12 月24日、2025年 1 月25日、2 月23日、3 月16日	かながわアートホール	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
野外コンサート (かながわアートホール)	アートホール前広場に音楽を溢れさせたいという目的で正面玄関横のデラスをステージとして、コンサートを実施した。	季節の良い春と秋に数回程度実施した。	5月 ①110人(再生回数383回)、②270人(再生回数1,070回) 6月 400人(再生回数759回) 9月 (再生回数269回) 10月 ①再生回数269回 ②50人(再生回数278回) 11月 ①再生回数257回、90人(再生回数638回)	2024年5月18日、25日、6月1日、10月5日、13日、11月2日、11月10日	かながわアートホール	—		
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者：156人 視聴者数 ライブ：14 YouTube：566	2025年2月8日	かながわアートホール	—		
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：189人 視聴者数 ライブ：35 YouTube：963	2025年3月30日	かながわアートホール	—		
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。 また、前年度に引き続き親子券を導入した。	1,395人	2024年6月23日、24日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると94.7%にのぼった。	再掲	
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文案人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、県関係写真パネル展示を行った。	1,096人	2024年10月6日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると87.7%にのぼった。	再掲	
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 こども達が主体的に参加できる機会を増やし、より一層こども達の成長や達成感を高めるため、複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施したほか、子どもスタッフの取組みも開始した。	648人	メインプログラム 2024年10月28日 事前ワークショップ(講談・箏曲・手妻) 9月23日、10月13日、10月14日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると97.0%にのぼった。その中でも伝統芸能ワークショップ参加者に絞ったアンケートでは、満足度が100%に達した。	再掲	
青少年センターでの公演事業の実施	青少年センターにおける演劇・ダンス発表会やマグカルシアター公演など、主催・共催・後援による公演等を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	14,874人	通年 501公演	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室	—		
第309回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第309回青少年芸術劇場カンパニーデラシネラ「松本 清張 点と線」を実施した。	公募オーディションを実施することで参加型の公演作品とし、集客効果も狙いつつ、東京駅での群集シーンを大人数で視覚化、重層的なシーンを本公演の見どころとした。	1,145人	2024年7月27日、28日 全3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると96.7%にのぼった。 ・DANCE MAGAZINE(ダンスマガジン)2024年11月号のReviewに掲載		
第310回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第310回青少年芸術劇場『せかい A moment with the wondering age.』を実施した。	・2020TOKYOオリンピック開閉会式の振付ディレクターを務めるなど、国内外で活躍する平原慎太郎の作・演出による新作を、青少年センターが有する県内では非常に珍しい舞台装置である「廻り舞台」を演出の軸として活用して上演した。 ・高校生などの若手ダンサーを公募して多数起用した。	532人	令和6年11月30日・12月1日 計3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると93.8%にのぼった。		
013県立文化施設による文化芸術に関する展覧会の開催・普及活動の実施等								
県立近代美術館における展覧会の開催、普及活動事業の実施	葉山館では4つの企画展と2つのコレクション展を開催し、鎌倉別館では2つの企画展と3つのコレクション展を実施した。	展覧会については、情操教育に資するため、バランスの取れた企画を実施した。 また、教育普及活動については、来館者における鑑賞機会の充実を目的として、多様な形態の活動を実践した。	入館者数：47,995人 ギャラリートーク：20回、329人	展覧会：2024年4月20日～6月30日他 教育普及活動：2024年4月29日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館	—		
県立近代美術館における展覧会記念講演会等事業の開催 葉山町での共催による講座の実施	企画展等に関連したトークやパフォーマンス等のイベントを実施した。 また、学芸員による連続講座として「近代美術館入門講座」を開催した。	シンポジウム、パフォーマンス、レクチャークンサートなど企画の多様性をもたせた。	展覧会関連イベント：18回、1739人 近代美術館入門講座：8回、134人	展覧会記念トーク・イベント：2024年4月20日他 近代美術館入門講座：2024年4月29日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館 葉山町福祉文化会館、逗子市役所	—		
県立金沢文庫における展覧会の開催	特別展「久米田寺」や特別展「運慶」等の展覧会を6回実施した。	金沢文庫が管理する文化財を中心に、それと関連する外部の文化財の借用を行い、他の研究機関や自治体と連携して魅力ある展覧会を行った。	入館者数：38,953人	特別展「久米田寺」：2024年9月28日～11月24日 特別展「運慶」：2024年11月29日～2月2日 他	県立金沢文庫	—		
県立歴史博物館における資料の展示	常設展では、各テーマごとに年間を通して展示替えを行った。	展示替えに際しては、小規模なテーマ展「トピック展示」を展開するなどの工夫を行った。	常設展有料入館者数：33,660人	通年 展示替えは資料整理休館日を中心に実施。	県立歴史博物館	年間を通じた計画的な展示替えにより、常設展で1,400件の資料を展示した。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における特別展の実施	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」、「かながわへのまなざし」、「仮面鉤欄」、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」、コレクション展「おひろめ!」、「横浜正金銀行」を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。各特別展ごとに夜間開館日を設け、日中來館しにくい層の來館を促した。	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」14,752人、「かながわへのまなざし」10,238人、「仮面鉤欄」14,257人	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」4月27日～6月30日、「かながわへのまなざし」8月10日～10月6日、「仮面鉤欄」10月26日～12月8日、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」令和6年3月16日～4月14日、コレクション展「おひろめ!」7月20日～9月16日、「横浜正金銀行」11月9日～12月22日	県立歴史博物館	—		
県立歴史博物館における各種講座等の開催	県民の生涯学習支援のための特別展開連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。休館に入ってから専門性の高い講演会および現地見学会を実施した。	パラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：20件、900人 伝統工芸実演：2件（自由見学） 一般向け展示解説：23件、887人 青少年向け講座他：2件、22人 子ども向け体験教室・展示解説：5件、137人 ミュージアムコンサート：1件、61人 学校への出張講座：23件、1,701人	—	県立歴史博物館等	—		
川崎図書館における文化芸術に係る図書貸出	川崎図書館の窓口で文学及び芸術に関する資料の貸出を行った。	—	—	通年	川崎図書館	令和6年度に川崎図書館から貸出された資料の冊数： 芸術：1,074 冊 文学：1,082 冊		
県立図書館における文化芸術に係る図書貸出	県民の調査研究や課題解決を支援するため、文化芸術に関する資料についても充実を図り、提供を行う。	—	—	通年	県立図書館	令和6年度に県立図書館から貸出された資料の点数：212,691点（図書・視聴覚資料・16ミリフィルム）		
県立生命の星・地球博物館における各種講座等の開催	主に当館学芸員が担当し、野外観察会や、屋内での実習や講座を実施する。また、月に複数回、主に子どもを対象としたよろずスタジオを実施する。	電子申請による講座の申し込みにより、講座中止連絡がスムーズに行えるようにした。	野外観察会および講座は51回実施し924人の参加者、よろずスタジオは23回実施し2,339人の参加者。	通年	当館および屋外	—		
県立生命の星・地球博物館における資料の展示	テーマに沿った常設展示と、常設展示を補完する特別展（年1回）、企画展（年1回）、ミニ企画展を通じて、資料収集、調査研究の成果を、県民をはじめとする利用者に広く伝える。	令和6年度の特別展「博物館の30年の歴史を振り返る」では、多くの寄贈資料を紹介した。また、企画展「すな」では、ボランティアをはじめとする多くの関係者から受贈した砂の資料を展示した。	特別展観覧者数53,601人、企画展観覧者数25,399人。	特別展「生命の星・地球博物館の30年～120万点から厳選した資料で振り返る」令和6年7月13日～11月14日 企画展「すな～ふしぎをみつこう～」令和7年2月22日～5月11日	生命の星・地球博物館特別展示室	ミニ企画展示「相模川流域図」・「現生動物から読み解く恐竜の姿」・「地球博の30周年はみだし展—特別展で展示できなかった標本たち—」・「断層岩-断層運動によって変形した岩石-」・「初三郎が描いた大雄山最乗寺を比べる」・「地球博のへび」などで館蔵資料を展示し、紹介した。		
県立生命の星・地球博物館における特別展の実施	テーマに沿った常設展示と、常設展示を補完する特別展（年1回）、企画展（年1回）、ミニ企画展を通じて、資料収集、調査研究の成果を、県民をはじめとする利用者に広く伝える。	令和6年度は「博物館の30年の歴史を振り返る」特別展と、体験型の展示を中心とした「砂」の企画展を企画し、それぞれ実施した。	特別展観覧者数53,601人、企画展観覧者数25,399人。	特別展「生命の星・地球博物館の30年～120万点から厳選した資料で振り返る」令和6年7月13日～11月14日 企画展「すな～ふしぎをみつこう～」令和7年2月22日～5月11日	生命の星・地球博物館特別展示室	ミニ企画展示「友の会の皆さまと共に」・「相模川流域図」・「現生動物から読み解く恐竜の姿」・「地球博の30周年はみだし展—特別展で展示できなかった標本たち—」・「断層岩-断層運動によって変形した岩石-」・「初三郎が描いた大雄山最乗寺を比べる」・「地球博のへび」・「友の会の皆さまと共に—学芸員や私たちといっしょに自然を楽しみませんか—」（全8回）		
県立近代文学館におけるスライドトーク	企画展等に合わせて展示説明会を開催した。	展覧会の内容を資料画像等を用いて解説し、観覧者に対してより深い理解を促した。SNSでも事前に周知し、集客につとめている。	804人	企画展等に合わせて計23回実施	神奈川近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなり、観覧者の展示理解に役出った。		
県立近代文学館における朗読会、上映会等	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、朗読会や上映会等のイベントを実施した。	新たな客層を獲得するため、著名な俳優の出演や文学の枠を超えたイベントなどを実施した。	1,389人	企画展等に合わせて12回実施	神奈川近代文学館	安部公房展での上映会をはじめ、文学以外の分野のファン層が文学館に足を運んだ。		
県立近代文学館における特別展・企画展	各作家の所蔵資料等を活用した特別展・企画展を実施した。 ①特別展「帰って来た橋本治展」 ②企画展「没後15年 庄野潤三展——生きていることは、やっぱり懐かしいことだな!」 ③企画展「没後10年 古田足日のぼうけん」 ④特別展「安部公房展——21世紀文学の基軸」 ⑤常設展「神奈川と作家たち 第2部 芥川龍之介から中島敦まで」 ⑥特別展「大岡信展 言葉を生きる、言葉を生かす」	所蔵資料等を活用し、作家の魅力が伝わる展示を行った。	36,387人 ①11,033人 ②4,307人 ③4,297人 ④11,319人 ⑤4,726人 ⑥705人	①2024年4月1日～6月2日 ②6月8日～8月4日 ③8月10日～9月29日 ④10月12日～12月8日 ⑤2025年1月5日～3月9日 ⑥3月20日～3月30日	神奈川近代文学館	橋本治展は特別展で戦後生まれの作家を取り上げた初めての企画となり、県内外から多くのファンに來館していただいた。		
かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	553人	①紙芝居：2024年8月11日 ②子ども映画会：2024年8月14日、15日 ③おはなし会：8月20日、28日 ④ワークショップ：2024年8月24日 ⑤子ども映画会：2025年3月26日 ⑥紙芝居：2025年3月28日	神奈川近代文学館	例年の内容に加え、8月にエントランス「かなぶんひろば」で古田足日作品の紙芝居、読み聞かせを実施した。また、古田足日展に関連したワークショップを企画した。		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
企画展 眠れよい子 よよい子の 眠る／ところ	県民ホールギャラリーの空間と企画力を生かした企画展を実施した。	2024年12月15日 会期中トークを行った。 2025年1月18日 会期中ダンサーによる即興パフォーマンスを行った。 2025年1月24日 会期中演奏付きのドラマリーディング『銀河鉄道の夜』を行った。	3583人	2024年12月15日～ 2025年1月25日	神奈川県民ホール ギャラリー	—		
オープンシアター2024 ①みんなの 空き地	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として開催したオープンシアター2024の一環として、ギャラリーで展覧会を行った。	—	1323人	2024年 5月23日～6月1日	神奈川県民ホール ギャラリー	—		
（共催）第 62回日本現代工芸美術展 併催展 横浜近郊美術大学卒業 制作選抜展 現代工芸美術家協会 関東在住作家 陶磁・革小 作品展 第7回 神奈川県工芸美術展	県民ホールギャラリーで伝統的な企画展を実施した。	—	2158人	2024年5月23日～6月1日	神奈川県民ホール ギャラリー	—		
（共催） 「ありがとう 神奈川県民ホール」 META2025	県民ホールギャラリーで伝統的な企画展を実施した。	2025年3月29日、30日、31日 会期中パフォーマンスを行った。	2823人	2025年3月20日～31日	神奈川県民ホール ギャラリー	—		
KAAT EXHIBITION 2024 南条嘉毅展 「地中の渦	KAATの劇場空間と現代美術の融合による新しい表現を展開する企画展を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	3371人	2024年9月23日～10月20日 ※9月28日 リーディング ／9月29日アーティスト トーク 含む	KAAT神奈川県芸術劇場（中スタジオ）	関連企画としてリーディング公演「地中の渦」と、アーティストトーク「地中の渦 山下居留地遺構にもぐる」を行った。		
014文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供								
（共催）神奈川県フィル ハーモニー 管弦楽団 県民名曲シリーズ ①第20回 ②第21回 「睡れ！第九」 ③第22回 「ありがとうカナケン！～ザッツ・エンターテインメント～」	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団に県民ホールにて公演する機会をつくり、演奏会場の提供を行った。	—	①731人 ②783人 ③1705人	①2024年5月25日 ②2024年6月15日 ③2025年3月22日	神奈川県民ホール 大ホール	—		
（共催）横浜バレエ・フェスティバル2024	横浜を拠点とするバレエの祭典を上演する機会をつくり、会場の提供だけでなく様々な協力をを行った。	本公演前に【前夜祭】【木村優里 特別ワークショップ】を行った。※また出場者のオーディションも行い人材発掘を行った。	1746人	2024年8月4日	神奈川県民ホール 大ホール	—		
（共催）第40回 芸術舞踊展 MODERN AND BALLET2024	神奈川県舞踊協会の恒例の公演に会場の提供を行った。	—	1144人	2024年10月26日	神奈川県民ホール 大ホール	—		
Yokohama City Opera コンサート シリーズ24 歌曲の花束 Vol.19 、Vol.20	横浜を拠点にするオペラ団体の演奏会上演機会をつくり、会場を提供した。	—	①129人②145人	2024年①7月7日②7月14日	神奈川県民ホール 小ホール	—		
（共催）松山バレエ団 2024Xmas公演「くるみ割り人形」全幕	県民ホールの舞台機構を活かした国内一流のバレエ公演に会場を提供した。	—	1557人	2024年12月20日	県民ホール大ホール	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
(共催) Ballet Art KANAGAWA2025「眠れる森の美女」全幕	県民ホールの舞台機構を活かした県内のバレエ公演に会場を提供した。	—	2106人	2025年1月19日	県民ホール大ホール	—			
(共催) アトリエヨシノ マラーホフ版「白鳥の湖」全幕	県民ホールの舞台機構を活かした国内一流のバレエ公演に会場を提供した。	—	2053人	2025年2月8日	県民ホール大ホール	—			
(共催) 「ありがとう神奈川県民ホール」 細川久恵オルガンリサイタル〜沈黙の光〜	長年県民ホールを舞台に演奏活動を続けるオルガニストに、休館を前に演奏会上演機会をつくり、会場を提供した。	—	153人	2025年3月14日	神奈川県民ホール小ホール	—			
(共催) 「ありがとう神奈川県民ホール」 松山バレエ団 新「白鳥の湖」全幕	県民ホールの県民ホールの休館を前に舞台機構を活かした国内一流のバレエ公演に会場を提供した。	—	1851人	2025年3月29日	県民ホール大ホール	—			
(共催) 「ありがとう神奈川県民ホール」 高橋優 LIVE TOUR 2025「ARE YOU HAPPY?」	県民ホールの休館を前に人気の高いポピュラー系アーティストの公演に会場を提供した。	—	2300人	2025年3月5日	県民ホール大ホール	—			
(共催) 「ありがとう神奈川県民ホール」 TOSHIKI KADOMATSU Performance 2025 C.U.M. Vol.2 Instrumental Tour “Tiny Scandal”	県民ホールの休館を前に人気の高いポピュラー系アーティストの公演に会場を提供した。	—	2197人	2025年3月11日	県民ホール大ホール	—			
第40回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2024年8月11日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月6日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：622人 鑑賞者数：1,866人	①クリスタルコンサート：2024年8月11日 ②トップコンサート：2024年10月6日 コンクール全体は2024年3月17日～12月15日	①クリスタルコンサート：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—			
第19回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	579人	2025年1月25日	音楽堂	—			
カナガワリ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見	川崎市と横浜市鶴見区の2か所を会場に事業を行った。 川崎では、多様で豊かな民俗芸能の公演を実施するとともに川崎市に伝わる獅子舞及び神奈川県にゆかりのある世界の獅子舞の公演を実施した。 また、横浜鶴見では県内にある2つの寺院の声明公演を行った。	川崎では、ホール近隣の屋外においても、ミニステージを実施し、往来の方々には民俗芸能の訴求を行った。	【川崎】 543名 (来場者393名、出演者150名) 【横浜鶴見】 284名 (来場者253名、出演者31名)	【川崎】 2024年11月23日 【横浜鶴見】 2024年10月26日	【川崎】 川崎市コンベンションホール 他 【横浜鶴見】 横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール	—	再掲		
初めての音楽会事業「音楽たま箱」	小学生に初めてのホールコンサート体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらう。	通常のホールコンサートと同様の演出を行った。	入場者：290人	2024年6月25日	かながわアートホール	—			
吹奏楽ウィーク	アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、公演を行った。	入退場自由とし、滞留性を高めた。	①286人 ライブ：25人 アコースティック：2,406人 ②666人 視聴者数 ライブ：64人 アコースティック：3,382人	2024年11月16日、23日	かながわアートホール	—			
ウ県民の文化芸術活動や発表機会の支援									
015県立文化施設等での練習・発表等の場の提供									
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	7929人	2024年4月～2025年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や県外の団体からの応募が増えるなど、すそ野が広がっている。		重点施策5	

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：17人 成果発表公演観覧者数：198人	2024年6月～9月 ※レッスン 成果発表公演：2024年8月31日、9月1日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。		重点施策 5
かながわバフォーミングアーツアワード2025	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわバフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：7団体 【来場者数】 ファイナル：288人 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：44人	ファイナル：2025年3月15日～16日 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2025年1月19日	ファイナル：KAAT 神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—		重点施策 5
神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ 2024（第8期生）	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習やそれぞれの合奏練習を行った。	受講者数：40人 入場者：255人 視聴者数 ライブ：161 ライブ：6,032	2024年8月25日	かながわアートホール	—		重点施策 5
令和6年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	昨年度に引き続き、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式をとった。	【応募数】 5団体	2024年7月1日～12月27日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—		重点施策 5
マグカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	令和6年度は年間通して計14回実施。	出演者数：1026人 参加者数：123,382人	4/28, 5/12, 5/25, 5/26, 6/16, 6/23, 9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 11/24, 12/1, 12/8, 3/9	県庁前日本大通り	—		重点施策 5
とびだせ！マグカル開放区	「マグカル開放区」を、県内の他地域に拡大（アウトリーチ）して行うことで、日本大通りの「マグカル開放区」の取組を全県に発信するとともに県内地域のにぎわいを創出した。	令和6年度は6回実施。	出演者数：513人 来場者数：39,936人	①2024年7月15日 ②10月14日 ③11月4日 ④12月15日 ⑤12月21日 ⑥2025年3月30日	①テラスモール湘南 そらかぜステージ・ゲートスクエア ②ミナカ小田原 金次郎広場 ③海老名中央公園 円形ステージ ④相模大野駅北口 ペDESTリアンデッキ ⑤LIDRE 横須賀 店頭特設会場 ⑥神奈川県民ホール 大ホール	—		重点施策 5
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	614人	2024年8月2日	青少年センター紅葉坂ホール	—		重点施策 5
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、講師による講評を行わないこととした。	2,140人	2024年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	高体連ダンス専門部役員、各校顧問の意見を参考に運営方法の見直しを行った結果、観客数がかなり増加した。		重点施策 5
中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,645人 高校生：1,575人	中学校：2024年12月7日、8日 高等学校：2024年11月18日、19日	青少年センター紅葉坂ホール	—		重点施策 5
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	375人	2025年2月22日、23日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。		重点施策 5
(提携) TAK in KAAT (神奈川県演劇連盟の公演)の実施 ①「ヨルノハテのショーケース」 ②劇団横浜にゆうくりあ創立40周年記念公演「マリア・ルーズ号の夏」	神奈川県演劇連盟に所属する劇団のうち毎年2団体が、KAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	①318人 ②555人	①2024年4月17日～21日 ②2024年8月10日～11日	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5
吹奏楽ウィーク	アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、公演を行った。	入退場自由とし、滞留性を高めた。	①286人 ライブ：25 ライブ：2,406 ②666人 視聴者数 ライブ：64 ライブ：3,382	2024年11月16日、23日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策 5
(提携) Baobab PRESENTS「DANCE×Scrum!!」2024	若手ダンスコレオグラファーやカンパニーと観客の交流を含めた大スタジオやアトリウムでの公演を含めた4日間のダンスフェスティバルを行った。	セネガルやイスラエルからゲストアーティストの招聘を行った。また会場として県民ホール噴水前広場も一部使用して無料のプログラムを行った。	①大スタジオ 455人 ②アトリウムほか 2025人 ③ワークショップ 170人	2024年4月27日～5月6日	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ、アトリウム、劇場エントランス、※県民ホール噴水前広場）	ブレ企画として大スタジオでワークショップを行った。		重点施策 5
(提携) 舞台「白蟻」	KAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、上演会場の提供を行った。	—	1377人	2024年6月6日～9日（7回）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
横浜夢座25周年・五大路子舞台生活50周年記念 「富貴楼お倉」～花のように、風のように、海のように～横浜から世界を動かした女	神奈川県内を拠点に活躍する演劇人にKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	1061人	2024年9月13日～16日（5回公演）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5
（提携）Co. 山田うん 2025新作「遠地点」	気鋭の舞踊カンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	473人	2025年1月25日、26日（4公演）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5
（提携）la banshees『幽霊』another ver.	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	324人	2024年10月11日～14日	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5
（提携）た組「ドローが落下する」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	2347人	2025年1月10日～19日（12回）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策 5
（提携）ラオス×日本ろう者と聴者が協同するアジアのオブジェクトシアター「いのちあまるもの 闇の中から」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	189人	2024年12月21日、22日	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ）	—		重点施策 5
（共催）音楽堂ホリデーアフタヌーンコンサート	神奈川県内を拠点にクラシック音楽の振興に努めている音楽事務所が継続して音楽堂で開催している室内楽コンサートに会場を提供した。 ①石田泰尚（ヴァイオリン）＆山本裕康（チェロ）デュオ・リサイタル ②葵トリオ ③神尾真由子無伴奏ヴァイオリン・リサイタル ④辻 彩奈&阪田和樹 デュオ・リサイタル ⑤山根一仁&阪田知樹 デュオ・リサイタル ⑥小林海都 ピアノ・リサイタル ⑦及川浩治ピアノ・リサイタル ⑧ジャン＝ギャン・ケラス チェロ・リサイタル ⑨石田泰尚&松田弦 デュオ・リサイタル ⑩中野翔太 ピアノ・リサイタル	半年ごとのシリーズ券広報等の協力に努めた。	①974人 ②813人 ③946人 ④922人 ⑤648人 ⑥456人 ⑦656人 ⑧846人 ⑨1046人 ⑩628人	①2024年4月21日 ②2024年5月26日 ③2024年6月16日 ④2024年7月13日 ⑤2024年9月28日 ⑥2024年10月20日 ⑦2024年11月17日 ⑧2024年12月1日 ⑨2025年1月13日 ⑩2025年3月22日	音楽堂	—		重点施策 5
（共催）神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会 音楽堂シリーズ「Classic Modern」 ①第29回 ②第30回 ③第31回	伝統的に継続している、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期公演シリーズに会場を提供し、音楽堂ならではの音響を生かしたレパートリーの紹介に努めた。	同日午前中のリハーサルを、「小中高生のためのリハーサル見学」として子どもたちとその保護者に無料で公開する主催事業を運動させた。	①630人 ②816人 ③796人	①2024年5月18日 ②2024年7月6日 ③2025年1月11日	音楽堂	—		重点施策 5
（共催）加藤訓子プロデュース MUSIC DAY IN KANAGAWA ①日・韓・独共同プロジェクト「イリヤン・チャンの肖像」 ②「メタ・クセナキス」	神奈川県内を拠点に日本を代表する活動をしている打楽器奏者のプロデュースするコンサート企画に会場を提供し、現代の打楽器音楽の表現の紹介に努めた。	—	①369人 ②300人	①2024年5月31日 ②2024年9月21日	音楽堂	—		重点施策 5
（共催）第67回神奈川県合唱祭	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱祭に会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。	—	2900人（4日間延べ）	2024年6月8日、9日、22日、23日	音楽堂	—		重点施策 5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(共催) 第47回神奈川県合唱フェスティバル & 第43回ジュニア合唱祭	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱祭に会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。	—	900人	2025年2月11日	音楽堂	—		重点施策 5
(共催) 第63回「音楽堂・おかあさんコーラス」	歴史的に継続している神奈川県内の女声合唱団の集合する合唱祭に会場を提供して年間を通して開催に協力し、県内の合唱文化の振興に努めた。	年間を通して音楽堂が実行委員会と協力して開催準備に努めた。	1110人 (3日間延べ)	2024年10月1日～4日	音楽堂	—		重点施策 5
全日本おかあさんコーラス神奈川県大会	県内合唱団参加者による伝統ある女声合唱大会	—	500人	2024年4月20日	音楽堂	—		重点施策 5
(共催) 第33回神奈川県オペラフェスティバル'24 ①第1夜オペラ『不思議の国のアリス』 ②第2夜 ガラコンサート	神奈川県内を拠点に活動をしているオペラ団体の実施するフェスティバル企画に会場を提供し、オペラ文化の振興に努めた。	—	①618人 ②376人	①2024年8月31日 ②2024年9月29日	音楽堂	—		重点施策 5
(共催) 開館70周年記念ベルリンRIAS室内合唱団	開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズに組み入れるにふさわしい共催公演を誘致し、民間音楽事務所に会場を提供し、公演の開催に協力した。	音楽堂初登場の演奏家や新制作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	929人 ※特別ワークショップ125人	2024年11月28日 ※合唱ワークショップ11月27日	音楽堂	本公演を主催公演とともに音楽堂ヘリテージコンサートの年間セット券として販売した。 本公演の前日に全日本合唱連盟の協力により合唱ワークショップを行った。		重点施策 5
(共催) 団地コーラス発表会	神奈川県内の行う合唱発表会の開催に協力し、会場を提供した。	—	300人	2025年1月22日	音楽堂	—		重点施策 5
016公募展やコンクール等の開催による発表の場の提供								
神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図るため、公募美術展を開催した。	2023年度より、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行っている。また、部門によって異なる賞金額の解消と賞のランク付けを明確化、運営費の確保のため、特選以下の賞を標準化した。	応募点数：1,272点 応募人数：864人 入選者数：319人 入賞者数：40人 入場者数：5,398人 ・1期展 2,109人 ・2期展 2,095人 ・鎌倉展 1,194人	応募作品搬入：【工芸・書・写真部門】7月6日(土)、7日(日) 【平面立体部門】7月13日(土)、14日(日) 展覧会： 【1期展】9月4日(水)～9月15日(日) 【2期展】9月18日(水)～9月29日(日) 【鎌倉展】11月1日(金)～11月10日(日)	【1期展・2期展】：神奈川県民ホールギャラリー 【鎌倉巡回展】鎌倉芸術館ギャラリー	—		重点施策 5
(共催) 第40回かながわ音楽コンクール ①ユースピアノ部門 本選 ②ヴァイオリン部門 本選	県内新聞社が行っている伝統ある器楽コンクール	—	①500人 ②500人	①2024年4月29日 ②2024年5月19日	音楽堂	—		重点施策 5
(共催) 第67回神奈川県合同合唱コンクール	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱コンクールに会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。	—	①1220人 ②1500人 ※いずれも延べ	2024年 ①8月17日 ②8月18日	音楽堂	—		重点施策 5
(共催) 第38回ヨコハマ・コンペティション	神奈川県芸術舞踊協会による県内外のダンサー、振付家の集合する舞踊祭（コンペティション部門）に会場を提供し、県内の舞踊文化の振興に努めた。	—	600人（4日間延べ）	2024年11月21日～24日	音楽堂	—		重点施策 5
017創作・発表等の活動への助成等による支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県芸術文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：61件 助成団体数：30件 助成金交付額：8,046千円	交付申請書の提出期限：2024年2月15日～2024年3月15日（電子申請） 審査会：2024年4月9日 交付決定通知書の送付：2024年4月23日～5月13日	—	—	再掲	重点施策 5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集： 2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集： 2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲	重点施策5
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 60団体 596人 資料室夜間利用者 418人	通年	青少年センター	—		重点施策5
018伝統的な芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援								
県民ホール本館での公演事業の実施	故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、開館50周年を迎える県民ホール本館における様々な主催、共催公演を実施した。また特に、年度末には、4月からの休館を前に「ありがとう神奈川県民ホール」と題した記念シリーズの主共催公演や県民を引き付けるイベントを様々な実施した。	プロフェッショナルなアーティストによる舞台芸術や音楽、美術作品を、ホールやギャラリーという会場で鑑賞したいという県民ニーズに応え、また公演だけにとどまらず、休館に入る県民ホールに対する、長年の県民の思いに応える記念イベントを実施した。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	2024年4月～2025年3月 (下記各々の事業日程に記す)	県民ホール本館ほか	開館50周年と同時に休館に入る前の最後の年度として、新しい総合芸術表現を追求・創作する舞台から県民の鑑賞機会の提供、世界トップレベルのオペラやダンスカンパニーの公演、また「ありがとう神奈川県民ホール」と題した一連の取り組みにより県立文化施設としての発信を行った。	再掲	
(共催) 県民ホール開館50周年記念企画 県民ホール寄席(番外編) 春風亭一之輔 独演会	県民ホールのクロージングイベントの一環として県内のイヴェンターの特別公演としての落語会を行った。	—	400人	2025年3月15日	県民ホール小ホール	開館50周年と同時に休館に入る前の最後の年度として、新しい総合芸術表現を追求・創作する舞台から県民の鑑賞機会の提供、世界トップレベルのオペラやダンスカンパニーの公演、また「ありがとう神奈川県民ホール」と題した一連の取り組みにより県立文化施設としての発信を行った。		
神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚圭史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、「プレジーズンと「某(なにがし)」」をテーマに掲げたメインシーズンとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特徴を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	KAAT神奈川芸術劇場ほか	つくる劇場としてのKAATの制作力、ネットワークを活用して、評価の高い新制作舞台作品、海外の劇場や演劇祭との連携を著実にを行い、神奈川から他県との連携、海外への発信を行なった。 また県民に親しみをもたせ、無料で気軽に劇場を訪れられるアトリウム企画等やマルシェ等の「KAATフレンドシッププログラム」や次世代の観客を育てる「KAATキッズプログラム」などに取り組んだ。	再掲	
音楽堂での公演事業の実施	故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野雄司芸術参与のアドバイスのもと、開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、室内オペラ・プロジェクトやヘリテージ・コンサートのほか、開館70周年記念の特別企画など、各種プログラムを実施した。また特に開館記念日の11月4日近辺の1週間には特別企画を集めた「開館70周年記念週間」を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や新制作作品等に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家や音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。また今年度は1年を通して開館70周年記念の冠を冠した企画とした。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	音楽堂ほか	室内オペラ・プロジェクト『オルフェオ』新制作は兵庫県立芸術劇場等との共同制作で実施したほか、その関連企画は、平塚、相模原等県内の他の公立文化施設のほか昭和音楽大学等と連携して県内各地で行った。 また新企画の公募事業である「紅葉坂プロジェクト」、社会連携ポータル課との連携による、「インターンシップや「先生のためのアウトリーチ」等の教育普及、人材育成に取り組んだ。 また紅葉ヶ丘地域の公立文化施設五館の協働アクションである「紅葉ヶ丘まいらん」ほか他の公立文化施設との連携、協働に留意した。	再掲	
(共催) 第58回神奈川県名流三曲祭	神奈川県三曲会による伝統音楽の集合する三曲祭に会場を提供した。	—	100人	2024年11月30日	音楽堂	—		
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	336人	2024年12月8日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲	
(3)芸術家等の育成等に関する支援等 ア芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成								
019神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に對して「神奈川文化賞」を贈呈した。 2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏いただき、催し全体で文化を盛り上げることができた。	1,162人	2024年11月3日	神奈川県民ホール 大ホール	受賞者6人 (文化賞：4人、未来賞：2人)		
020舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援								
NDT(ネザラン ド・ダンス・シアター) プレミアム・ジャパン・ツアー2024 レポート リークラス	海外の文化芸術の県民への鑑賞機会の提供のために海外の優れたダンスカンパニーの公演を実施するにあたり、ワークショップを行った。	—	99人(参加者)	2024年7月2日、3日	県民ホールリハーサル室	—		重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
2024年度 神奈川県立 音楽堂&神 奈川県民 ホール 制作 広報イン ターン	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	7人	2024年8月27日～9月24日	県民ホール本館、音楽堂ほか	—		重点施策 2
舞台技術講座2024	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。 ①KAAT舞台技術講座2024「実現するちから」を学ぶ～舞台映像編～ ②KAAT神奈川芸術劇場×東京芸術劇場KAAT舞台技術講座2025「～舞台演出における無線制御と関連法令～『技適』って何？」	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①50人 ②77人	①2024年7月9日 ②2025年1月21日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策 2
グリーンシアター・ワークショップ ①～持続可能な舞台芸術を目指して～ ②～国内の舞台作品のサステイナブルな事例を学び、実践につなげる～	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①50人 ②25人	①2024年6月10日 ②2025年3月11日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策 2
KAAT神奈川芸術劇場 2024年度インターン 舞台技術コース	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	—	3人	2024年8月31日～9月16日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策 2
2024年度 神奈川県立 音楽堂&神 奈川県民 ホール 制作 広報イン ターン	制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。	7人	2024年8月27日～9月24日	音楽堂、県民ホールほか	—		重点施策 2
昭和音楽大学大学院寄付講座	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	—	15人	2024年12月25日、27日	県民ホール、音楽堂	—		重点施策 2
劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者等を主な対象とし、専門性を高く設定した人材育成講座を実施した。 ①神奈川県民ホール講座 障害者差別解消法について 文化へのアクセスをデザインする～ミュージアムと合理的配慮～ ②オルガンアドバイザー中田恵子による職員向けオルガンレクチャー ③令和6年度神奈川県公立文化施設協議会 第2回技術研修会 劇場におけるドローンの活用について	公立文化施設協議会の幹事館として他の県内文化施設スタッフも対象とするものや、県民ホールの職員のバイブオルガンの知見を高めるための、専門性の高い外部講師を招いて今日的課題に迫る内容での実施を行った。	①85人 ②29人 ③38人	①2024年7月4日 ②2024年9月4日 ③2024年9月11日	①県民ホール大会議室 ②県民ホール小ホール ③県民ホール小ホール	—		重点施策 2
021芸術家の研修等による育成支援								
オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・ブロムナード・コンサート Vol.408 出演者オーディション	若手のオルガニストの発掘機会となる、県民ホールで実施する公演へのオーディションを実施した。	—	5人（参加者）	2024年8月21日	県民ホール小ホール	—		重点施策 2
横浜バレエフェスティバル2024 ①出演者オーディションファイナル ②木村優里特別ワークショップ	共催事業である横浜バレエフェスティバルの一環として下記を行った。 ①出場者のオーディションを行い、県民ホール賞の授与を行った。賞のトロフィーは女子美術大学出身の若手作家による作品を用いている。 ②専門的なワークショップを行った。	—	①29人（参加者） ②122人（参加者）	2024年 ①4月29日 ②8月1日～3日	県民ホール大ホール ②県民ホールリハーサル室	—		重点施策 2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
創作環境と劇場の未来を考え、劇場の創造活動の核を育てていく取組「カイハツ」	①戯曲カイハツ「エウロペーナ」 ②創作プロセスカイハツ「ボン・パーク&原サチコによるワークショップ」 ③カイハツ・ワークショップ 瀬戸内サーカスファクトリー×KAAT「現代サーカスのための技術創作ラボラトリー」（共催）※関連企画「報告会」あり ④戯曲カイハツ「The Jungle」を読む会 ⑤戯曲カイハツ「sexual misconduct of the middle classes」を聞く会 ⑥企画・人材カイハツ 池内美奈子企画「アクティヴ・アナライズを実践しウクライナ戯曲を読む」 ⑦戯曲カイハツ「Infinite Life」を読む会 ⑧企画・人材カイハツ 目黒陽介企画「現代サーカスやパントマイムのパフォーマンスによる演劇的作品の可能性を探る」 ⑨戯曲カイハツ ステファノ・マッシーニ「アイヒマン 夜の始まるところ」を聞く会 ⑩戯曲カイハツ永野愛「カズオ」を聞く会	・劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアをカイハツするプロジェクトとして、2021年度より開始した。新たな表現の実験、ジャンルを横断したアーティストの交流、様々な情報の収集などの活動を行った。 ・「企画・人材カイハツ」「創作プロセスカイハツ」「戯曲カイハツ」を軸に、劇場の創作活動の核を育てていくことを目指す取り組みを行った。	①11人 ②17人 ③25人※55人 ④26人 ⑤14人 ⑥17人 ⑦7人 ⑧20人 ⑨10人 ⑩9人	2024年 ①4月25日 ②7月16日～20日（5日間） ③8月19日～25日（6日間）※8月25日 ④9月19日、26日 ⑤10月17日 ⑥10月25日～11月4日（8日間） ⑦11月1日 ⑧12月18日、24日～27日（5日間） 2025年 ⑨3月21日 ⑩3月23日	KAAT神奈川芸術劇場 アトリエ、大スタジオ	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。		重点施策2
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集： 2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集： 2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲	重点施策2
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：17人 成果発表公演観覧者数：198人	2024年6月～9月 ※レッスン 成果発表公演：2024年8月31日、9月1日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策2
開館70周年記念／シリーズ「新しい視点」『紅葉坂プロジェクト』	演奏家、作曲家、プロデューサー等を問わず、新しい視点による企画案を企画委員が選考し、音楽堂の主催事業として実現する事業を2021年度より開始した。 ①Vol. 3 本公演 ②Vol. 4 ワークインプログレス<公開プレゼンテーション>を行った。	見識のある企画委員のもとで、音楽堂の空間を活かして、音楽を中心に他ジャンルとのコラボレーション等も含めて新しい表現を考える人材を公募、開発、育成するプロジェクトを実施した。①公開デモンストレーションであるワークインプログレスと②本公演の2回を年度内に行った。	①156人 ②91人	①2024年7月20日 ②2025年3月8日	音楽堂ホール	音楽堂ホームページ、SNS、チラシ、大学等への周知依頼等		重点施策2
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 60団体 596人 資料室夜間利用者 418人	通年	青少年センター	—		重点施策2
イ創作のための環境整備や創造的活動の成果発表の機会の確保								
022県立文化施設等での練習・発表等の場の提供								
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センタースタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオフアーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	7929人	2024年4月～2025年3月	青少年センタースタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や県外の団体からの応募が増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策2
マグカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	令和6年度は年間通して計14回実施。	出演者数：1026人 参加者数：123,382人	4/28、5/12、5/25、5/26、6/16、6/23、9/22、9/29、10/6、10/13、11/24、12/1、12/8、3/9	県庁前日本大通り	—	再掲	重点施策2
023公募展やコンクール等の開催による発表の場の提供								
第40回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2024年8月11日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月6日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：622人 鑑賞者数：1,866人	①クリスタルコンサート：2024年8月11日 ②トップコンサート：2024年10月6日 コンクール全体は2024年3月17日～12月15日	①クリスタルコンサート：横浜青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—	再掲	重点施策2
神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図るため、公募美術展を開催した。	2023年度より、巡回先として鎌倉芸術館で巡回展を行っている。また、部門によって異なる賞金額の解消と賞のランク付けを明確化、運営費の確保のため、特選以下の賞を平準化した。	応募点数：1,272点 応募人数：864人 入選者数：319人 入賞者数：40人 入場者数：5,398人 ・1期展 2,109人 ・2期展 2,095人 ・鎌倉展 1,194人	応募作品搬入：【工芸・書・写真部門】7月6日（土）、7日（日） 【平面立体部門】7月13日（土）、14日（日） 展覧会： 【1期展】9月4日（水）～9月15日（日） 【2期展】9月18日（水）～9月29日（日） 【鎌倉展】11月1日（金）～11月10日（日）	【1期展・2期展】：神奈川県民ホールギャラリー 【鎌倉巡回展】鎌倉芸術館ギャラリー	—	再掲	重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
かながわパフォーミングアーツワード2025	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわパフォーミングアーツワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：7団体 【来場者数】 ファイナル：288人 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：44人	ファイナル：2025年3月15日～16日 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2025年1月19日	ファイナル：KAAT 神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	再掲	重点施策2
024県立文化施設主催事業等における新進芸術家の積極的登用								
第19回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	579人	2025年1月25日	音楽堂	—	再掲	重点施策2
オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・プロムナード・コンサート Vol.408 出演者オーディション	若手のオルガニストの発掘機会となる、県民ホールで実施する公演へのオーディションを実施した。	—	5人（参加者）	45525	県民ホール本館	—	再掲	重点施策2
横浜バレエフェスティバル2024 ①出演者オーディション ②木村優里特別ワークショップ	共催事業である横浜バレエフェスティバルの一環として下記を行った。 ①出場者のオーディションを行い、県民ホール賞の授与を行った。賞のトロフィーは女子美術大学出身の若手作家による作品を用いている。 ②専門的なワークショップを行った。	—	①29人（参加者） ②122人（参加者）	2024年 ①4月29日 ②8月1日～3日	県民ホール大ホール ②県民ホールリハーサル室	—	再掲	重点施策2
アカデミー登録制度	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの履修生による登録制グループを結成し、県の広報媒体への出演等により、活動の場を提供する。	多様な活動機会が提供できるよう、予算や活動条件を柔軟に対応できるような実施要領を定めている。	10人（登録者数）	①2024年9月～2025年2月	①神奈川県庁（ベトナムフェスタ）及び幼稚園保育園等2名（ダブルキャスト）	—		重点施策2
(4)文化芸術団体の育成等 ア文化芸術団体の育成・支援・連携・協働の推進								
025文化芸術団体への助成等による支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川芸術文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：61件 助成団体数：30件 助成金交付額：8,046千円	交付申請書の提出期限：2024年2月15日～2024年3月15日（電子申請） 審査会：2024年4月9日 交付決定通知書の送付：2024年4月23日～5月13日	—	—	再掲	重点施策5
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集：2024年2月15日～3月15日 募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集：2024年6月4日～7月12日 募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲	重点施策5
026文化芸術団体の活動に対する後援								
文化芸術団体の活動に対する後援	文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。	—	後援人義の使用承認実績：146件	—	—	—		重点施策5
神奈川文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	—	認証件数：559件	—	県内全域	—		重点施策5
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。また、アニメーションを作成し、6カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：277件	—	県内全域	—		重点施策5
027県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①17人 ②29人 ③25人 ④44人	①2024年7月12日（金） ②2024年7月27日（土）・28日（日） ③2024年8月8日（木）・9日（金） ④2024年8月12日（月祝）・13日（火）	①三崎小学校 ②秦野市立西公民館 ③横須賀市文化会館 ④県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、65人（回答者数）全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲	
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①238人 ②242人 ③200人 ④126人 ⑤171人	①2024年9月26日 ②10月3日 ③12月2日 ④2025年2月20日 ⑤3月18日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③二宮高校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
能楽ワーク ショップ	小学生とその保護者を対象に、 謡曲・楽器の体験や能の鑑賞の ワークショップを行った。	—	①15人 ②6人 ③17人	①2025年1月18日(土) ②2025年2月8日(土) ③2025年3月2日(日)	①サン・エールさ がみはら多目的室 ②あつぎ市民交流 プラザamyuスタジ オ ③青少年センター 練習室	—	再掲	
相模人形芝 居大会	国指定重要無形民俗文化財また は県指定重要無形民俗文化財に 指定されている相模人形芝居の 5座が一堂に介しての合同公演 を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験 ができる時間を設け、伝統 芸能をより身近に感じてもら える工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：784人	2025年3月16日	南足柄市文化会館 大ホール	—	再掲	
カナガワ リ・古典ブ ロジェクト in 川崎・横 浜鶴見	川崎市と横浜市鶴見区の2か所 を会場に事業を行った。 川崎では、多様で豊かな民俗芸 能の公演を実施するとともに川 崎市に伝わる獅子舞及び神奈川 県にゆかりのある世界の獅子舞 の公演を実施した。 また、横浜鶴見では県内にある 2つの寺院の声明公演を行っ た。	川崎では、ホール近隣の屋外 においても、ミニステージを 実施し、往来の方々に民俗芸 能の訴求を行った。	【川崎】 543名 (来場者393名、出 演者150名) 【横浜鶴見】 284名 (来場者253名、出 演者31名)	【川崎】 2024年11月23日 【横浜鶴見】 2024年10月26日	【川崎】 川崎市コンベン ションホール 他 【横浜鶴見】 横浜市鶴見区民文 化センターサルビ アホール	—	再掲	
かながわバ フォーミン グアーツア ワード2025	「演劇」に限らず、身体性を伴 う舞台芸術作品を幅広く対象と するため、昨年より「かながわ パフォーマンスア ワード」へと名称をリニューアル し、コンペティションを引き続 き開催した。	ファイナルのライブ配信及び アーカイブ配信を廃止し、劇 場での観劇を促し、来場者数 の増加を目指した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：7団 体 【来場者数】 ファイナル：288人 22世紀飛翔枠選抜大 会(県内高校生枠選 抜大会)：44人	ファイナル：2025年3月 15日～16日 22世紀飛翔枠選抜大会 (県内高校生枠選抜 大会)：2025年1月19日	ファイナル：KAAT 神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜 大会(県内高校生 枠選抜大会)；県 立神奈川総合高等 学校	—	再掲	
共生共創事 業	シニア劇団やシニアダンス企画 の運営、障がい者等が参加する 舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに に、動画配信の手法も活用 し、共生社会の理念を普及し た。	9,412人 再生回数：23,769回 公演等回数：42回	2024年4月～2025年3月	オンライン(動 画)、横須賀市立 青少年会館、綾瀬 市オーエンス文化 会館、小田原市生 涯学習センターけ やき、神奈川県民 ホール 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、 「大変良かった」・「良かった」と回答した人 が90.2%となった。		
令和6年度 かながわ ミュージカ ルアワード	神奈川県内で活動する市民 ミュージカル団体等を公募し、 出張審査によりかながわミュ ジカルアワードを決定した。	昨年度に引き続き、各参加団 体の公演を審査委員が出張審 査しアワードを決定する方式 をとった。	【応募数】 5団体	2024年7月1日～12月27 日	各参加団体の公演 会場(神奈川県内 に限る)	—	再掲	
県営団地にお けるシニア 合唱事業	県営団地において、住民等を対 象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリ ンやピアノ等のコンサートも 実施しながら、合唱のレッス ンを実施	2,667人	2024年4月～2025年3月	各県営団地(10か 所)	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターン シップとして本事業に派遣。学生は運営を支 援。 県立音楽堂にて成果発表会を実施。		
歌舞伎鑑賞 教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活 動の場づくりの一環として、県 民の伝統文化への理解を促進 し、継承、発展への機運を盛り 上げるために、青少年・一般県 民を対象に、歌舞伎を上演し た。	国立劇場開場に伴い、学校行 事で歌舞伎鑑賞を実施してい た学校を中心に学生団体の受 入れに力を入れた。 また、前年度に引き続き親子 券を導入した。	1,395人	2024年6月23日、24日 全4公演	青少年センター紅 葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良 かった」「良かった」を合わせると94.7%にの ぼった。	再掲	
人形浄瑠璃 文案	文化芸術の鑑賞機会の充実と活 動の場づくりの一環として、県 民の伝統文化への理解を促進 し、継承、発展への機運を盛り 上げるために、青少年・一般県 民を対象に、人形浄瑠璃文案を 上演した。	文案人形による観客出迎え及 び記念写真コーナー設置、文 楽関係写真パネル展示を行っ た。	1,096人	2024年10月6日 全2公 演	青少年センター紅 葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良 かった」「良かった」を合わせると87.7%にの ぼった。	再掲	
かながわ伝 統文化こども 歳時記	子どもとその保護者を対象に、 伝統芸能のみならず、年中行事 やお祭り、昔話や伝承遊びと いった、生活に密着した地域の 伝統文化が持つ魅力を、多彩な プログラムを通して紹介した。	ホールだけではなく、ホワイ エ空間や屋外も使ったプログ ラムを展開した。 こども達が主体的に参加でき る機会を増やし、より一層こ ども達の成長や達成感を高め るため、複数回のWSを経て 成果発表まで行うWSを実施 したほか、子どもスタッフの 取組みも開始した。	648人	メインプログラム 2024 年10月28日 事前ワークショップ(講 談・筆曲・手妻)9月23 日、10月13日、10月14日	青少年センター紅 葉坂ホール、同ホ ワイエ、スタジオ HIKARI、交流ス ペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よ かった」を合わせると97.0%にのぼった。その 中でも伝統芸能ワークショップ参加者に絞った アンケートでは、満足度が100%に達した。	再掲	
028文化芸術団体相互の連携の促進								
かながわ民 俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能 保存協会加盟団体等が一堂に介 して、民俗伝統芸能を披露し た。	地域に暮らす人々により受け 継がれてきた踊りや芝居をま とめて鑑賞できるよう、県内 3市町の伝統芸能を紹介し た。	336人	2024年12月8日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲	
かながわ児 童劇グルー プ交流会(か ながわ人形 劇フェス ティバル)	地域で人形劇などの児童文化活 動を行っているアマチュアグ ループに活動成果の発表と相互 交流の場を提供する事業として 実施した。	出演団体の募集について、高 校や短大で活動している複数 の人形劇サークルにも出演協 力を依頼した。	375人	2025年2月22日、23日 全4公演	青少年センター スタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実し た交流会となった。	再掲	
かながわの 太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参 加し、創作太鼓の演奏を披露し た。	—	429人	2024年11月10日	県立青少年セン ター	—	再掲	
(5)子どもの文化芸術活動の充実 ア文化芸術の鑑賞機会の提供 029学校等と連携したアウトリーチの展開								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
音楽堂アウトリーチ事業	「先生のためのアウトリーチ」アーティストが地域単位の教員の勉強会「教科研究会」等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式や、子どもたちを相手にしたモデル授業を視察し、その後気付きを総括するディスカッションを行う形式でのアウトリーチを行った。 ①鎌倉市学校教育研究会 ②足柄上郡中学校教育研究会・南足柄市教育研究会 ③小田原市・足柄下地区小学校教育研究会 ④映像収録	希望する地域に事前訪問し、扱う題材やレベルなどについて講師とともに丁寧にヒアリングして一つ一つのプログラムを創り上げた。	①25人 ②16人 ③38人 ④19人※映像収録	①2024年7月3日 ②2024年8月19日 ③2024年8月26日 ④2025年1月16日※映像収録	①鎌倉市立小坂小学校 ②南足柄市立南足柄中学校 ③小田原市立三の丸小学校 ④音楽堂※映像収録	記録動画を撮影してダイジェスト版を制作したほか、※ではモニター参加者を集め映像プログラムとしてより本格的な収録を行った。今後の参加を検討する教員が閲覧できるよう社会連携ポータルサイトに掲載予定。		重点施策2
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2024年4月～6月（24回実施）	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—		重点施策2
030県立文化施設による子どもたちを対象とした公演事業の実施								
KAATキッズ・プログラム2024『ベック』from スコットランド	スコットランドの劇作家、出演者の招聘による子ども向けのプログラムを上演した。	—	432人	2024年7月6日、7日（3回）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		重点施策2
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待って」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を京都、福岡、沖縄の三県で行った。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	①550人 ②205人 ③486人	2024年 ①6月7日、8日 ②6月15日 ③6月22日、23日	①ロームシアター京都 サウスホール ②久留米シティプラザ 久留米座 ③那覇文化芸術劇場 なはと 小劇場	—		重点施策2
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」	小学生以上を対象とした、日本のクリエイター、キャストによる作品を上演した。	全公演、終演後にバックステージツアー「らんぼうものめのちいさな美術館」を開催	2007人	2024年7月20日～28日（11回）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	福島県、長野県での巡回公演を行った。		重点施策2
KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol.2「花と龍」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を富山、兵庫、福岡の三県で行った。	—	①543人 ②1207人 ③940人	2025年 ①3月1日、2日 ②3月8日、9日 ③3月15日、16日	①オーバードホール 中ホール ②兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール ③j-COM北九州芸術劇場 中劇場	—		重点施策2
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいのはともだち！」	夏休みの子ども向け音楽体験企画。 多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでのパフォーマンスのほか、ホワイエでのワークショップや様々な国の遊び等の文化紹介、様々な言語による絵本コーナー設置、読み聞かせなど多様な体験ができるワンデイフェスティバル。	神奈川、横浜の多文化環境に留意し、横浜国際交流協会等の協力で英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の言語サポートを配置して、当日は多言語場内アナウンスを行うだけでなく、チラシや公立小学校への保護者向けレターも多言語表記にするなど、昨年度に引き続き踏み込んだサービスを行った。	588人（延べ）	2024年8月3日	音楽堂	日本を代表するクラシック演奏家が、人気絵本「スイミー」などをテーマにした朗読コンサートを行ったり、「紅葉ヶ丘まいらん」参加館とも連携し、外国の絵本コーナーは県立図書館、横浜市中心図書館の協力によるプログラム構成を実現するなど工夫した。		重点施策2
オープンシアター2024 ①みんなの空き地 ②オルガンの謎を解き明かそう！ ③リラックスパフォーマンス『くるみ割り人形』（ダイジェスト版）	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催した。	①ギャラリー②小ホール③大ホールと施設の特性を生かした独自の展開を行った。	①1323人 ②375人 ③1609人	2024年 ①5月23日～6月1日 ②③6月1日	県民ホール本館	大ホール開演前に「神奈川フィルミニミニコンサート」と題して、大ホールロビーでコンサートを行った。 また大ホールチケット購入者対象のバックステージツアーを行った。小ホールでは、オルガン見学を行った。 また大ホール公演では、ダンス劇公演における視覚障がい者向け音声ガイドに取り組んだ。	再掲	重点施策2
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,599人	2025年1月～2月	伊勢原市立高部屋小学校、寒川町立南小学校、湯河原町立湯河原小学校、山北町立川村小学校	—		重点施策2
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者：156人 視聴者数 747：14 7-147：566	2025年2月8日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：189人 視聴者数 747：35 7-147：963	2025年3月30日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。 また、前年度に引き続き親子券を導入した。	1,395人	2024年6月23日、24日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると94.7%にのぼった。	再掲	重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	375人	2025年2月22日、23日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。	再掲	重点施策2
第309回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第309回青少年芸術劇場カンパニーデランネラ「松本 清張 点と線」を実施した。	公募オーディションを実施することで参加型の公演作品とし、集客効果も狙いつつ、東京駅での群集シーンを大人数で視覚化、重層的なシーンを本公演の見どころとした。	1,145人	2024年7月27日、28日 全3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると96.7%にのぼった。 ・DANCE MAGAZINE(ダンスマガジン)2024年11月号のReviewに掲載	再掲	重点施策2
第310回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第310回青少年芸術劇場『せかい A moment with the wondering age.』を実施した。	・2020TOKYOオリンピック開会式の振付ディレクターを務めるなど、国内外で活躍する平原慎太郎の作・演出による新作を、青少年センターが有する県内では非常に珍しい舞台装置である「廻り舞台」を演出の軸として活用して上演した。 ・高校生などの若手ダンサーを公募して多数起用した。	532人	令和6年11月30日・12月1日 計3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると93.8%にのぼった。	再掲	重点施策2
神奈川フィルハーモニー管弦楽団公開リハーサル	アートホールで行う神奈川フィルのリハーサルを無料公開した。	希望者にはヘッドホンを貸出し、指揮者の声が聞こえ、オーケストラが「音楽を創る」様子を楽しむことができる工夫をした。	4月 95人 5月 109人 6月 28人 7月 86人 9月 40人 10月 20人 11月 35人 12月 39人 1月 41人 2月 114人 3月 35人	毎月（不定期）	かながわアートホール	—		重点施策2
小中高生のための公開リハーサル（協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団）	神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期公演当日のリハーサルを小学生以上が無料で見学できる見学会を実施した。	親子連れや、高校生の単独参加、学童保育、学校のクラブ等のそれぞれの単位で参加できる形にし、見学終了後は神奈川フィルの事務局職員を交えた子どもたちからの質疑応答コーナーを設けた。また子どもたちからの質問をアンケートでも受け付けた後、後日回答をホームページで閲覧できるようにした。	①25人 ②60人 ③71人	①2024年5月18日 ②2024年7月6日 ③2025年1月11日	音楽堂	—		重点施策2
初めての音楽会事業「音楽たまたま箱」	小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらう。	通常のホールコンサートと同様の演出を行った。	入場者：290人	2024年6月25日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
031県立文化施設による子どもたちを対象とした展覧会等の開催								
朗読コンサート『『没後10年 古田足日のぼうけん』に寄せて』	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、常設展に即した内容の朗読コンサートを開催した。	—	111人	2024年9月7日	神奈川近代文学館	朗読コンサート後、多くの参加者が展覧会場にも入場してくれた。		重点施策2
県立金沢文庫における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	中高生を対象に、称名寺や金沢文庫の文化財にちなんだ学習事業を実施した。	期間中の展覧会にちなみ、館外の文化財の見学など、子どもたちの興味を誘った。	—	2024年8月14日	県立金沢文庫	—		重点施策2
県立歴史博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業等の実施	近隣館と共同企画した夏休み子ども向けイベント「ミュージアム・ミッション2024」を開催した。子ども向けの体験教室や展示解説を複数回実施した。また、展示資料に関する子ども向けワークシートを配布。参加者には記念品を配布した。	子ども向けの体験教室を従来より増やした。	【参加者】 子ども向け体験教室・展示解説：137人 子ども向けワークシート：999人 【来館者】 ミュージアム・ミッション：570人	「ミュージアム・ミッション2024」 2024年7月20日(土)～9月1日（日）	県立歴史博物館等	—		重点施策2
県立近代美術館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	18歳以下の来館者への「夏のたね（おたのしみと学びのセット）」の無償配布とそれを用いたワークショップの実施	オリジナルの配布教材を開発した。	教材配布数：866個	教材配布時期：2024年7月20日～8月31日 ワークショップ参加者：計85人	教材配布場所：葉山館、鎌倉別館	—		重点施策2
県立生命の星・地球博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	例年は子どもを対象とした展覧会は開催していないが、令和6年度は、子どもから障がい者、一般までを対象とした企画展「すなーふしぎをみつけよう」を実施した。	企画展「すなーふしぎをみつけよう」の開催にあたり、盲学校や特別支援学校、保育園での出前授業を行うことで展示手法に工夫し、よりインクルーシブな展示を目指した。	企画展入場者数 25,399人	令和7年2月22日～5月11日	当館特別展示室	通常の企画展よりも取材件数が多い、NHKの夕方の番組「首都圏ネットワーク」で生中継で展示が紹介されたのは当館初。		重点施策2
イ文化芸術の参加・創造機会の充実								
032子どもたちを対象とした公募展やコンクール等の開催								
神奈川県美術展中高生特別企画展	青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援及び県美術の活性化を図るため、県美術展と併催し、公募美術展を開催した。	高文連の美術分野の分け方と統一し、平面立体と工芸の2ジャンルを平面・立体・工芸の1ジャンルに一本化した。	応募点数：571点 応募人数：398人 入選者数：84人 入賞者数：18人 来場者数 4,204人	応募作品搬入：7月6日（土）、7日（日） 展覧会：9月4日（水）～9月29日（日）（うち2日休）	神奈川県民ホールギャラリー	—		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
第40回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2024年8月11日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、10月6日に上位入賞者によるトップコンサートを実施した。	—	参加者数：622人 鑑賞者数：1,866人	①クリスタルコンサート：2024年8月11日 ②トップコンサート：2024年10月6日 コンサート全体は2024年3月17日～12月15日	①クリスタルコンサート：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②トップコンサート：神奈川県立音楽堂	—	再掲	重点施策2
033文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進								
(共催) 松山バレエ団 2024 Xmas公演 こども「くるみ割り人形」劇場	舞台芸術を身近に感じてもらう取組として、松山バレエ団の共催により、子どもたち向けの名作バレエ上演を行った。	—	1540人	2024年12月21日	県民ホール大ホール	—	再掲	重点施策2
034県立文化施設等での子どもたちを対象とした文化芸術の参加事業の実施								
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演をより上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：17人 成果発表公演観覧者数：198人	2024年6月～9月 ※レッスン 成果発表公演：2024年8月31日、9月1日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策2
第309回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第309回青少年芸術劇場カンパニーデラシネラ「松本 清張 点と線」を実施した。	公募オーディションを実施することで参加型の公演作品とし、集客効果も狙いつつ、東京駅での群集シーンを大人数で視覚化、重層的なシーンを本公演の見どころとした。	1,145人	2024年7月27日、28日 全3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると96.7%にのぼった。 ・DANCE MAGAZINE(ダンスマガジン)2024年11月号のReviewに掲載	再掲	重点施策2
第310回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第310回青少年芸術劇場『せかい A moment with the wondering age.』を実施した。	・2020TOKYOオリンピック開閉会式の振付ディレクターを務めるなど、国内外で活躍する平原慎太郎の作・演出による新作を、青少年センターが有する県内では非常に珍しい舞台装置である「廻り舞台」を演出の軸として活用して上演した。 ・高校生などの若手ダンサーを公募して多数起用した。	532人	令和6年11月30日・12月1日 計3公演	青少年センター紅葉坂ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると93.8%にのぼった。	再掲	重点施策2
藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供	【体験事業】 多くの方が気軽に陶芸やガラス工芸などの芸術体験を親しむための常設事業、募集型の体験事業や季節限定体験事業を実施した。 【活動支援事業】 地域との連携により「藤野ぐるっと陶器市」の会場として、9名程の作家を招聘し実施した。また、絵画や写真等の展示・芸術活動発表の場を提供した。なお、藤野村歌舞伎公演は、新型コロナウイルス感染対策を講じて人数制限無く実施し、藤野席書き大会も同様に実施した。地元講師を迎えた工芸講座は、作家の準備が令和6年度中も整わなく中止したが、電動ロクロの講座を実施した。	【体験事業】 体験事業では、季節に合った期間限定メニューの実施のほか、前年度人気のあったメニューに新たな体験メニューを追加して実施するなど、何回でも新たな体験を楽しめる工夫を行った。 【活動支援事業】 活動支援事業では、地域人材や資源を活用し、藤野村歌舞伎公演は感染対策を講じて、人数制限無く実施した。また、藤野席書き大会も換気を十分にするなど、感染対策を講じて実施した。	【体験事業】 体験事業合計 25,247人 木工体験 8,785人 陶芸体験 5,215人 ガラス工芸等11,247人 【体験事業】 通年 【活動支援事業】 絵画等展示 2,114人	【体験事業】 通年 【活動支援事業】 絵画等展示 通年	藤野芸術の家	体験活動事業において、大人向けや親子を対象とした電動ロクロの講座や夏休みに自由研究に適した体験「本格ベースボール作り」を実施し好評だった。		重点施策2
神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ 2024 (第8期生)	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習やそれぞれの合奏練習を行った。	受講者数：40人 入場者：255人 視聴者数 747：161 7-11歳：6,032	2024年8月25日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
かなぶんキッズクラブ (紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等)	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会等を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	553人	①紙芝居：2024年8月11日 ②子ども映画会：2024年8月14日、15日 ③おはなし会：8月20日、28日 ④ワークショップ：2024年8月24日 ⑤子ども映画会：2025年3月26日 ⑥紙芝居：2025年3月28日	神奈川近代文学館	例年の内容に加え、8月にエントランス「かなぶんひろば」で古田足日作品の紙芝居、読み聞かせを実施した。また、古田足日展に関連したワークショップを企画した。	再掲	重点施策2
横浜みなとみらいホールと神奈川県民ホール連携事業「パイプオルガンを弾いてみよう」	オルガンを持つ2つのホールが連携して、親しみを持ってもらうことを目的に、子どもたちにオルガンを体験してもらう事業を実施した。	各館にいる専属オルガニスト、オルガンアドバイザーの監修、協力、指導のもと行った。	53人 (参加者含む)	2024年11月29日	県民ホール小ホール、横浜みなとみらいホール	—		
035子どもたちを対象とした伝統的な芸能の参加事業の実施								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①17人 ②29人 ③25人 ④44人	①2024年7月12日(金) ②2024年7月27日(土)・28日(日) ③2024年8月8日(木)・9日(金) ④2024年8月12日(月祝)・13日(火)	①三崎小学校 ②秦野市立西公民館 ③横須賀市文化会館 ④県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、65人(回答者数)全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲	重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①238人 ②242人 ③200人 ④126人 ⑤171人	①2024年9月26日 ②10月3日 ③12月2日 ④2025年2月20日 ⑤3月18日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③二宮高校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	重点施策2	
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①15人 ②6人 ③17人	①2025年1月18日(土) ②2025年2月8日(土) ③2025年3月2日(日)	①サン・エールさがみはら多目的室 ②あつぎ市民交流プラザamyuスタジオ ③青少年センター練習室	—	再掲	重点施策2	
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 こども達が主体的に参加できる機会を増やし、より一層こども達の成長や達成感を高めるため、複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施したほか、子どもスタッフの取組みも開始した。	648人	メインプログラム 2024年10月28日 事前ワークショップ(講談・箏曲・手妻) 9月23日、10月13日、10月14日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると97.0%にのぼった。その中でも伝統芸能ワークショップ参加者に絞ったアンケートでは、満足度が100%に達した。	再掲	重点施策2	
036地域クラブ活動の促進									
地域クラブ活動の促進に係る取組	部活動の地域移行を推進すべく、次の取組を実施 ①神奈川県文化芸術振興審議会への情報提供 ②市町村へのヒアリング ③文化庁への財政的措置に係る要望 ④地域クラブ活動指導者研修講座の開催 ⑤かながわ地域クラブ活動指導者データベースへの登録 ⑥県内外視察、シンポジウムへの参加	様々な方法で県の取組を広く周知し、更なる地域移行の推進を図った。	—	①令和6年8月27日 ②令和6年5月10日 令和6年5月13日 ③令和7年3月に広域連携課に提出 ④令和6年7月7日 令和6年11月23日 ⑤随時 ⑥令和7年1月25日 令和7年2月8日 令和7年2月9日	①議会第3会議室 ②電話 電話 ③電子メール ④総合教育センター ⑤電子メール ⑥千葉県柏市開成町 日本青年館ホテル	—		重点施策2	
(6)学校教育における文化芸術活動の充実									
ア文化芸術に関する体験学習等の充実									
037学校と文化芸術団体との連携による文化芸術体験事業の実施									
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2024年4月～6月(24回実施)	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策2	
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,599人	2025年1月～2月	伊勢原市立高部屋小学校、寒川町立南小学校、湯河原町立湯河原小学校、山北町立川村小学校	—	再掲	重点施策2	
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①238人 ②242人 ③200人 ④126人 ⑤171人	①2024年9月26日 ②10月3日 ③12月2日 ④2025年2月20日 ⑤3月18日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③二宮高校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	重点施策2	
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	336人	2024年12月8日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲	重点施策2	
038中学校・高等学校の文化芸術に係る学校部活動の支援の実施									
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	419人	2024年8月7日、8日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：90.3%」「良かった：5.7%」と合わせて96.0%であった。	再掲	重点施策2	
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、時代のニーズに合ったプログラム(スケージング)を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：431人	中学校：2024年8月3日、4日 高等学校：2024年7月29日、30日	青少年センター	—	再掲	重点施策2	
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、高校生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	ステージング編3人 舞台衣装編8人	ステージング編 2025年1月25日 2月2日 舞台衣装編 2025年2月11日 2月22日	青少年センター	—	再掲	重点施策2	
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	614人	2024年8月2日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	重点施策2	
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、講師による講評を行わないこととした。	2,140人	2024年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	高体連ダンス専門部役員、各校顧問の意見を参考に運営方法の見直しを行った結果、観客数が増加した。	再掲	重点施策2	
中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,645人 高校生：1,575人	中学校：2024年12月7日、8日 高等学校：2024年11月18日、19日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	重点施策2	
演劇部お助け講座	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中学校演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	中学校：244人	2024年12月21日、2025年1月18日、2月22日	横須賀市はまゆう会館、桐光学園、平塚市立江陽中学校	講師による講習や、他校との練習ができたことで、日頃の学内部活動では得られないものがあつたという意見が多かった。		重点施策2	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
文化部活動指導者研修講座の実施	文化部の部活動インストラクターを対象とした研修講座を実施した。	講座を受講し、条件を満たしており、1年以上の指導実績があり、校長が認めれば、部活動の校外の活動について単独引率を可能としている。	文化部部活動インストラクター8人	2024年10月5日	県立総合教育センター	—		重点施策2
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	56,270人	2024年10月26日～2025年1月26日	県内各所	—		重点施策2
039県立高校における文化芸術の発展に寄与する人材の育成								
KAAT教育普及事業 教育機関連携 神奈川総合高等学校 夏季特別講座「応用舞台技術」2024	2021年度に新設された神奈川総合高校・舞台芸術科を対象とした講座を実施。教育課程カリキュラムの一環としたプログラムを提供した。	施設見学や芸術監督から直に話を聞くことで文化施設での業務全体を体験できるようにした。	①32人 ②28人 ③39人	①7月31日～8月2日 ②8月9日 ③10月21日 (計5日間)	KAAT神奈川芸術劇場（ホール、大スタジオ、アトリエ）	—		重点施策2
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設と支援	県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づき、県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置。学科授業や発表会の視察および助言を行った。	アドバイザーボードを設置し、神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について継続的に支援を受ける仕組みを構築した。	協議会構成アドバイザーボード構成員3人、神奈川総合高等学校7人、高校教育課2人、計12人参加	2024年12月14日	神奈川総合高等学校	—		重点施策2
040芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施								
文化芸術による子供育成推進事業	子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を周知し、ワークショップ等を体験する事により、子どもたちの豊かな想像力やコミュニケーション能力等を養い、文化芸術に対する知識および教養の向上を図った。	一方的に公演を行うだけでなく、児童・生徒と共演したり、実技指導をするなど、児童・生徒が芸術体験できるように工夫している。	巡回公演事業：25校実施 派遣事業：5校実施 子供・夢・アート・アカデミー：3校実施	2023年6月～2024年2月	各学校の教室・体育館など	—		重点施策2
041学校と文化施設との連携の推進								
音楽堂アウトリーチ事業	「先生のためのアウトリーチ」アーティストが地域単位の教員の勉強会「教科研究会」等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式や、子どもたちを相手にしたモデル授業を視察し、その後気付きを総括するディスカッションを行う形式でのアウトリーチを行った。 ①鎌倉市学校教育研究会 ②足柄上郡中学校教育研究会・南足柄市教育研究会 ③小田原市・足柄下地区小学校教育研究会 ④映像収録	希望する地域に事前訪問し、扱う題材やレベルなどについて講師とともに丁寧にヒアリングして一つ一つのプログラムを創り上げた。	①25人 ②16人 ③38人 ④19人※映像収録	①2024年7月3日 ②2024年8月19日 ③2024年8月26日 ④2025年1月16日※映像収録	①鎌倉市立小坂小学校 ②南足柄市立南足柄中学校 ③小田原市立三の丸小学校 ④音楽堂※映像収録	記録動画を撮影してダイジェスト版を制作したほか、※ではモニター参加者を集め映像プログラムとしてより本格的な収録を行った。今後の参加を検討する教員が閲覧できるよう社会連携ポータルサイトに掲載予定。	再掲	重点施策2
(共催) Ferris ConcertVol.75 フェリス・音楽の花束	県内にある音楽学部のある大学と連携して学生たちと教員が公演を行う形で人材育成に協力した。	—	156人	2023年10月17日	県民ホール小ホール	—		重点施策2
国立劇場「親子で楽しむ歌舞伎教室」の周知	(本県の取組) ・政令市を除く市町村教育委員会を通じて、公立小・中学校等にチラシを周知した。(イベントには直接関与していない。) (イベント内容) ・歌舞伎俳優が、歌舞伎の魅力や芝居の見どころなどを紹介 ・歌舞伎の鑑賞	—	把握していない	2024年7月21日～27日	調布市グリーンホール	—		重点施策2
博物館施設における博物館学芸員実習、インターンシップの実施	(金沢文庫) 博物館学芸員資格取得予定者を対象に、博物館実習を実施した。 (歴史博物館) 学芸員資格の取得を目指す大学生等を支援する博物館実務実習、高校生インターンシップ、中学生職場体験を実施した。 (生命の星・地球博物館) 学芸員資格を取得する大学生及び大学院生を対象に、実習生を受け入れている。また、高校生対象のインターンシップ、中学生対象の職場体験も実施している。	(金沢文庫) プログラムに可能な限り実習を多く組み込むことで、博物館実習ならではの学びの機会を提供した。 (歴史博物館) 博物館実務実習において、博物館の資料の取扱いや整理の方法などについて実践的に学ぶ機会をつくった。 高校生のインターンシップ・中学生の職業体験においては「キャリア教育」の一環として、将来における幅広い職業選択の視野を広げる取組みをしている。 (生命の星・地球博物館) 博物館実習では専門分野ごとに学生を割り振り、より専門的な実習が体験できるようにしている。インターンシップや職場体験では、専門性よりも博物館の仕事幅広く体験できるようにしている。	(金沢文庫) 9名 (歴史博物館) 博物館実務実習：12大学12人 高校生インターンシップ：4人 中学生職場体験：4校15人 (生命の星・地球博物館) 博物館実習32名 博物館見学実習195名 インターンシップ10名 中学生職場体験：4校15人	(金沢文庫) 2024年8月9～15日 (歴史博物館) 博物館学芸員実習：9月11～13日および9月18日～20日の計6日間 高校生インターンシップ：8月1～3日 (生命の星・地球博物館) 博物館実習は8月2日に全体実習を行い、8月から9月にかけて分野ごとに実習開催。インターンシップは8月7日、8日、9日。職場体験は11月6日と8日に実施。	県立金沢文庫 県立歴史博物館 生命の星・地球博物館	—		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
学校への出張授業、ワークショップの実施	(近代美術館) フリースクール生徒を対象としたワークショップの実施ならびに県立高校生への美術館普及事業紹介とワークショップの実施 (歴史博物館) 学芸員が講師となり県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に出張して講義をする「出張講座」を実施した。 (生命の星・地球博物館) ニーズに応じて出前授業を開催する。対象は小学校から大学までで、理科等の教科学習や総合的な学習に対応した内容となっている。	(近代美術館) オリジナルの教材などを用いて美術館への興味を高めた。 (歴史博物館) 事前に学校側と打合せを行い、学校側の実施意図や要望を聴き取った上で実施した。 (生命の星・地球博物館) 企画展「すなふしぎをみつけよう」の開催にあたり、盲学校や特別支援学校、保育園での出前授業を行うことで展示手法に工夫し、よりインクルーシブな展示を目指した。	(近代美術館) 185人 (歴史博物館) 学校への出張講座：23件、1,701人 (生命の星・地球博物館) 学校への出前授業：7件	(近代美術館) 2024年10月1日、8日、10日、11日 (歴史博物館) 通年(生命の星・地球博物館) 2024年5月24日、6月10日、15日、10月21日、12月3日、2025年1月27日、2月26日	(近代美術館) 鎌倉別館、県立湘南高校 (歴史博物館) 湘南白百合学園中学・高等学校他 (生命の星・地球博物館) 平塚盲学校他	—		重点施策2
042学校部活動の地域移行の検討								
学校部活動の地域移行の検討に係る取組	部活動の地域移行を推進すべく、次の取組を実施 ①神奈川県文化芸術振興審議会への情報提供 ②市町村へのヒアリング ③文化庁への財政的措置に係る要望 ④地域クラブ活動指導者研修講座の開催 ⑤かながわ地域クラブ活動指導者データベースへの登録 ⑥県内外視察、シンポジウムへの参加	様々な方法で県の取組を広く周知し、更なる地域移行の推進を図った。	—	①令和6年8月27日 ②令和6年5月10日 令和6年5月13日 ③令和7年3月に広域連携課に提出 ④令和6年7月7日 令和6年11月23日 ⑤随時 ⑥令和7年1月25日 令和7年2月8日 令和7年2月9日	①議会第3会議室 ②電話 電話 ③電子メール ④総合教育センター ⑤電子メール ⑥千葉県柏市 開成町 日本青年館ホテル	—		重点施策2
(7)高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実								
ア高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実								
043高齢者、障がい者等の創作活動の支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：61件 助成団体数：30件 助成金交付額：8,046千円	交付申請書の提出期限：2024年2月15日～2024年3月15日（電子申請） 審査会：2024年4月9日 交付決定通知書の送付：2024年4月23日～5月13日	—	—	再掲	重点施策3
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集：2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集：2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲	重点施策3
かながわシニア美術展	県内在住で1966年4月1日以前生まれ（2025年3月31日時点で59歳以上の者）のアマチュアを対象に、日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門で作品を公募し、入選作品を展示するとともに、優秀作品の表彰を行った。	過去出品者や神奈川県老人クラブ連合会をはじめ、県内の高齢者団体、県施設へ募集要項や開催通知を配布し、周知に努めた。酷暑の影響を受け、開催時期を夏季から秋季に変更したことで、より多くの方に来場いただけるようにした。	応募者数：203人 出品者数：194人 入選者数：194人 総来場者数：687人	2024年11月21日～11月24日（作品展示期間）	神奈川県民ホール ギャラリ	—		重点施策3
ライトセンター普及啓発事業	神奈川県ライトセンターにおいて、視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供した。	機関紙「ライトセンターだより」やホームページによる情報提供などで広く周知を行った。	608人	月1回～月3回(クラブ活動により異なる)	神奈川県ライトセンター	—		重点施策3
神奈川県障害者社会参加推進センター事業（文化・芸術祭の開催）（県委託事業）	障がい当事者の文化的活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意し、社会参加の推進を図った。	展示のレイアウト変更に臨機応変に対応したほか、舞台発表団体の立ち位置等の確認作業を入念に行った。	延べ342人	12月21日、22日	小田原市三の丸ホール 小ホール及び展示室	—		重点施策3
障がい者芸術文化活動普及支援事業	「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」を設置し、相談支援事業やワークショップの実施・コーディネート等の養成等の人材育成事業等を行った。	ウェブサイトを作成し、センター主催イベント等について発信した。また、神奈川県障害者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて8回配信した。	相談件数：124件 研修等参加者数：延べ87人（全3回） ワークショップ実施事業参加者数：延べ284人（9箇所22回） 事業成果発表：22人（全1回）	相談：平日11時～17時 研修：①9月20日、②10月11日、③12月2日～12月16日 ワークショップ実施事業：①12月17日、12月18日、2月25日②1月16日、2月20日、3月11日③1月20日、2月17日、3月17日④12月26日⑤9月6日、9月9日、9月11日⑥7月6日、8月20日、9月21日⑦9月26日、10月3日、10月10日⑧9月26日、10月3日、10月10日 事業成果発表：3月12日	相談：神奈川県障害者芸術文化活動支援センター 研修：①横浜市民文化センター ミズキホール②海老名市文化会館 サロン③オンラインでの動画公開 ワークショップ実施事業：障害福祉サービス事業所等 事業成果発表：神奈川県民ホール 大会議室	—		重点施策3
ともいきアートサポート事業（リソース支援事業）	障害福祉サービス事業所の作品を知事執務室でリース展示した。	2～3か月ごとに展示替えを行った。	—	2024年4月～2025年3月	知事執務室	—		重点施策3
044高齢者、障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
音楽堂アウトリーチ事業	「先生のためのアウトリーチ」アーティストが地域単位の教員の勉強会「教科研究会」等に講師として訪問し、教員が生徒役となって授業のヒントとなるワークショップを行う形式や、子どもたちを相手にしたモデル授業を視察し、その後気付きを総括するディスカッションを行う形式でのアウトリーチを行った。 ①鎌倉市学校教育研究会 ②足柄上郡中学校教育研究会・南足柄市教育研究会 ③小田原市・足柄下地区小学校教育研究会 ④映像収録	希望する地域に事前訪問し、扱う題材やレベルなどについて講師とともに丁寧にヒアリングして一つ一つのプログラムを創り上げた。	①25人 ②16人 ③38人 ④19人※映像収録	①2024年7月3日 ②2024年8月19日 ③2024年8月26日 ④2025年1月16日※映像収録	①鎌倉市立小坂小学校 ②南足柄市立南足柄中学校 ③小田原市立三の丸小学校 ④音楽堂※映像収録	記録動画を撮影してダイジェスト版を制作したほか、※ではモニター参加者を集め映像プログラムとしてより本格的な収録を行った。今後の参加を検討する教員が閲覧できるよう社会連携ポータルサイトに掲載予定。	再掲	重点施策3
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	9,412人 再生回数：23,769回 公演等回数：42回	2024年4月～2025年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原市生涯学習センターけやき、神奈川県民ホール 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が90.2%となった。	再掲	重点施策3
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,667人	2024年4月～2025年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施。	再掲	重点施策3
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2024年4月～6月（24回実施）	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策3
楽絵ん祭2024	障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行った。	地元保土ケ谷で活動が続けている団体と協働しながら運営を行った。	入場者：123人	2024年7月27日	かながわアートホール	—		重点施策3
ともいきアートサポーター事業（かながわともいきアート展）	県内に在住・在勤・在学している障がい者の方のアート作品の公募展を実施し、県内の多くの方がともいきアートに触れる機会を創出し、併せて障がいのある方も楽しめるイベント等を同時開催した。	作品を展示するだけではなく、誰もが参加できるワークショップを実施したり、声を出しながら鑑賞しても構わない会場を作ること、障がいのある方や小さな子どもでも気軽に来場できるようにした。	展示作品数 200作品 来場者数 約6,000人	2024年11月15日～11月24日	横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース	—		重点施策3
県立近代美術館における「むすんでひらいてプロジェクト」事業（鑑賞および体験）	葉山町や逗子市など近隣の小・中学校の特別支援学級や留学生を対象にオリジナル教材を使用したワークショップ等を実施	学校見学などを事前に行い、クラスの要望に合わせて教材の提案を行った。	223人	2024年6月18日ほか	葉山町立一色小学校、葉山館、県立相模原支援学校橋本分教室、横浜デザイン学院、逗子市立小坪小学校	—		重点施策3
045文化芸術における共生社会の実現に向けた環境づくり								
オープンシアター2024 ③リラックスパフォーマンス『くのみ割り人形』（ダイジェスト版）	県民ホールを身近に感じてもらおう取組、オープンシアターの中で視覚障害のある人向けの音声ガイド等もそなえたリラックスパフォーマンスを実施した。	—	③1609人	2024年 ③6月1日	県民ホール大ホール	大ホール公演では、ダンス劇公演における視覚障がい者向け音声ガイドに取り組んだ。	再掲	重点施策3
劇場運営マネージメント講座 障害者差別解消法について文化へのアクセスをデザインする ～ミュージアムと合理的配慮～	公共ホールでの文化体験のインクルーシブなデザインについての研修会を実施した。	実際に公共文化施設でのインクルーシブデザインを手掛けている外部講師を招き、その体験と視点を学ぶ内容とした。	85人	2024年7月4日	県民ホール大会議室	—		重点施策3
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいほともちだち！」	夏休みの子ども向け音楽体験企画。 多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでのパフォーマンスのほか、ホワイエでの工作ワークショップや様々な国の遊び等の文化紹介、様々な言語による絵本コーナー設置、読み聞かせなど多様な体験ができるワンデイフェスティバル。	神奈川、横浜の多文化環境に留意し、横浜市国際交流協会等の協力で英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の言語サポートを配置して、当日は多言語場内アナウンスを行うだけでなく、チラシや公立小学校への保護者向けレターも多言語表記にするなど、昨年度に引き続き踏み込んだサービスを行った。	588人（延べ）	2024年8月3日	音楽堂	日本を代表するクラシック演奏家が、人気絵本「スイミー」などをテーマにした朗読コンサートを行ったり、「紅葉ヶ丘まいらん」参加館とも連携し、外国の絵本コーナーは県立図書館、横浜市中心図書館の協力によるプログラム構成を実現するなど工夫した。	再掲	重点施策3

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
鑑賞サポート事業	音声ガイド、ヒアリンググループや字幕の設置、点字・拡大・反転文字プログラムやイヤマップ配布など、さまざまな鑑賞サポートの実施や、鑑賞形態のあり方を工夫し、芸術文化がより多くの人の心に届くよう、その間にある障壁を解消していく取り組みを行った。	これまでの鑑賞サポートに関する研究や知見の集積を生かし、3館での公演において効果的な鑑賞サポートを実施した。	255人（申し込みが必要なサポートの申込者数。申し込み不要なサポートは含まれない）	2024年4月～2025年3月（37事業）	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等	—		重点施策3
託児サービスの実施	県立文化施設にて開催する公演で託児サービスを実施した。	これまで指定管理者が託児サービスを設定できなかった公演のうち、利用が見込まれる26公演に託児サービスを設定した。	24人	2024年7月6日から2025年3月30日まで	①県民ホール神奈川芸術劇場 ②県立音楽堂 ③かながわアートホール	総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、回答者全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。		重点施策3
(1)文化芸術に関する交流の推進								
ア地域間交流の推進								
046他県との文化交流の推進								
国民文化祭	国民文化祭の開催県である沖縄県と連携し、参加団体へ国民文化祭の開催及び参加を周知した。	チラシやパンフレットの配架や県内市町村への周知を行い、参加者・来場者への広報に協力した。	—	各イベントによる	岐阜県内	—		
開館70周年記念 （本公演） 音楽堂室内オペラ・シリーズ第7弾 濱田芳通&アントネット ロ モンテヴェルディ オペラ『オルフェオ』 新制作	音楽堂の音響や空間特性に最適な室内楽サイズのオペラ作品を、独自のプログラミングにより毎年開催していくシリーズ。今年度は日本を代表する古楽団体による、世界最古の本格的オペラの復刻新制作上演を行った。	兵庫県立芸術文化センターとの共同制作という形で全国的発信を行い、県内各地と連携した関連企画の実施など一連の取り組みに対して外部助成金を獲得した。	（本公演 2日間延べ） 1644人 （関連企画） ①814名/830名（館の催し全体） ②67人 ③112人 ④37人	（本公演） 2025年2月22日、23日 （関連企画） ①2024年11月16日 ②2024年12月21日 ③2025年1月9日 ④2025年1月15日	（本公演） 音楽堂 （関連企画） ①ひらしん平塚芸術文化ホール ②昭和音楽大学 ③社のホールはしもと ④音楽堂ホワイエ	県内各地の施設と連携し、関連企画として、親子連れ、古楽初心者、音楽大学の学生といった多様な層に対する様々な関連企画を行った。	再掲	重点施策2
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を京都、福岡、沖縄の三県で行った。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	①550人 ②205人 ③486人	2024年 ①6月7日、8日 ②6月15日 ③6月22日、23日	①ロームシアター京都 サウスホール ②久留米シティプラザ 久留米座 ③那覇文化芸術劇場 なはーと 小劇場	—	再掲	重点施策2
KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」	KAATが創作した子どものための作品公演を福島、長野の二県で行った。	—	①370人 ②299人	2024年 ①8月4日 ②8月17日、18日	①いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場 ②まつもと市民芸術館 小ホール	—	再掲	重点施策2
KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol.2「花と龍」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を富山、兵庫、福岡の三県で行った。	—	①543人 ②1207人 ③940人	2025年 ①3月1日、2日 ②3月8日、9日 ③3月15日、16日	①オーバードホール 中ホール ②兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール ③j-COM北九州芸術劇場 中劇場	—	再掲	重点施策2
県立金沢文庫における文化財の貸出、借入れ	金沢文庫での特別展の実施にあたり、他の博物館や社寺などから資料の借入れを行った。	—	—	—	—	他の博物館や社寺などからの借入れ：82点		
県立近代美術館における巡回展の実施	国内外の近現代美術の調査研究に基づく、巡回型の展覧会を実施した。	—	入館者数 「吉田克朗展—ものに、風景に、世界に触れる」：6,726名 「石田尚志 絵と窓の間」展：12,127人	「吉田克朗展—ものに、風景に、世界に触れる」：4月20日～6月30日 「石田尚志 絵と窓の間」展：7月13日～9月28日	近代美術館	—		
県立歴史博物館における収蔵資料の貸出	県外の博物館等の展覧会への収蔵資料の貸出を行った。	貸出先における展示環境等の把握に努め、より良い形での公開ができるよう貸出先と調整を行った。	—	—	—	青森県立美術館・那珂川町馬頭広重美術館・鹿沼市立川上澄生美術館・静岡市東海道広重美術館・静岡県富士山世界遺産センター・岐阜県美術館・MIHO MUSEUM（滋賀県）などの博物館・美術館へ貸出を行った。		
県立生命の星・地球博物館における収蔵資料の貸出	収蔵資料について、学術目的や、教材や広報を目的とした利用の館外貸出を行う。	—	令和6年の館外貸出件数 978,084点	先方からのリクエストに応じて随時貸し出しを行う	—	—		
047学校教育における文化交流の推進								
全国高等学校総合文化祭への参加	全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	全国高等学校総合文化祭・岐阜大会（開会式・専門部門26部門各会場、閉会式県内参加者数：847人552人）	2024年7月31日～8月5日	岐阜県内各所・長良川国際会議場	—		
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	56,270人	2024年10月26日～2025年1月26日	県内各所	—	再掲	
048県内の文化交流の推進								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。また、アニメーションを作成し、6カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：277件	—	県内全域	—		
市町村文化行政連絡会議	文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした会議を開催するもの。	県からの一方的な発信にならないよう、参加した全市町村からそれぞれの文化政策について発言をしていただき、情報共有を行っている。	32人	2025年2月12日	オンライン開催	—		
イ国際文化交流の推進								
049海外の文化芸術の公演・展覧会等の実施								
（共催）英国ロイヤル・オペラ2024年日本公演『リゴレット』全3幕	県民への上質な鑑賞機会の提供のために海外の優れたオペラカンパニーによる公演を共催で実施した。	—	①1364人 ②2096人	2024年 ①6月22日 ②6月25日	県民ホール大ホール	—		重点施策4
NDT（ネザーランド・ダンス・シアター）プレミウム・ジャパン・ツアー2024	海外の文化芸術の県民への鑑賞機会の提供のために海外の優れたダンスカンパニーの公演を実施した。	公演前に、多様なレポーターに分かれたマスタークラス『レポーターリーククラス』をリハーサル室で複数回行い、公演を機に人材育成にも努めた。	①1897人 ②1972人	2024年 ①7月5日（金） ②7月6日（土）	県民ホール大ホール	—	再掲	重点施策4
（共催）バレエの妖精とプリンセス	ヨーロッパ名門バレエ団のソリストたちによるガラ上演を行った。	—	944人	2024年8月6日（2公演）	神奈川県民ホール大ホール	—		重点施策4
（共催）キーク・クラシック・バレエ2024「くるみ割り人形」全幕	県民への上質な鑑賞機会の提供のために海外の優れたバレエカンパニーによる公演を共催で実施した。	—	1655人	2024年11月16日	県民ホール大ホール	—		重点施策4
（共催）ジョージア国立バレエ『くるみ割り人形』	県民への上質な鑑賞機会の提供のために海外の優れたバレエカンパニーによる公演を共催で実施した。	—	2312人	2024年12月14日（2回）	県民ホール大ホール	—		重点施策4
（共催）ウクライナ国立オペラ歌劇場オーケストラ日本公演	県民への上質な鑑賞機会の提供のために海外の優れたオペラ劇場付管弦楽団による公演を共催で実施した。	—	1225人	2025年3月2日	県民ホール大ホール	—		重点施策4
横浜国際舞台芸術ミーティング2024（YPAM2024）	舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等の多彩なプログラムを通じて、情報交換・相互学習・ネットワークの構築の場を提供した。 ①（YPAM連携プログラム）愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2024②（YPAMディレクション）リチャード・シーガル／バレエ・オブ・ディファレンス・日本体育大「集団行動」③（YPAM連携プログラム）第6回HOT POT 東アジア・ダンスプラットフォーム④（YPAMディレクション）T:> Works「ディドーとエネアス」⑤（YPAMディレクション）ナム・ファヨン「2」（映像作品上映）	横浜市や地域のステークホルダーとの共同を進め、多様な表現を実現し社会をみつめる機会を県民に提供した。	①1093人 ②548人 ③238人 ④275人 ⑤200人	2024年 ①12月7日～9日（4公演） ②12月14日（2公演） ③12月11日、14日 ④12月5日～7日（3公演） ⑤12月5日～7日、12月～14日（17回）	KAAT神奈川芸術劇場ほか	—		重点施策4

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAATキッズ・プログラム2024『ベック』from スコットランド	スコットランドの劇作家、出演者の招聘による子ども向けのプログラムを上演した。	—	432人	2024年7月6日、7日（3回）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—	再掲	重点施策 4
音楽堂ヘリテージ・コンサート	開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズを実施した。 ①2人のアムラン デュオリサイタル ②スティーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル ③ベルチャ弦楽四重奏団&エペヌ弦楽四重奏団	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	①629人 ②644人 ③802人	①2024年9月14日 ②2024年12月8日 ③2025年3月29日	音楽堂ホール	主催公演のほか共催公演で音楽堂の音響、歴史に最適な公演を誘致し、年間セット券を販売した。 関連企画として「街なかトークカフェ」を実施した。	再掲	重点施策 4
（共催）音楽堂ヘリテージ・コンサート ベルリン RIAS室内合唱団	開館70周年を迎えた音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズに組み入れるにふさわしい共催公演を誘致し、民間音楽事務所に会場を提供し、公演の開催に協力した。	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	929人 ※特別ワークショップ125人	2024年11月28日 ※合唱ワークショップ11月27日	音楽堂	本公演を主催公演とともに音楽堂ヘリテージコンサートの年間セット券として販売した。 本公演の前日に全日本合唱連盟の協力により合唱ワークショップを行った。	再掲	重点施策 4
カナガワビエンナーレ国際児童画展	次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、昭和56年（1981年）から隔年で開催している（応募資格：満4歳以上15歳以下。テーマは自由。）。	広く世界各地から作品を募集した。	作品募集 10,743点（海外8,382点、県内・外国人学校2,361点）	作品の募集 2024年9月～11月	地球市民かながわプラザ等	—		重点施策 4
050海外との文化交流の推進								
日英国際共同制作 KAAT×Vanishing Point 「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」	日英の国際共同制作によりKAATで制作した新作舞台作品をスコットランドで上演した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	①3402人 ②1287人	2025年 ①2月22日～3月1日（6公演） ②3月6日～8日（3公演）	①スコットランドグラスゴー公演 Tramway ②スコットランドダンディー公演 Dundee Rep	—		重点施策 4
ベトナム文化等交流事業	「ベトナムフェスタ in 神奈川2024」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2024」を開催した。	「ベトナムフェスタ in 神奈川2024」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2024」に会場されるすべての方に、ベトナム及び神奈川や日本の魅力を広汎に伝え、両国の交流を深めるコンテンツを実施した。	ベトナムフェスタ 約21万人 KANAGAWA FESTIVAL 約9万人	ベトナムフェスタ 2024年9月6日～8日 KANAGAWA FESTIVAL 2024年11月13日～17日	「ベトナムフェスタ in 神奈川2024」 日本大通り、神奈川県庁、象の鼻パーク等 「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI」 ハノイ市・戦没者記念像前広場	—		重点施策 4
友好県省道交流会議	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の3地域で、2年ごとに各地持ち回りで開催し、共通課題や文化交流等の促進について議論を行い、課題解決のために連携・協力し、ネットワークの形成を図る。	2年ごとの開催のため、令和6年度は実施せず。	—	—	—	—		重点施策 4
三県省道スポーツ交流事業	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の青少年によるスポーツの親善試合や交流事業を行うことにより、青少年に国際交流の機会を提供し、相互理解を深めるとともに、国際性豊かな青少年の人材育成を図る。	コロナ禍を経て5年ぶりに開催されることに伴い、友好提携を結んでいる各地域と連携し事業を実施した。また、中国・韓国の語学や歴史に関する事前学習会を通して、滞在中の不安要素を軽減したり、青少年の交流が活発に行えるように工夫した。	152人	2024年8月26日～30日	韓国・京畿道	—		重点施策 4
051多言語による情報発信								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。 併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。 また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度 PV（ページビュー）数 554,612	通年	インターネット上	—	再掲	
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	
外国籍県民施策推進事業費	①多言語情報紙「こんにちば神奈川」の作成 ②多言語による県民情報提供	記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面の作成をしている。	6言語（日本語併記） 1回当たり20,300部発行 A4版4ページ。	①8月、11月、3月の年3回の発行 ②年間随時	①県機関、市町村、都道府県、国際関係協会・センター、医療機関等約800箇所 ②ホームページ上	—		
外国語観光情報ウェブサイトの多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info—」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	
英語版等ホームページによる情報発信	川崎図書館と近代美術館のホームページにおいて、英語版等による利用案内、展覧会情報等の情報発信を行っている。	—	—	通年	—	—		
ウ多文化理解の推進								
052多文化理解を推進するためのイベントや講座の実施								
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	9,412人 再生回数：23,769回 公演等回数：42回	2024年4月～2025年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原生涯学習センターけやき、神奈川県民ホール 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が90.2%となった。	再掲	重点施策4
子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいほとまち！」	夏休み子ども向け音楽体験企画。 多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでのパフォーマンスのほか、ホワイエのワークワークショップや様々な国の遊び等の文化紹介、様々な言語による絵本コーナー設置、読み聞かせなど多様な体験ができるワンデイフェスティバル。	神奈川、横浜の多文化環境に留意し、横浜市国際交流協会等の協力で英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の言語サポートを配置して、当日は多言語場内アナウンスを行うだけでなく、チラシや公立小学校への保護者向けレターも多言語表記にするなど、昨年度に引き続き踏み込んだサービスを行った。	588人（延べ）	2024年8月3日	音楽堂	日本を代表するクラシック演奏家が、人気絵本「スイミー」などをテーマにした朗読コンサートを行ったり、「紅葉ヶ丘まいらん」参加館とも連携し、外国の絵本コーナーは県立図書館、横浜市中央図書館の協力によるプログラム構成を実現するなど工夫した。	再掲	重点施策4
あーすフェスタかながわ2024	多様な国籍文化や民俗の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2024」を開催した。	会場を象の鼻パークから、県立地球市民かながわプラザへ移し、また、期間を1日から2日間に変更し、会場のある栄区や地元団体から協力を得ながら、様々な多文化共生に関連する企画を実施した。	約1.6万人	2024年11月30日、12月1日	地球市民かながわプラザ	アンケートの結果、約87.6%の人が「とてもたのしかった」「たのしかった」と回答している。		重点施策4
地球市民かながわプラザ指定管理事業（学習センター事業、情報・相談センター事業、サポート・ネットワーク事業）	多文化共生の地域社会づくりに向け、多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザにおいて、展示学習などの学習センター事業、映像・図書資料の収集提供や外国籍県民相談等の情報・相談センター事業やNPO等活動支援などのサポート・ネットワーク事業等を実施した。	指定管理により、子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく遊べるプログラムを実施する展示学習事業や大人も対象とした企画展及び関連イベントをバランスよく実施し、また校外学習の受入れ等を行った。	428,394人	2024年4月1日～2025年3月31日	地球市民かながわプラザ	—		重点施策4
053国際交流関係団体との連携による留学生との交流を図る取組の推進								
高等学校等多文化理解推進事業	青少年世代が多様な文化や言語を持つ人たちとより密接にかかわり共生してゆくため、多文化共生について学ぶ授業、講演会等を実施した。	講演だけではなく、ワークショップなど、より理解を深められる手法を検討し実施している。	15校（2,647人）	2024年6月～2024年11月	県内高校（15校）	—		重点施策4
青少年国際交流セミナー等開催事業①	多文化共生社会を担う青少年世代に自発的、主体的な学びの場を提供するための宿泊セミナーを開催した。	グループディスカッション等を通じて、共通の関心を持つ他校の高校生世代と意見交換しながら、共に学ぶ場を作った。	22人	2024年12月14日～15日	湘南国際村センター	—		重点施策4
青少年国際交流セミナー等開催事業②	多文化共生社会の実現をけん引できるリーダー的人材育成のため、大学生や若手社会人等を対象に、市民による多文化共生活動への理解を深めるためのセミナーを実施した。	動画視聴と質問提出を事前学習としたことで、参加者の基礎知識が深まった。	17人	2024年7月13日	横浜YWCA及び横浜中華街（横浜市中区）	—		重点施策4
(2)創造的活動等の推進								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
ア創造的活動の推進と発信								
054県立文化施設による新たな舞台芸術作品等の創造・発信								
開館50周年記念オペラシリーズ Vol.1.2 サルヴェアトール・シャリノ作曲『ローエングリン』	世界的に著名な現代作曲家による、音楽史に残る前衛的名作を、オリジナルプロダクションによって日本初演した。	過去30年来オリジナルなオペラ上演を行ってきた県民ホールの歴史性を活かし、故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、開館50周年を迎える県民ホール本館における主催公演の白眉となる公演を行った。	①912人 ②1008人	2024年 ①10月5日 ②10月6日	県民ホール大ホール	上演前の準備を前年度から重ね、プレレクチャー等の演目への理解を含める関連企画も含めて発信した。		
C×C 作曲家を訪ねる旅 Vol.6 酒井健治×クロード・ドビュッシー	現代の作曲家による委嘱新作と、クラシックの著名な作曲家のカプリングによるオリジナルな企画公演を行った。	過去30年来積極的に現代作曲家に新曲委嘱を行ってきた財団として、故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、小ホールの特性を生かし、開館50周年を迎える県民ホール本館における主催公演の白眉となる公演を行った。	291人	2024年5月11日	県民ホール小ホール	公演当日プレトークを行った。		
「ありがとう神奈川県民ホール」音の記憶、空間の記憶～オルガン委嘱作品コンサート～	県民ホール休館を前に、ゆかりあるオルガン奏者を中心に、委嘱新作を交えてオルガンの現代を表現するコンサートを実施した。	過去30年来積極的に現代作曲家に新曲委嘱を行ってきた財団として、故一柳慧芸術監督の方針を引き継ぐ沼野芸術参与のアドバイスのもと、小ホールの特性を生かし、開館51周年を迎え、休館となる県民ホール本館における主催公演の白眉となる公演を行った。	392人	2025年3月29日	県民ホール小ホール	—		
創作環境と劇場の未来を考え、劇場の創造活動の核を育てていく取組「カイハツ」	①戯曲カイハツ「エウロペアナ」 ②創作プロセスカイハツ「ボン・パーク&原サチコによるワークショップ」 ③カイハツ・ワークショップ 瀬戸内サーカスファクトリー×KAAT「現代サーカスのための技術創作ラボラトリー」（共催）※関連企画「報告会」あり ④戯曲カイハツ「The Jungle」を読む会 ⑤戯曲カイハツ「sexual misconduct of the middle classes」を聞く会 ⑥企画・人材カイハツ 池内美奈子企画「アクティヴ・アナライズを実践しウクライナ戯曲を読む」 ⑦戯曲カイハツ「Infinite Life」を読む会 ⑧企画・人材カイハツ 目黒陽介企画「現代サーカスやパントマイムのパフォーマンスによる演劇的作品の可能性を探る」 ⑨戯曲カイハツ ステファノ・マッシーニ「アイヒマン 夜の始まるころ」を聞く会 ⑩戯曲カイハツ永野愛「カズオ」を聞く会	・劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエーションのアイディアをカイハツするプロジェクトとして、2021年度より開始した。新たな表現の実験、ジャンルを横断したアーティストの交流、様々な情報の収集などの活動を行った。 ・「企画・人材カイハツ」「創作プロセスカイハツ」「戯曲カイハツ」を軸に、劇場の創作活動の核を育てていくことを目指す取り組みを行った。	①11人 ②17人 ③25人※55人 ④26人 ⑤14人 ⑥17人 ⑦7人 ⑧20人 ⑨10人 ⑩9人	2024年 ①4月25日 ②7月16日～20日（5日間） ③8月19日～25日（6日間）※8月25日 ④9月19日、26日 ⑤10月17日 ⑥10月25日～11月4日（8日間） ⑦11月1日 ⑧12月18日、24日～27日（5日間） 2025年 ⑨3月21日 ⑩3月23日	KAAT神奈川芸術劇場 アトリエ、大スタジオ	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。	再掲	
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	30, 165人	10演目（102公演）・3企画（3回）・1展覧会	KAAT神奈川芸術劇場	—		
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待つとく」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	1595人	2024年5月24日～6月2日（10公演）	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ）	京都、福岡、沖縄での巡回公演も行った。	再掲	
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	4046人	2024年9月16日～10月3日（15公演）	KAAT神奈川芸術劇場（ホール内特設会場）	—		
KAAT×山田うん×池上高志「まだここ通ってない」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	351人	2024年10月18日～20日（3公演）	KAAT神奈川芸術劇場特設会場	—		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol.2 「花と龍」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	4961人※2月19日334人を含む	2025年2月8日～22日（14回）※2月19日「やさしい鑑賞回」	KAAT神奈川芸術劇場（ホール）	2月19日に「リラックスパフォーマンスを考える」として、鑑賞サポートとリラックスパフォーマンスの要素をとり入れた「やさしい鑑賞回」を設けた。 巡回公演として富山県、兵庫県、福岡県で公演を行った。	再掲	
KAAT芸術劇場プロデュース音楽劇「愛と正義」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	1524人	2025年2月21日～3月2日（9公演）	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ）	—		
日英国際共同制作 KAAT×Vanishing Point 「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」	日英の国際共同制作により新たな舞台芸術作品の創造と公演をKAATで実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	1738人	2024年11月28日～12月8日（10公演）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	英国公演を行った。	再掲	
KAAT×ケダゴロ×韓国国立現代舞踊団 「黙れ、子宮」	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	583人	2024年12月13日～15日（4公演）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—		
開館70周年記念（本公演・関連企画）	音楽堂の音響や空間特性に最適な室内楽サイズのオペラ作品を、独自のプログラミングにより毎年開催していくシリーズ。 今年度は日本を代表する古楽団体による、世界最古の本格的オペラの復刻新制作上演を行った。 （本公演） 音楽堂室内オペラ・シリーズ第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディ オペラ『オルフェオ』新制作（関連企画） ①400年前の音楽に出会おう！リコーダーワークショップ ②昭和音楽大学公開講座「古楽の音楽づくりを体験する」 ③オペラ『オルフェオ』を読み解くワークショップ～バロックオペラへの誘い～ ④街なかトークカフェ「オペラ界きっての売れっ子！オルフェオの魅力をさぐる	兵庫県立芸術文化センターとの共同制作という形で全国的発信を行い、県内各地と連携した関連企画の実施など一連の取り組みに対して外部助成金を獲得した。	（本公演 2日間延べ） 1644人 （関連企画） ①814名/830名（館の催し全体） ②67人 ③112人 ④37人	（本公演） 2025年2月22日、23日（関連企画） ①2024年11月16日 ②2024年12月21日 ③2025年1月9日 ④2025年1月15日	（本公演） 音楽堂（関連企画） ①ひらしん平塚芸術文化ホール ②昭和音楽大学 ③杜のホールはしもと ④音楽堂ホワイエ	県内各地の施設と連携し、関連企画として、親子連れ、古楽初心者、音楽大学の学生といった多様な層に対する様々な関連企画を行った。	再掲	
開館70周年記念記念週間 ①アーカイブ展 ②音楽堂建築見学会 ③音楽堂ファミリーデー ④開館70周年記念ガラコンサート 紅葉坂の四季	開館70周年を迎えた音楽堂の音響や名建築としての空間特性、歴史などに鑑みて様々な角度から楽しみ、音楽文化に理解と親しみを深める、展覧会、シンポジウム、子どものための公演とワークショップ、室内楽ガラコンサートなどの多様な1週間の企画を実施した。	開館以来のポスターやプログラム、写真等の開館以来の貴重なアーカイブ資料を、開館記念週間常設で見られる展覧会の形で展示し、各公演の来場者は同時に鑑賞するようにした。 また関連グッズの作成、会場販売などで記念週間の盛り上げに務め、年度当初にアーカイブのパイロット展示を含む記者発表を行うなど、広報に務めた。	①336名 ②303名 ③275名 ④654名	①2024年10月31日～11月4日 ②2024年11月2日 ③2024年11月3日 ④2024年11月4日	①音楽堂ホワイエ ②音楽堂ホール他 ③音楽堂ホール他 ④音楽堂ホール	—		
令和6年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	昨年度に引き続き、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式をとった。	【応募数】 5団体	2024年7月1日～12月27日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—	再掲	
055文化芸術団体や民間企業・芸術系大学等との連携による新たな文化芸術の創造・発信								
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	30,165人	10演目（102公演）・3企画（3回）・1展覧会	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
県内巡演企画 KAATカナガワ・ツア－プロジェクト第二弾 「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人魚姫」	KAATの長塚芸術監督が神奈川県内のエピソードを題材に創作したオリジナル作品を、KAATを皮切りに県内5ヶ所の劇場を巡回した。	観劇体験のない方でも気軽に観劇していただけるよう、親しみやすい題材や広報ビジュアル、上演内容を立案した。	公演：2,647人 関連企画：82人	2024年2月3日～3月3日	ハーモニーホール座間 川崎市アートセンター 小田原三の丸ホール 逗子文化プラザホール 茅ヶ崎市民文化会館	各地で、芸術監督によるアフタートークやイベントなどをおこなった。	再掲		
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集： 2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集： 2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲		
(3)文化資源の活用									
ア文化資源を活用した地域の活性化									
056伝統的な芸能や伝統工芸などの地域に伝承されてきた文化資源の発掘・発信・体験の促進									
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①17人 ②29人 ③25人 ④44人	①2024年7月12日(金) ②2024年7月27日(土)・28日(日) ③2024年8月8日(木)・9日(金) ④2024年8月12日(月祝)・13日(火)	①三崎小学校 ②秦野市立西公民館 ③横須賀市文化会館 ④県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、65人(回答者数)全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。	再掲		
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①238人 ②242人 ③200人 ④126人 ⑤171人	①2024年9月26日 ②10月3日 ③12月2日 ④2025年2月20日 ⑤3月18日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③二宮高校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲		
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①15人 ②6人 ③17人	①2025年1月18日(土) ②2025年2月8日(土) ③2025年3月2日(日)	①サン・エールさがみはら多目的室 ②あつぎ市民交流プラザamyuスタジオ ③青少年センター練習室	—	再掲		
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	429人	2024年11月10日	県立青少年センター	—	再掲		
カナガワリ・古典プロジェクト in 川崎・横浜鶴見	川崎市と横浜市鶴見区の2か所を会場に事業を行った。 川崎では、多様で豊かな民俗芸能の公演を実施するとともに川崎市に伝わる獅子舞及び神奈川県にゆかりのある世界の獅子舞の公演を実施した。 また、横浜鶴見では県内にある2つの寺院の声明公演を行った。	川崎では、ホール近隣の屋外においても、ミニステージを実施し、往来の方々に民俗芸能の訴求を行った。	【川崎】 543名 (来場者393名、出演者150名) 【横浜鶴見】 284名 (来場者253名、出演者31名)	【川崎】 2024年11月23日 【横浜鶴見】 2024年10月26日	【川崎】 川崎市コンベンションホール 他 【横浜鶴見】 横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール	—	再掲		
かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 こども達が主体的に参加できる機会を増やし、より一層こども達の成長や達成感を高めるため、複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施したほか、子どもスタッフの取組みも開始した。	648人	メインプログラム 2024年10月28日 事前ワークショップ(講談・箏曲・手妻) 9月23日、10月13日、10月14日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると97.0%にのぼった。その中でも伝統芸能ワークショップ参加者に絞ったアンケートでは、満足度が100%に達した。	再掲		
県立歴史博物館における特別展の実施	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」、「かながわへのまなざし」、「仮面鉤欄」、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」、コレクション展「おひろめ!」、「横浜正金銀行」を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。各特別展ごとに夜間開館日を設け、日中來館しにくい層の來館を促した。	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」14,752人、「かながわへのまなざし」10,238人、「仮面鉤欄」14,257人	特別展「近代輸出漆器のダイナミズム」4月27日～6月30日、「かながわへのまなざし」8月10日～10月6日、「仮面鉤欄」10月26日～12月8日、特別陳列「戦国大名北条氏と西相模・伊豆」令和6年3月16日～4月14日、コレクション展「おひろめ!」7月20日～9月16日、「横浜正金銀行」11月9日～12月22日	県立歴史博物館	—	再掲		
県立生命の星・地球博物館における特別展の実施	テーマに沿った常設展示と、常設展示を補完する特別展(年1回)、企画展(年1回)、ミニ企画展示を通じて、資料収集、調査研究の成果を、県民をはじめとする利用者に広く伝える。	令和6年度は「博物館の30年の歴史を振り返る」特別展と、体験型の展示を中心とした「砂」の企画展を企画し、それぞれ実施した。	特別展観覧者数53,601人、企画展観覧者数25,399人。	特別展「生命の星・地球博物館の30年-120万点から厳選した資料で振り返る-」令和6年7月13日～11月14日 企画展「すなふしぎをみつこう」令和7年2月22日～5月11日	生命の星・地球博物館特別展示室	ミニ企画展示「友の会の皆さまと共に」・「相模川流域図」・「現生動物から読み解く恐竜の姿」・「地球博の30周年はみだし展-特別展で展示できなかった標本たち-」・「断層岩-断層運動によって変形した岩石-」・「初三郎が描いた大雄山最乗寺を比べる」・「地球博のへび」・「友の会の皆さまと共に-学芸員や私たちといっしょに自然を楽しみませんか-」(全8回)	再掲		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
民俗芸能調査事業費	地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、「菊名のあめ屋踊り」をはじめ、県内に伝承される「飴屋踊り、万作踊り」について、歴史や芸能の特徴等の記録保存調査を行った。令和4年度から調査を開始し、令和6年度に報告書を刊行した。	「飴屋踊り・万作踊り」の芸能の特徴とも言える衣装について、染織文化の専門家の協力を得て調査を行った。	調査員4人、補助調査員2人	現地調査・文献調査2024年4月6日ほか77回	三浦市南下浦町菊名、横須賀市長井ほか	—	再掲	
関東ブロック伝統的工芸品展2024	関東甲信越静地区の伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行うもの。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：40万人	2024年12月17日から19日まで	浅草浅草寺	神奈川県は3産地組合とも不参加。		
伝統的工芸品祭 銀座名匠市	大消費地での全国伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数・阪急うめだ：7万人・松屋銀座：25,571人	阪急うめだ：2024年7月17日から22日まで 松屋銀座：2025年2月19日から24日まで	阪急うめだ 松屋銀座	—		
工芸技術所内公開と寄木ストラップ作り	かながわサイエンスサマーの参加行事として、工芸技術所の所蔵品を専門員の解説付きで案内するとともに、寄木ストラップ作りの体験を行った。	地元広報誌での情報掲載や、地元小学校への個別広報等、広く周知活動を行った。	来場者数：138人	2024年8月1日	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		
工芸技術所所蔵品公開	11月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行った。	県のたよりや、地元広報誌での情報掲載等、広く周知活動を行った。	来場者数：12人（中小企業支援課小田原駐在事務所会場）	2024年11月21日、27日、12月4日（中小企業支援課小田原駐在事務所会場） 2024年11月1日から11日まで（かながわ県民センター会場）	中小企業支援課小田原駐在事務所及びかながわ県民センター	—		
伝統的工芸品と宿泊事業者とのマッチング事業	有名宿泊施設と連携して、本県の伝統的工芸品を宿泊施設にて展示・販売した。	有名宿泊施設と本県の伝統的工芸品産地との連携を構築した。	ロビーでの展示であるため、来場者数不明	2025年1月9日から2月28日	ホテル椿山荘東京	—		
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県の無形民俗文化財及び民俗行事等の催行日時の情報をホームページに掲載した。	—	ページビュー数：1,687件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（飴屋踊り、万作踊り）」の調査報告書を刊行することができた。	再掲	
057文化資源を活用した文化観光の促進								
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。 トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マگカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—		重点施策 4
フィルムコミッション活動支援事業	神奈川ロケーションサポートデスクの設置（制作会社からの問合せに対して、お薦めロケ地のPRや、フィルムコミッションの紹介、市町村との調整などの機能を担う。）	公益社団法人神奈川県観光協会の実施する各種観光プロモーション事業と効果的かつ一体的に実施するため、2018年4月から同協会に神奈川ロケーションサポートデスク事業を移管。	神奈川ロケーションサポートデスクへの問い合わせ件数…105件	通年	（公社）神奈川県観光協会	—		重点施策 4
神奈川県民ホールくろージングイベント	県民ホール休館前の最終日に、県民や利用者への感謝を込めて、小ホールでのオルガン無料演奏や建物へのプロジェクションマッピング、建物の照明を消していくイベント等を行った。	—	—	2025年3月31日	県民ホール本館	—		重点施策 4
前川建築見学ツアーin音楽堂	ボランティアグループbridgeと協働し、音楽堂の見学ツアーを定期的に実施した。	全4回の実施の内1回を高齢者や障がいをお持ちの方にもお楽しみいただけるよう「ゆっくりめぐる建築ツアー」として開催した。	①52名／46名 ②29名／26名	2024年5月23日 2024年8月27日	音楽堂	bridgeには音楽堂開館70周年記念週間の建築見学会にも協力を求め、スポット解説に務めてもらった。		重点施策 4
音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの5館の連携事業	5館共同で「紅葉ヶ丘まいらん・アートな初詣／スタンプラリー・見学会」を開催し、地域を回遊するスタンプラリーなどを実施したほか、県立青少年センターの「子どもフェスティバル」開催日はサテライト会場として音楽堂ミーツィングルームを設け、クイズや展示などを行った。	通年の取り組みとして5館をとりまく紅葉ヶ丘地域全体の魅力や歴史を伝える「まいらんさんぽマップ」作成し、音楽堂をはじめ5館や横浜市内観光施設等に配架した。	—	2025年1月11日～26日	音楽堂、県立図書館、県立青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーほか周辺地域	イベント広報にあたり、横浜市中区役所、伊勢山皇大神宮等地域の様々な組織の協力を得ることで地域ネットワークの強化ができた。		重点施策 4

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAATフレンドシッププログラム	街の一部である劇場、またあらゆる人々に「ひらかれた」劇場を目指し、外を歩く人々からも中を見渡せるKAATのアトリウムを会場として、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベント等を開催。 ①（共催）「クラウンパレード 2024 in KANAGAWA笑いで平和を」 ②「KAATマルシェ」 ③KAATキッズ・プログラム×KAATフレンドシッププログラム「みんなのKAAT バックステージツアー for KIDS」 ④「みんなのKAAT バックステージツアー」 ⑤（YPAMフリンジ）Mirai Circus Network「日本現代サーカスネットワーク Mirai Circus Network ショーケース」 ⑥「横浜中華街 2025横浜春節祭 ランタンオブジェ展示」	—	①250人 ②600人／500人 ③33人 ④28人／37人／31人／25人／31人／33人／25人／31人 ⑤200人	2024年 ①4月7日 ②7月6日、7日／12月21日、22日 ③8月4日（2回） ④8月24日／9月24日／10月28日／11月10日／12月16日／2025年1月19日／2月17日／3月9日（16回） ⑤12月8日（3回） ⑥2025年1月20日～2月25日	KAAT神奈川芸術劇場（ホール、大スタジオ、小スタジオ、アトリウム、※県民ホール噴水前広場）	—		重点施策 4
KAAT神奈川芸術劇場の広報活動	横浜中華街とタイアップし、劇場の公演チケット提示で加入店舗で特典が得られるようにしたり、中華街マップを作製したりした。 その他野毛大道芸で劇場広報宣伝活動を行ったり、横浜開港祭イベントに参加したりした。	—	—	通年	—	—		重点施策 4
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info—」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	重点施策 4
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。 併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。 また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度PV（ページビュー）数 554, 612	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策 4
湘南邸園文化祭2024	9月～12月にかけて相模湾沿岸の12市町の邸園等において、29の市民団体等により55のイベントを実施した。	—	延べ約42,000人	2024年9月8日～12月11日	相模湾沿岸地域一帯の邸宅・庭園等	—		重点施策 4
箱根ジオパーク推進協議会事業	・再認定審査の対応 ・保全活動の実施 ・普及活動の実施 ・フォトコンテストの開催 ・ガイド養成講座の実施 ・サポーター講座の開催 ・ジオツアーの実施 ・教育活動の実施 ・箱根ジオパーク特産品のPR ・サインの整備 ・防災活動の実施 ・パンフレット等作成	・サイン整備事業において、多言語版ページを作成した。 ・ガイド養成講座において、講座を会員用HPで公開することで参加しやすい方法とした。 ・ジオツアーはオンラインで実施した。 ・関東大震災から100年という節目の年であったため、箱根火山に関する講演会を行った。	・サポーター講座（第1回：4人 第2回：10人 第3回：8人 第4回：15人） ・ジオツアー20人 ・教育部会一般講座123人 ・小学生を対象とした講座（春休み：20人 夏休み：203人）	通年	通年	—		重点施策 4
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進	世界遺産登録を目指す「鎌倉」の構成資産について、適切な保存管理と積極的な公開活用を図るため、県費補助金による助成を行った。また、文化財保護ポスター事業に係り「世界遺産登録をめざす鎌倉」部門の最優秀作品をポスターとして県内各地に掲示し、機運の醸成を図った。	—	—	—	—	—		重点施策 4
「日本遺産」に関する情報提供及び支援	「日本遺産」の新規認定申請について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。	—	—	—	—	「日本遺産」の「候補地域」の募集について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。		重点施策 4
058文化資源を活用した地域のにぎわい創出								
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。 また、アニメーションを作成し、6カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：277件	—	県内全域	—	再掲	重点施策 4

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	重点施策4
かながわバフォーミングアーツアワード2025	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわバフォーミングアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 57団体 22世紀飛翔枠：7団体 【来場者数】 ファイナル：288人 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：44人	ファイナル：2025年3月15日～16日 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2025年1月19日	ファイナル：KAAT 神奈川芸術劇場 22世紀飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	再掲	重点施策4
令和6年度かながわミュージカルアワード	神奈川県内で活動する市民ミュージカル団体等を公募し、出張審査によりかながわミュージカルアワードを決定した。	昨年度に引き続き、各参加団体の公演を審査委員が出張審査しアワードを決定する方式をとった。	【応募数】 5団体	2024年7月1日～12月27日	各参加団体の公演会場（神奈川県内に限る）	—	再掲	重点施策4
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	9,412人 再生回数：23,769回 公演等回数：42回	2024年4月～2025年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原市生涯学習センターけやき、神奈川県民ホール 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が90.2%となった。	再掲	重点施策4
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,667人	2024年4月～2025年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施。	再掲	重点施策4
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。 併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。 また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度 PV（ページビュー）数 554,612	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策4
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	7929人	2024年4月～2025年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や県外の団体からの応募が増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策4
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：158件 助成団体数：66件 採択額：56,587千円 参加者数：45,608人 オンライン視聴者数：114,854人	1次募集： 2024年2月15日～3月15日募集、4月26日及び5月24日交付決定 2次募集： 2024年6月4日～7月12日募集、8月23日及び8月30日交付決定	—	—	再掲	重点施策4
マグカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	令和6年度は年間通して計14回実施。	出演者数：1026人 参加者数：123,382人	4/28、5/12、5/25、5/26、6/16、6/23、9/22、9/29、10/6、10/13、11/24、12/1、12/8、3/9	県庁前日本大通り	—	再掲	重点施策4
(4)景観の形成								
ア良好な景観の形成								
059「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進								
景観計画策定等に係る意見交換会	神奈川景観づくり基本方針では、景観づくりを推進する上で市町村の役割の重要性から「全ての市町村が景観行政団体となるよう支援する」旨を定めており、未移行団体の町と意見交換を実施した。	—	7町1村	2025年1月28日	WEB開催（ZOOM）	—		
060文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討								
文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。	—	—	—	—	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。		
(1)学校施設、公共的施設の活用等								
ア公共的施設等の活用								
061学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用								
マグカル開放区	県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施した。	令和6年度は年間通して計14回実施。	出演者数：1026人 参加者数：123,382人	4/28、5/12、5/25、5/26、6/16、6/23、9/22、9/29、10/6、10/13、11/24、12/1、12/8、3/9	県庁前日本大通り	—	再掲	
県立学校施設開放事業	県立学校の音楽室などの学習施設や、グラウンド・体育館などの体育施設を県民の学習・文化活動やスポーツ活動の場として提供した。	地域住民が利用しやすいよう、土曜日又は日曜日のいずれか半日以上を、可能な限り開放時間に指定している。	学習施設：開放校数22校、利用人数2,484人 体育施設：開放校数139校、利用人数207,753人	通年	各県立学校	—		
(2)県立文化施設の充実								
ア県立文化施設の機能の充実								
062県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充								

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県民ホール本館の休館にむけた準備	休館前の施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	休館前で新たな工事・修繕を行わない中でも、日々の施設の利用に支障を来すことなく点検等を行い、安全に運営することができた。	—	通年	県民ホール本館	—		重点施策5
KAAT神奈川芸術劇場の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	KAAT神奈川芸術劇場	ホール吊物機構、舞台連絡設備改修（ITV・音声連絡設備）など、20件の修繕・工事を実施した。		重点施策5
県立音楽堂の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	音楽堂	バックヤード電動シャッター修理、電気錠バッテリー交換工事、ホール3階南階段モニター更新工事、3点吊りマイクワイヤー交換を実施した。		重点施策5
県立近代文学館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	—	—	通年	神奈川近代文学館	空調関連設備、エレベーターなどの修繕・工事を実施した。また、県のLED化工事等により各室照明のLED化をすすめた。		重点施策5
青少年センターホール等の整備・改修	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設利用者への影響をなるべく少なくするように工夫しながら、改修工事を実施する。	—	通年	青少年センターホール等	ホール三点吊マイク装置の更新、舞台設備改修工事の契約を締結した。		重点施策5
県立図書館の再整備	施設・設備の老朽化や、資料の収蔵スペース不足などの課題に対応するとともに、新たな魅力を備えた図書館とするための再整備を行う。	県民サービスの低下を招かないよう、開館しながら工事を実施している。	—	通年	神奈川県立図書館	—		重点施策5
県立の美術館や博物館の老朽化対策	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設利用者への影響をなるべく少なくするように工夫しながら、改修工事を実施する。	—	通年	歴史博物館、生命の星・地球博物館	歴史博物館のエレベーター更新工事、照明のLED化、生命の星・地球博物館の空調工事等		重点施策5
063施設の機能としての人材育成								
KAAT神奈川芸術劇場2024年度インターン舞台技術コース	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	—	3人	2024年8月31日～9月16日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
グリーンシアター・ワークショップ ①～持続可能な舞台芸術を目指して～ ②～国内の舞台作品のサステイナブルな事例を学び、実践につなげる～	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①50人 ②25人	①2024年6月10日 ②2025年3月11日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
①KAAT舞台技術講座2024「実現するちから」を学ぶ～舞台映像編～ ②KAAT神奈川芸術劇場×東京芸術劇場KAAT舞台技術講座2025「～舞台演出における無線制御と関連法令～『技適』って何？」	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①50人 ②77人	①2024年7月9日 ②2025年1月21日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
避難体験 in KAAI#2《お笑いライブ》～爆笑で劇場が揺れる？いいえ、これは地震訓練です～	劇場で大規模災害が発生した時を想定して、県民にモニターとして参加してもらい、お笑いライブとともに実地での避難訓練を行った。	—	569人	2025年1月27日	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
2024年度 神奈川県立 音楽堂&神 奈川県民 ホール 制作 広報イン ターン	制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。	7人	2024年8月27日～9月24日	音楽堂、県民ホールほか	—	再掲	重点施策5
昭和音楽大学大学院寄付講座 「音楽マネジメント特殊講義Ⅵ」	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	—	15人	2024年12月25日、27日	県民ホール、音楽堂	—	再掲	重点施策5
NDT(ネザーランド・ダンス・シアター) プレミアム・ジャパン・ツアー2024 レポート リークラス	海外の文化芸術の県民への鑑賞機会の提供のために海外の優れたダンスカンパニーの公演を実施するにあたり、ワークショップを行った。	—	99人(参加者)	2024年7月2日、3日	県民ホールリハーサル室	—	再掲	重点施策5
2024年度 神奈川県立 音楽堂&神 奈川県民 ホール 制作 広報イン ターン	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	7人	2025年9月4日	県民ホール本館、音楽堂ほか	—	再掲	重点施策5
劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者を主な対象とし、専門性を高く設定した人材育成講座を実施した。 ①神奈川県民ホール講座 障害者差別解消法について 文化へのアクセスをデザインする～ミュージアムと合理的配慮～ ②オルガンアドバイザー中田恵子による職員向けオルガンレクチャー ③令和6年度神奈川県公立文化施設協議会 第2回技術研修会 劇場におけるドローンの活用について	公立文化施設協議会の幹事館として他の県内文化施設スタッフも対象とするものや、県民ホールの職員のバイブルオルガンの知見を高めるための、専門性の高い外部講師を招いて今日的課題に迫る内容での実施を行った。	①85人 ②29人 ③38人	①2024年7月4日 ②2024年9月4日 ③2024年9月11日	①県民ホール大会議室 ②県民ホール小ホール ③県民ホール小ホール	—	再掲	重点施策5
オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・ブロムナード・コンサート Vol.408 出演者オーディション	若手のオルガニストの発掘機会となる、県民ホールで実施する公演へのオーディションを実施した。	—	5人（参加者）	2024年8月21日	県民ホール小ホール	—	再掲	重点施策5
横浜バレエフェスティバル2024 ①出演者オーディション ②【木村優里 特別ワークショップ】	共催事業である横浜バレエフェスティバルの一環として下記を行った。 ①出演者のオーディションを行い、県民ホール賞の授与を行った。賞のトロフィーは女子美術大学出身の若手作家による作品を用いている。 ②専門的なワークショップを行った。	—	①29人（参加者） ②122人（参加者）	2024年 ①4月29日 ②8月1日～3日	県民ホール大ホール、リハーサル室	—	再掲	重点施策5
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	419人	2024年8月7日、8日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：90.3%」「良かった：5.7%」と合わせて96.0%であった。	再掲	重点施策5
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、時代のニーズに合ったプログラム（ステージング）を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：431人	中学校：2024年8月3日、4日 高等学校：2024年7月29日、30日	青少年センター	—	再掲	重点施策5
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、高校生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	ステージング編3人 舞台衣装編8人	ステージング編 2025年1月25日 2月2日 舞台衣装編 2025年2月11日 2月22日	青少年センター	—	再掲	重点施策5
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を作り上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：17人 成果発表公演観覧者数：198人	2024年6月～9月 ※レッスン 成果発表公演：2024年8月31日、9月1日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策5
イ運営方法の点検等								
064利用者対象のアンケート調査などの施設運営の質を向上させる取組の実施								

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
利用者満足度調査	来館者・貸館利用者・ホームページ閲覧者等を対象に満足度調査を実施した。	調査回答数を増やすため、期間を2カ月程度で実施。	—	2024年11月1日～12月31日	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂、各館ホームページ	—		
神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会	3館一体による効率的な運営が行われているかチェックするため、公募委員を含む6名により指定管理者が行う主催事業を中心にモニタリングを行い、その内容について年1回会議を開催した。	—	—	2024年4月1日～2024年3月31日	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等	—		
行政によるモニタリング（月報、事業報告書、モニタリング結果報告、指定管理業務総括調査）	指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づくモニタリングを実施した。	—	—	月例報告書の確認：毎月モニタリング結果報告書作成：年1回	—	—		
県立の美術館や博物館の利用者満足度調査	来館者に対して、施設の満足度をはかるアンケートを実施した。	—	県立図書館 665人 川崎図書館 400人 金沢文庫 428人 近代美術館 412人 歴史博物館 2,298人 生命の星・地球博物館 4,721人	県立図書館 R6.10.29～R6.11.03 川崎図書館 R6.10.29～R6.11.4 金沢文庫 通年 近代美術館 通年 歴史博物館 通年 生命の星・地球博物館 R6.7.19～8.31、R7.3.15～3.16	県立図書館 川崎図書館 金沢文庫 近代美術館 歴史博物館 生命の星・地球博物館	—		
(3)情報通信技術の活用								
ア情報の発信								
065ホームページ、SNS、ポータルサイト等を活用した文化芸術情報の提供の強化								
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の誕生日命日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：325,392件 安部公房展特設サイトアクセス数：39,764件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	講演会の動画公開など新たにコンテンツを公開した。	再掲	
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度PV（ページビュー）数 554,612	通年	インターネット上	—	再掲	
外国語観光情報ウェブサイト	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info—」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—	再掲	
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX（旧Twitter）で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX（旧Twitter）で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力を伝えるよう発信した。	X（旧Twitter）発信件数：253件	—	—	—	再掲	
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。また、X（旧Twitter）上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：12件 X（旧Twitter）発信数：625回	—	—	—	再掲	

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における情報提供の実施	HPやSNS（X、Instagram）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、プレスリリース資料を個別に送付する等、きめ細やかな情報提供に努めた。休館期間に入ってから、館長ブログを新設し、SNSと併せてタイムリーな情報発信をしている。	727件 【内訳】 HP：23件 SNS：422件 特別展等チラシ・ポスター：8件 記者発表（参考資料送付）：7件 プレスリリース：3件 イベント：4件 催し物のご案内：1件 博物館だより：3件 WEB無料媒体：28件 新聞等アウトカム分：228件	—	—	—	再掲	
県立図書館における情報提供の実施	県立図書館で開催する講座、展示等の催し物、建物や所蔵資料等の魅力についてホームページやX、Instagram等のSNSを通じてきめ細かく発信した。	県立図書館に関する情報や資料を容易に入手できるよう、ホームページ、SNS等の更新頻度を高めた。	—	—	—	—	再掲	
県立生命の星・地球博物館における情報提供の実施	ホームページにて講座やイベントの紹介および募集や、特別展、企画展などの紹介を随時行っている。また、特記すべきイベント情報や展示についてはSNS（X）でも紹介している。	季節性のあるイベントはトップページに大小のバナーで告知するなど利用者の目にとまりやすいよう臨機応変に作成している。	令和6年のホームページの更新は739回、閲覧数（トップページ）は664,445件で、SNS（X）のポスト数は193回。	随時	生命の星・地球博物館	—	再掲	
066保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用								
県立図書館における収蔵資料等のアーカイブ事業	「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として神奈川県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、webサイトで公開している。	デジタルアーカイブシステムにより画像の検索、拡大表示等の機能や高精細画像の提供を行っている。	新規公開：79件	—	—	—		
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：3,909件	—	—	—		
県立生命の星・地球博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料をミュージアムで管理する。また、ミュージアムに登録されている資料を収蔵資料データベースにて一般県民に公開する	日々、登録点数を増やすとともに、資料に付随する画像を登録することで、メタデータだけでなく画像資料も増やす努力を行っている。	令和6年度新規登録資料数 48,333点	—	生命の星・地球博物館	—		
県立金沢文庫における「国宝 金沢文庫文書データベース」の公開	金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを改良し、他の史料データベースとの連携を可能にして、利便性を向上させた。	より検索しやすいシステムに改良するとともに、公開件数を増加させた。	アクセス件数：39,023件	—	—	—		
イ利便性の向上								
067施設利用予約システムの運用などの利用者サービスの向上								
施設予約システムの運用	公共施設利用予約の共同運営を実現するための神奈川電子自治体共同運営サービスを県と市町村が共同して提供する。	原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図る。	2024年度利用件数 1,101,644件（県のみ） （内訳） ・抽選申込数 949,879件 ・予約申込数 151,765件	通年	—	—		
ウ文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存								
068県立文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進								
県立近代文学館における所蔵資料のデータベース化	所蔵資料（図書、雑誌、特別資料）のデータベース化は、利用者の利便性向上のために重要であることから、当年度もインターネット公開を進めた。	独自の入力項目等により、近代文学の専門館としてのデータ水準を維持している。	特別資料検索利用登録者：148人（累計2,929人） 夏目漱石デジタルアーカイブ延べユーザー数：21,336 中島敦直筆資料デジタルアーカイブ延べユーザー数：26,363	通年	神奈川近代文学館	本年度の図書、雑誌、特別資料を合わせた電算化入力件数は13,816冊（件）となり、累計は1,304,167冊（件）となった。特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）に関しては、新たに3,173件のデータがインターネットで検索可能となった。		
音楽堂の利用に関するプログラムの保管とデジタル化	神奈川県立音楽堂での全ての利用に関して、貸館、主共催を問わずプログラムを保管・製本したほか、「開館70周年記念週刊」の「アーカイブ展」開催に際し、過去のポスターの一部をデジタルデータ化した。	—	—	—	—	—		
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：3,909件	—	—	—	再掲	
県立歴史博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料のデータベース化を推進した。	デジタルアーカイブとしてインターネット公開している。	登録件数：9,011件	—	—	—		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和6年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立図書館における収蔵資料等のアーカイブ事業	「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として神奈川県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、webサイトで公開している。	デジタルアーカイブシステムにより画像の検索、拡張表示等の機能や高精細画像の提供を行っている。	新規公開：79件	—	—	—	再掲	
(4)文化芸術活動に対する支援の促進								
ア文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進								
069寄附税制等に関する周知								
かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）	県のふるさと納税及びかながわキンタロウブックキフの寄附メニューに文化事業のメニューとして「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を掲載し、寄附を募った。	—	60人、5団体	通年	—	寄附総額 10,570,363円		重点施策5
070文化芸術団体への寄附の促進								
神奈川芸術文化財団やK A A T 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂への寄附の促進	神奈川芸術文化財団HPや主催公演プログラムに芳名一覧を掲載するとともに、募集告知を行い寄附を集めた。	チケット発売情報を掲載するメールマガジンや財団ホームページ、各館プログラム等広報ツールにて小口寄附の募集を告知した。	賛助会員数 法人：46社 個人：18人 永年個人：2人 一般寄附、オンライン小口寄附等：72件	通年	—	寄付を行っていることをもって効果的に発信し、広く理解を集める必要がある。	個別協賛：4件 その他協力：3件	
県立近代文学館への寄附の促進「友の会」	神奈川近代文学館「友の会」は、近代文学館を積極的に利用していただく方に向けて、入館料無料、行事や刊行物の会員価格割引、会員限定行事の開催など、さまざまな事業を行った。	—	会員数：1,034人	—	—	今年度も目標の1,000人を達成した。		
県立近代文学館への寄附の促進「神奈川近代文学館を支援する会」	「神奈川近代文学館を支援する会」は、法人、団体、事業主または個人を対象に近代文学館の広報や支援に協力いただくとともに寄附による税額控除を行っている。	—	会員数：102人(142口)	—	—	今年度も目標の100人を達成した。		
071メセナ企業等に関する情報の提供								
企業メセナ協議会の相談窓口	「助成認定制度」の相談窓口として周知や積極的な活用を促進した。	県民ホールの入り口でのプレートを設置やパンフレットの設置等を行った。	—	通年	—	公益社団法人企業メセナ協議会の準会員として、報告会等に参加し、情報収集を行う。		
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2024年度 PV（ページビュー）数 554,612	通年	インターネット上	—	再掲	
（一財）地域創造関連	地域における創造的で文化的な活動を振興し、心豊かな地域づくりの推進に寄与することを目的に設立された一般財団法人地域創造に負担金を提出し、神奈川の芸術文化振興のための環境づくりを行う。	—	—	—	—	■（一財）地域創造が行った令和6年度助成事業の採択結果 ①神奈川芸術文化財団での活用 R6：創造（一般）県立音楽堂 室内オペラプロジェクト 助成額10,000 千円 ②市町村での活用 （藤沢市） R6：創造（一般）藤沢市民オペラ2022-2024 シーズン市民オペラ「魔笛」 助成額10,000 千円 （平塚市） R6：連携 ザ・キャピタルパニー 大給本美術展 ＜童謡讃歌＞ 助成額5,000 千円 （茅ヶ崎市） R6：連携 邦楽演奏家集団 東京民謡倶楽部 茅ヶ崎公演 助成額2,400 千円 ■地域伝統芸能等保存事業 ①かながわ伝統芸能祭実行委員会での活用 R6：かながわ伝統芸能祭「かながわ伝統文化こども歳時記」助成額2,000 千円 ②市町村での活用 R6：小田原市168千円・横須賀市190 千円・三浦市32 千円・厚木市244 千円・海老名市175 千円・二宮町180 千円・松田町300 千円		
民間助成団体の支援事業に関する情報提供及び団体の推薦事業（地域創造関係を除く）	民間団体からの助成事業について、助成を必要としている市町村や関係機関に役立つよう、広く周知を行う。	—	—	—	—	■民間助成団体支援事業に関する情報提供（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団（公財）三菱UFJ信託地域文化財団（公財）三井住友海上文化財団（公財）関西・大阪21世紀協会（万博）■独立行政法人日本芸術文化振興会・芸術文化振興基金に関する情報提供		
(5)顕彰の実施								
ア顕彰の実施								
072神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。 2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏いただき、催し全体で文化を盛り上げることができた。	1,167人	2024年11月3日	神奈川県民ホール大ホール	受賞者6人（文化賞：4人、未来賞：2人）	再掲	

V 進行管理のための参考指標等

1 総合計画「新かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け

総合計画は、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の将来のあるべきすがたを描き、それに向けて県がどのような政策を展開するのか、県民の皆さんにお示しするものです。

県では、2012 年に「かながわグランドデザイン基本構想」を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

そうした中、社会環境の変化を踏まえ、「かながわグランドデザイン基本構想」を見直し、「新かながわグランドデザイン基本構想」を取りまとめました。また、2040 年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2024 年度から 2027 年度の 4 年間に取り組む政策を示した「新かながわグランドデザイン実施計画」を策定しました。

実施計画においては、5つのテーマを設定し、各テーマに沿って重点施策を分野横断的にとりまとめた 13 のプロジェクトなどに着実に取り組むこととしています。文化芸術はテーマⅠ「希望の持てる神奈川」のプロジェクト4「文化・スポーツ～心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会～」として位置付けられています。

また、超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、プロジェクトをさらに複合的に実施する取組を「神奈川の戦略」として5つの戦略をまとめており、神奈川の戦略4「マグネット・カルチャーの推進」として、文化芸術の力により、ゆとりとうるおいの実感できる社会の実現を目指すため、「マグカル」の取組を推進することとしています。

なお、総合計画を補完する個別計画として「かながわ文化芸術振興計画」が位置付けられています。

プロジェクト4 文化・スポーツ～心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会～

人生 100 歳時代の本格的な到来が予想される中、文化芸術やスポーツに誰もが親しみ、生きがいを持ってくらすことができる、将来に希望の持てる社会が求められています。そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、「マグネット・カルチャー（マグカル）」などを推進し、あらゆる人の文化芸術活動の充実に取り組みます。また、誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進やスポーツ活動を広げる環境づくりに取り組みます。こうした取組を通して、文化芸術やスポーツの振興を進めるとともに、誰もが生涯にわたって心身ともに豊かな生活をおくることができる、活力ある地域社会の実現をめざします。

指標

- 1 年間に文化芸術の鑑賞・参加を行った割合
(県民ニーズ調査)

2021 年度 ※参考値(文化庁「文化に関する世論調査」)	39.8%
2023 年度 ※参考値(文化庁「文化に関する世論調査」)	48.5%
2024 年度	67.8%

V 進行管理のための参考指標等

具体的な取組

A 誰もが文化芸術に親しむための取組の推進

- 年齢や障がい等により、文化芸術へのアクセスが困難な方々が、文化芸術活動に参加できるよう、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる取組である「共生共創事業」をはじめとして、創作活動の支援や、アウトリーチ等による参加機会の提供に取り組みます。
- 伝統的な芸能の体験や子ども・若者が文化芸術に触れる機会の提供など、文化芸術活動が県内各地で展開され、地域の活性化にもつながるよう取り組むとともに、文化芸術イベントの一体的な広報や「マグカル・ドット・ネット」を活用した情報発信、団体等の支援に取り組みます。
- 生涯を通じたかながわの人づくりを進めるため、県立社会教育施設の公開講座など、県民の学びを支援します。
- 誰もが文化芸術に親しめる場である県立文化施設や、生涯学習の基盤である県立社会教育施設の機能充実を図り、鑑賞事業や体験事業などの取組を推進します。

KPI（重要業績評価指標）	年度	目標値	実績値	達成率
① 共生共創事業の参加者（出演者、観覧者等）満足度（%）	2022		77.8	
	2023		85.0	
	2024	80.0	90.2	112.7%
	2025	81.0	—	—
	2026	82.0	—	—
	2027	83.0	—	—
② 神奈川文化プログラム認証件数（件）	2022		605	
	2023		554	
	2024	620	559	90.1%
	2025	620	—	—
	2026	620	—	—
	2027	620	—	—
③ 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数（PV）	2022		478,223	
	2023		551,370	
	2024	485,600	554,612	114.2%
	2025	489,400	—	—
	2026	493,200	—	—
	2027	497,000	—	—
④ 県立文化施設、県立社会教育施設の利用者満足度（%）	2022		96.3	
	2023		97.6	
	2024	96.5	96.8	100.3
	2025	96.5	—	—
	2026	97.0	—	—
	2027	97.0	—	—

※ プロジェクト4のうち「文化」のみ抜粋

V 進行管理のための参考指標等

SDGs との関係について

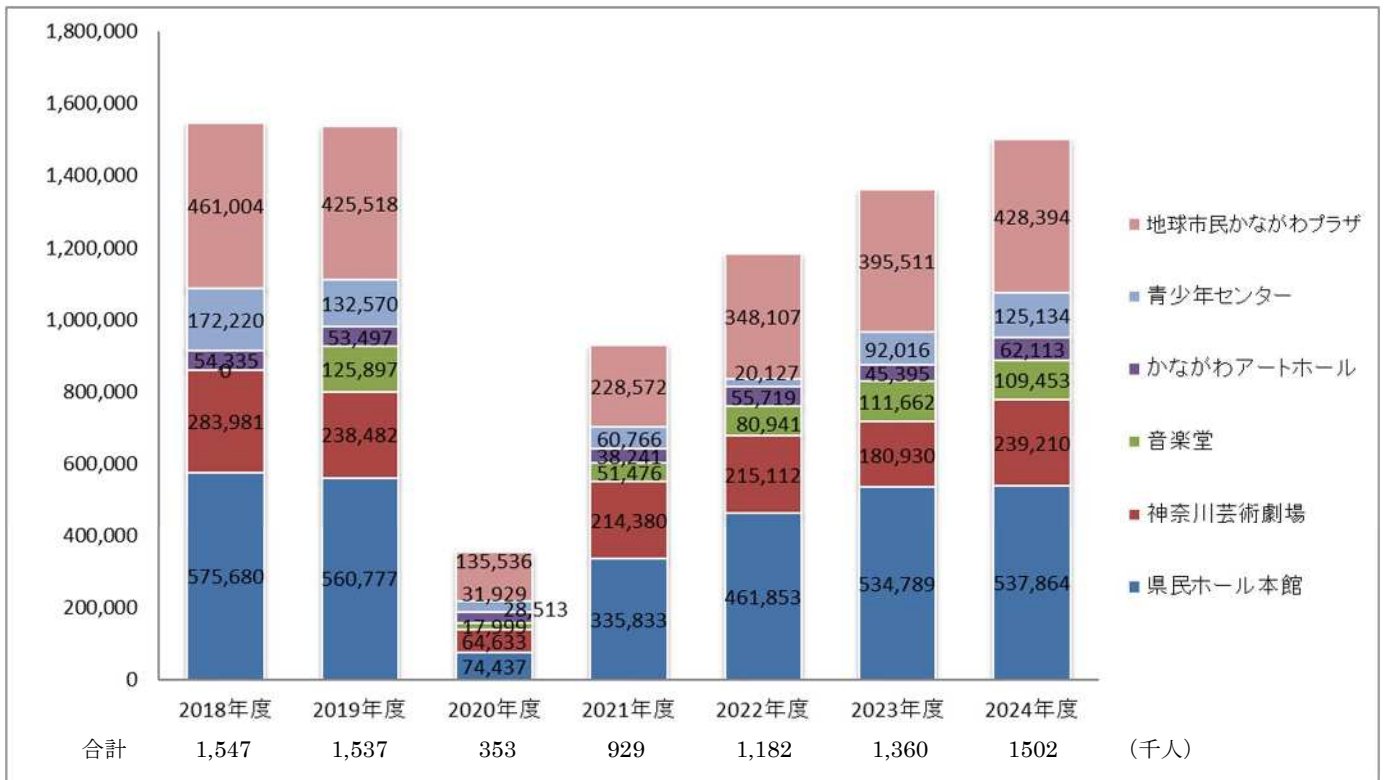
「実施計画」では 13 のプロジェクトと SDGs の 17 のゴールとの関連を分析し、整理しています。プロジェクト 4「文化・スポーツ」は、ゴール 3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール 4「質の高い教育をみんなに」、ゴール 5「ジェンダー平等を実現しよう」、ゴール 8「働きがいも経済成長も」、ゴール 9「産業と技術革新の基礎をつくろう」、ゴール 10「人や国の不平等をなくそう」、ゴール 11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール 15「緑の豊かさを守ろう」、ゴール 16「平和と公正をすべての」、ゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に関連しています。



V 進行管理のための参考指標等

2 県立文化施設の利用者数

(1) ホール・劇場等



○休館期間

県民ホール本館：2018年4月1日から5月31日（大ホールのみ）

音楽堂：2018年4月1日から2019年5月31日

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る休館期間】

県民ホール本館：2020年4月7日から8月31日

2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）

KAAT 神奈川芸術劇場：2020年4月7日から7月13日

2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）

音楽堂：2020年4月7日から8月31日

2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）

かながわアートホール：2020年4月13日から6月19日

2021年1月9日から10月24日（既に予約済みのものは除く）

青少年センター：2020年4月7日から8月31日

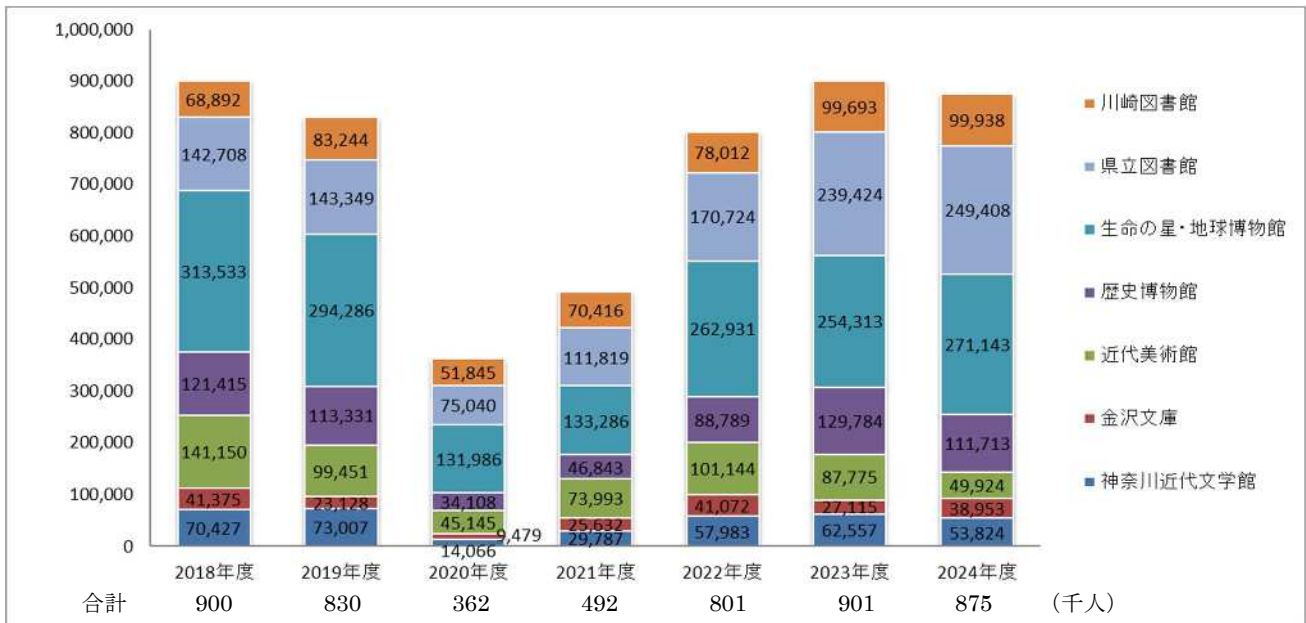
2021年1月8日から10月24日（既に予約済みのものは除く）

地球市民かながわプラザ：2020年4月9日から5月31日

2021年1月9日から10月25日（既に予約済みのものは除く）

V 進行管理のための参考指標等

(2) 美術館・博物館等



※県立近代美術館：葉山館、鎌倉別館のこと

○休館期間等

金沢文庫：2019年11月18日から2020年3月26日

近代美術館

鎌倉別館：2017年9月4日から2019年9月30日

2020年7月6日から2021年3月31日

葉山館：2020年1月から6月（展示休止）

2024年10月1日から2025年3月31日

※2024年12月14日から2025年3月2日は展示室外で「栗林隆 Roots」展を開催。

県立歴史博物館：2016年6月1日から2018年4月27日

2025年1月1日から2025年3月31日

神奈川近代文学館：2021年12月1日から2022年3月31日

2023年1月31日から2月10日

県立図書館：2022年4月12日から2022年8月31日

※2022年4月12日から2022年8月14日は臨時閲覧室を開館。

川崎図書館：2017年12月1日から2018年5月14日

生命の星・地球博物館：2021年11月1日から2022年3月15日

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る休館期間】

神奈川近代文学館：2020年3月4日から6月12日

2021年1月12日から3月19日

2021年3月20日から10月24日（事前予約した方に限り入館可能）

県立金沢文庫、県立近代美術館、県立歴史博物館、生命の星・地球博物館：

2020年3月4日から6月8日

2021年1月12日から3月21日

2021年3月22日から10月25日（事前予約した方に限り入館可能）

V 進行管理のための参考指標等

2022 年 1 月 21 日から 3 月 21 日（事前予約した方に限り入館可能）

県立図書館、川崎図書館：2020 年 4 月 12 日から 5 月 26 日

※2020 年 3 月 4 日から 4 月 11 日 臨時窓口（仮設カウンター）

※2020 年 5 月 27 日から 6 月 8 日 臨時窓口（仮設カウンター）

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度

（1）全県

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	年度	生活重要度		生活満足度	
		重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	2024	49.3%	15.8%	23.8%	21.8%
	2023	49.5%	14.2%	22.2%	24.4%
	2022	51.4%	14.4%	21.8%	22.3%
	2021	49.9%	14.9%	20.2%	24.0%
	2020	51.3%	12.2%	21.3%	22.0%
	2019	48.4%	14.4%	26.4%	19.5%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	2024	80.1%	3.1%	22.8%	34.1%
	2023	76.4%	2.3%	20.3%	35.0%
	2022	79.2%	2.8%	21.3%	35.4%
	2021	76.4%	3.3%	21.4%	36.2%
	2020	75.6%	3.5%	20.4%	31.3%
	2019	71.9%	5.1%	17.5%	33.6%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	2024	64.7%	6.7%	22.3%	16.7%
	2023	63.0%	6.1%	17.7%	18.0%
	2022	65.7%	6.8%	19.2%	18.0%
	2021	63.8%	6.5%	20.2%	18.0%
	2020	67.1%	5.6%	21.6%	17.1%
	2019	65.8%	4.9%	19.1%	16.7%

（2019、2020、2021、2022、2023 年度県民ニーズ調査）

V 進行管理のための参考指標等

(2) 地域別

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

「文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること」

重要性に関する意識

(人、%) 満足度

(人、%)

		全 体	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	い ま り 満 た さ れ て い な い	ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	分 か ら な い	無 回 答
	上段：実数 下段：%								
居住地域別	全 体	1,206 100.0	38 3.2	248 20.6	502 41.6	202 16.7	61 5.1	116 9.6	39 3.2
	横 浜	472 100.0	17 3.6	106 22.5	193 40.9	74 15.7	23 4.9	47 10.0	12 2.5
	川 崎	160 100.0	5 3.1	33 20.6	65 40.6	28 17.5	4 2.5	19 11.9	6 3.8
	相模原	89 100.0	3 3.4	14 15.7	41 46.1	22 24.7	4 4.5	2 2.2	3 3.4
	横須賀三浦	112 100.0	6 5.4	35 31.3	39 34.8	14 12.5	5 4.5	10 8.9	3 2.7
	県 央	117 100.0	4 3.4	15 12.8	57 48.7	20 17.1	5 4.3	10 8.5	6 5.1
	湘 南	166 100.0	1 0.6	28 16.9	73 44.0	29 17.5	12 7.2	19 11.4	4 2.4
	県 西	51 100.0	1 2.0	8 15.7	23 45.1	6 11.8	6 11.8	6 11.8	1 2.0
	無回答	39 100.0	1 2.6	9 23.1	11 28.2	9 23.1	2 5.1	3 7.7	4 10.3
性別	全 体	1,206 100.0	38 3.2	248 20.6	502 41.6	202 16.7	61 5.1	116 9.6	39 3.2
	男 性	538 100.0	17 3.2	106 19.7	236 43.9	76 14.1	29 5.4	61 11.3	13 2.4
	女 性	606 100.0	19 3.1	127 21.0	248 40.9	113 18.6	29 4.8	49 8.1	21 3.5
	無回答	62 100.0	2 3.2	15 24.2	18 29.0	13 21.0	3 4.8	6 9.7	5 8.1
年代別	全 体	1,206 100.0	38 3.2	248 20.6	502 41.6	202 16.7	61 5.1	116 9.6	39 3.2
	18～19歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	20歳代	49 100.0	8 16.3	9 18.4	14 28.6	10 20.4	2 4.1	4 8.2	2 4.1
	20歳代以下	50 100.0	9 18.0	9 18.0	14 28.0	10 20.0	2 4.0	4 8.0	2 4.0
	30歳代	117 100.0	6 5.1	23 19.7	46 39.3	17 14.5	6 5.1	18 15.4	1 0.9
	40歳代	219 100.0	7 3.2	55 25.1	81 37.0	32 14.6	9 4.1	26 11.9	9 4.1
	50歳代	280 100.0	8 2.9	55 19.6	126 45.0	45 16.1	19 6.8	26 9.3	1 0.4
	60歳代	221 100.0	1 0.5	39 17.6	116 52.5	36 16.3	10 4.5	16 7.2	3 1.4
	70～74歳	109 100.0	3 2.8	21 19.3	46 42.2	20 18.3	6 5.5	10 9.2	3 2.8
	75歳以上	161 100.0	2 1.2	33 20.5	58 36.0	32 19.9	7 4.3	13 8.1	16 9.9
	無回答	49 100.0	2 4.1	13 26.5	15 30.6	10 20.4	2 4.1	3 6.1	4 8.2

		全 体	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で な い	ま っ た く 重 要 で は な い	分 か ら な い	無 回 答
	上段：実数 下段：%								
居住地域別	全 体	1,206 100.0	176 14.6	418 34.7	368 30.5	158 13.1	32 2.7	26 2.2	28 2.3
	横 浜	472 100.0	78 16.5	165 35.0	138 29.2	65 13.8	10 2.1	7 1.5	9 1.9
	川 崎	160 100.0	25 15.6	59 36.9	43 26.9	16 10.0	7 4.4	4 7.4	3 1.9
	相模原	89 100.0	5 5.6	37 41.6	27 30.3	18 20.2	-	-	2 2.2
	横須賀三浦	112 100.0	21 18.8	51 45.5	23 20.5	9 8.0	4 3.6	-	4 3.6
	県 央	117 100.0	14 12.0	39 33.3	47 40.2	11 9.4	-	2 1.7	4 3.4
	湘 南	166 100.0	20 12.0	47 28.3	55 33.1	28 16.9	7 4.2	7 4.2	2 1.2
	県 西	51 100.0	5 9.8	10 19.6	21 41.2	8 15.7	3 5.9	3 5.9	1 2.0
	無回答	39 100.0	8 20.5	10 25.6	14 35.9	3 7.7	1 2.6	-	3 7.7
性別	全 体	1,206 100.0	176 14.6	418 34.7	368 30.5	158 13.1	32 2.7	26 2.2	28 2.3
	男 性	538 100.0	71 13.2	167 31.0	167 31.0	85 15.8	24 4.5	15 2.8	9 1.7
	女 性	606 100.0	94 15.5	229 37.8	182 30.0	68 11.2	7 1.2	11 1.8	15 2.5
	無回答	62 100.0	11 17.7	22 35.5	19 30.6	5 8.1	1 1.6	-	4 6.5
年代別	全 体	1,206 100.0	176 14.6	418 34.7	368 30.5	158 13.1	32 2.7	26 2.2	28 2.3
	18～19歳	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	20歳代	49 100.0	12 24.5	17 34.7	9 18.4	7 14.3	2 4.1	-	2 4.1
	20歳代以下	50 100.0	12 24.0	17 34.0	9 18.0	7 14.0	3 6.0	-	2 4.0
	30歳代	117 100.0	24 20.5	33 28.2	19 16.2	28 23.9	8 6.8	4 3.4	1 0.9
	40歳代	219 100.0	28 12.8	72 32.9	65 29.7	35 16.0	10 4.6	4 1.8	5 2.3
	50歳代	280 100.0	51 18.2	89 31.8	89 31.8	42 15.0	5 1.8	4 1.4	-
	60歳代	221 100.0	22 10.0	85 38.5	84 38.0	24 10.9	1 0.5	3 1.4	2 0.9
	70～74歳	109 100.0	10 9.2	46 42.2	37 33.9	7 6.4	2 1.8	3 2.8	4 3.7
	75歳以上	161 100.0	21 13.0	62 38.5	46 28.6	11 6.8	2 1.2	8 5.0	11 6.8
	無回答	49 100.0	8 16.3	14 28.6	19 38.8	4 8.2	1 2.0	-	3 6.1

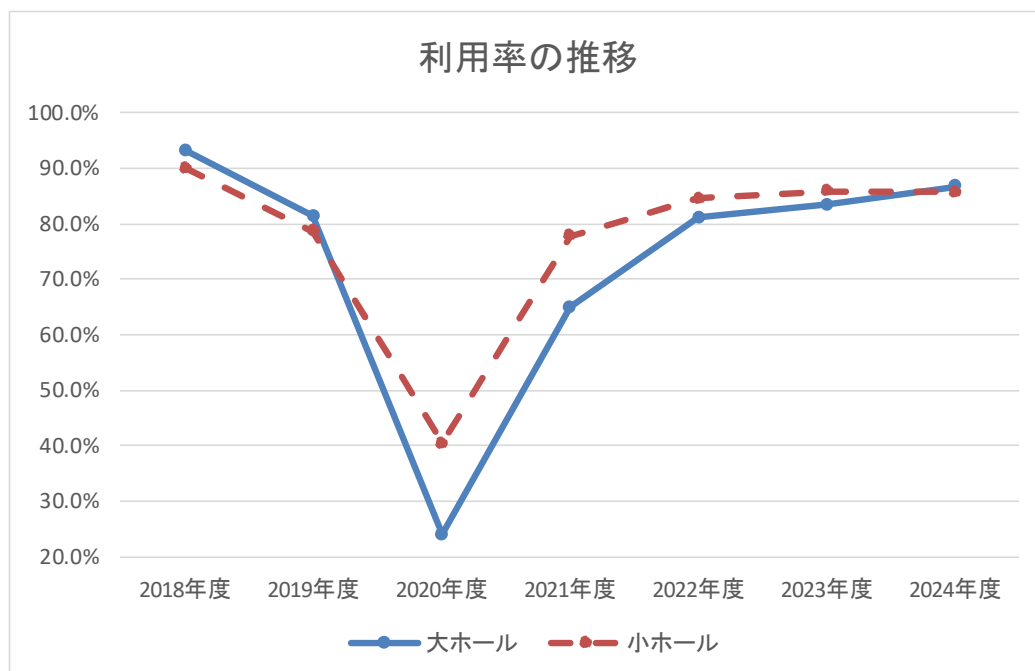
(2024 年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

4 県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）

（1）県民ホール本館

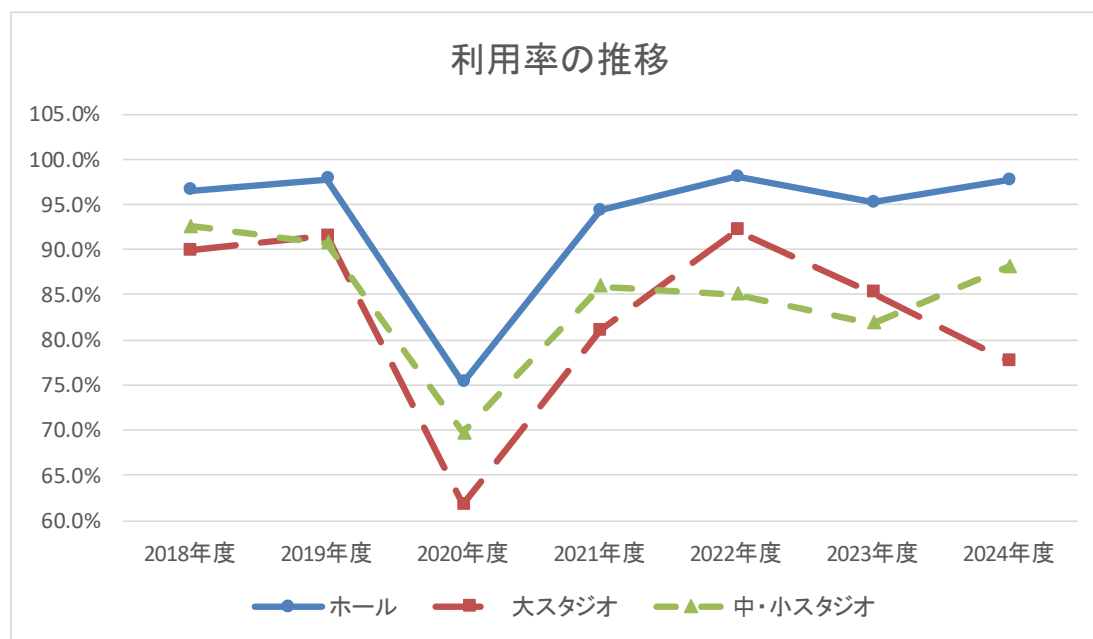
<div> <div>利用状況</div> <div>年度</div> </div>	大ホール			小ホール		
	利用 可能 日数 （日）	利用 日数 （日）	利用 率	利用 可能 日数 （日）	利用 日数 （日）	利用 率
2018年度	282	263	93.3%	339	305	90.0%
2019年度	337	274	81.3%	341	268	78.6%
2020年度	297	71	23.9%	304	123	40.5%
2021年度	334	217	65.0%	338	263	77.8%
2022年度	322	261	81.1%	325	275	84.6%
2023年度	325	271	83.4%	325	279	85.8%
2024年度	322	279	86.6%	328	281	85.7%



V 進行管理のための参考指標等

(2) KAAT 神奈川芸術劇場

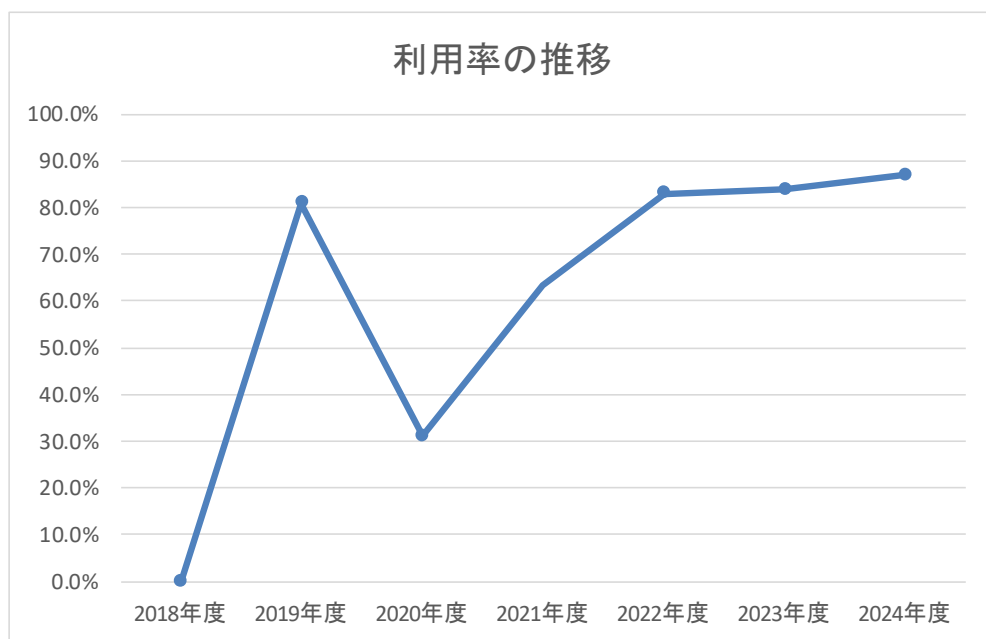
利用状況 年度	ホール			大スタジオ			中・小スタジオ		
	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率
2018年度	319	308	96.6%	336	302	89.9%	349	323	92.6%
2019年度	317	310	97.8%	340	311	91.5%	345	313	90.7%
2020年度	291	219	75.3%	306	189	61.8%	320	223	69.7%
2021年度	281	265	94.3%	338	274	81.1%	349	300	86.0%
2022年度	317	311	98.1%	319	294	92.2%	354	301	85.0%
2023年度	293	279	95.2%	324	276	85.2%	353	289	81.9%
2024年度	311	304	97.7%	299	232	77.6%	353	311	88.1%



V 進行管理のための参考指標等

(3) 音楽堂

利用状況 年度	ホール		
	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率
2018年度	－	－	0.0%
2019年度	246	199	80.9%
2020年度	273	85	31.1%
2021年度	295	187	63.4%
2022年度	278	231	83.1%
2023年度	293	246	84.0%
2024年度	283	246	86.9%

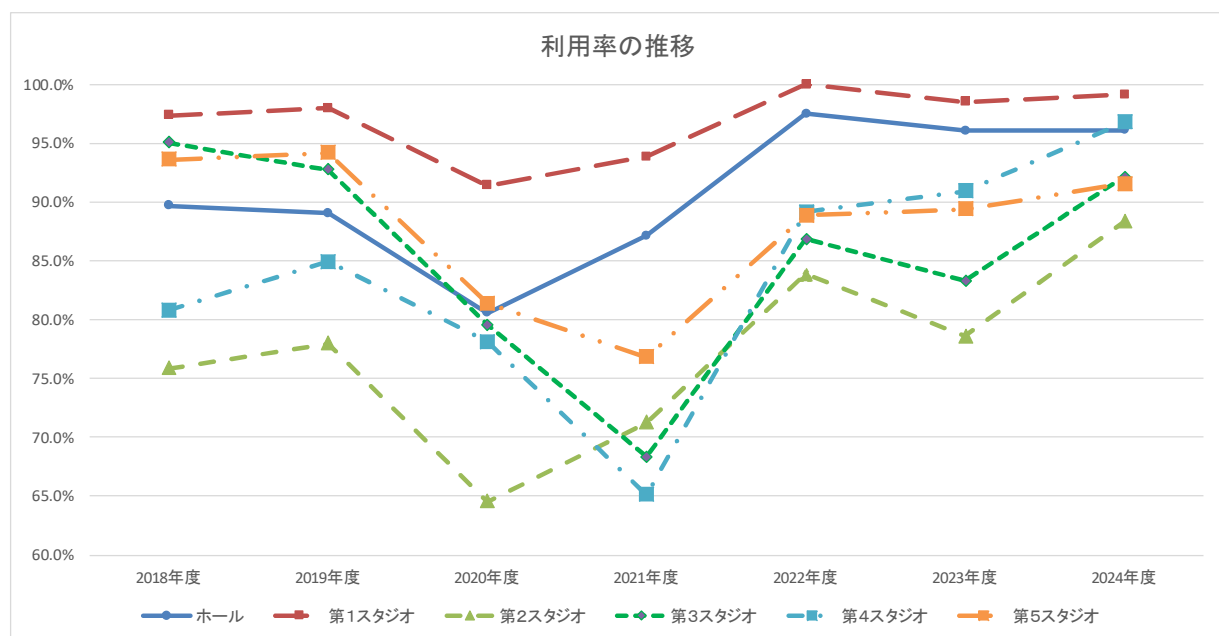


※ 2018年4月1日から2019年5月31日までの期間については、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(4) かながわアートホール

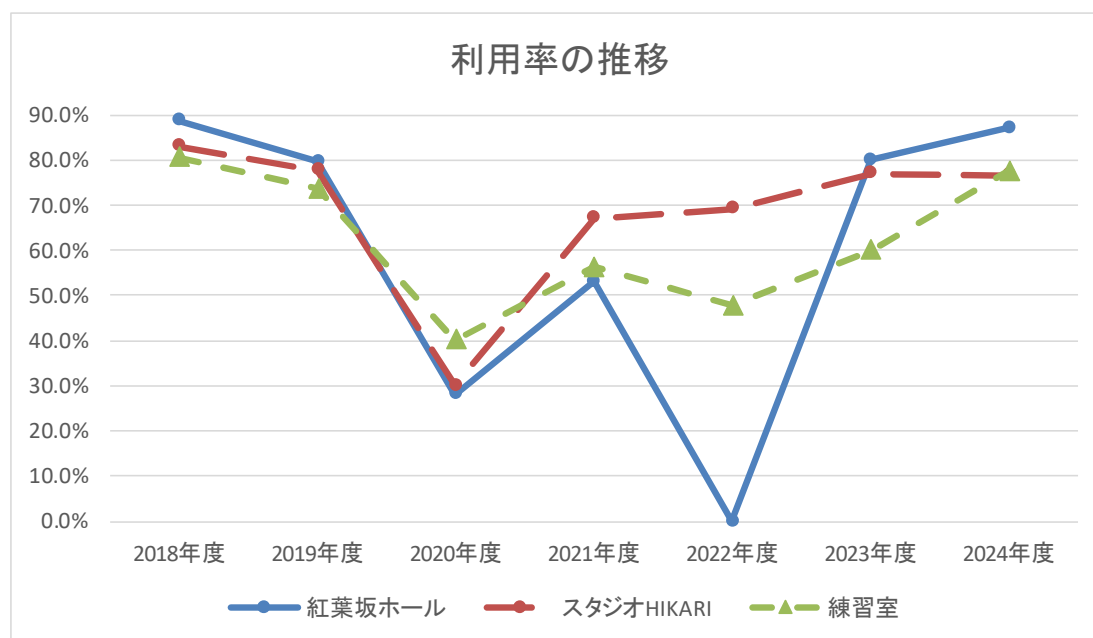
利用状況 年度	ホール			第1スタジオ			第2スタジオ			第3スタジオ			第4スタジオ			第5スタジオ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2018年度	320	287	89.7%	344	335	97.4%	344	261	75.9%	344	327	95.1%	344	278	80.8%	344	322	93.6%
2019年度	338	301	89.1%	345	338	98.0%	345	269	78.0%	345	320	92.8%	345	293	84.9%	345	325	94.2%
2020年度	278	224	80.6%	279	255	91.4%	279	180	64.5%	279	222	79.6%	279	218	78.1%	279	227	81.4%
2021年度	335	292	87.2%	341	320	93.8%	341	243	71.3%	341	233	68.3%	341	222	65.1%	341	262	76.8%
2022年度	322	314	97.5%	340	340	100.0%	341	286	83.9%	342	297	86.8%	342	305	89.2%	341	303	88.9%
2023年度	203	195	96.1%	342	337	98.5%	341	268	78.6%	341	284	83.3%	342	311	90.9%	340	304	89.4%
2024年度	337	324	96.1%	343	340	99.1%	343	303	88.3%	343	316	92.1%	343	332	96.8%	343	314	91.5%



V 進行管理のための参考指標等

(5) 青少年センター

利用状況 年度	紅葉坂ホール			スタジオHIKARI			練習室		
	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率	利用 可能 日数 (日)	利用 日数 (日)	利用 率
2018年度	302	268	88.7%	306	254	83.0%	294	237	80.6%
2019年度	295	235	79.7%	328	255	77.7%	247	182	73.7%
2020年度	291	82	28.2%	326	98	30.1%	279	112	40.1%
2021年度	292	155	53.1%	326	219	67.2%	259	146	56.4%
2022年度	-	-	0.0%	306	212	69.3%	239	114	47.7%
2023年度	201	161	80.1%	317	244	77.0%	250	150	60.0%
2024年度	249	217	87.1%	295	226	76.6%	245	190	77.6%

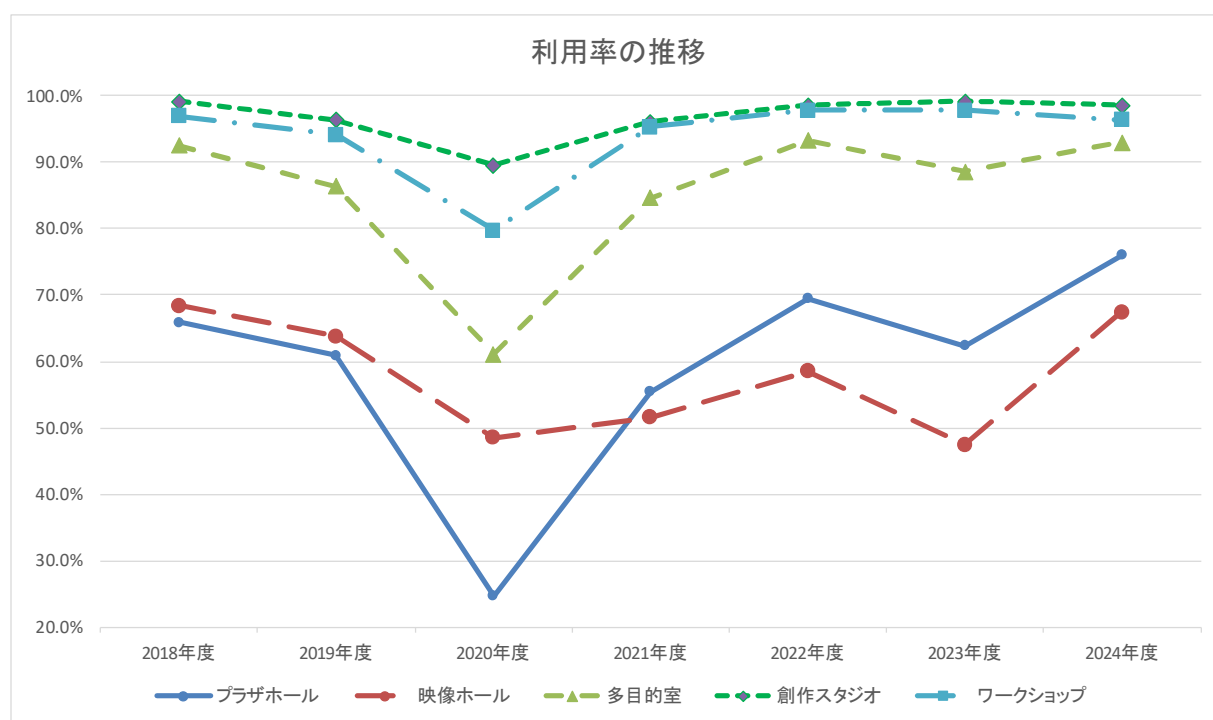


- ※ 「多目的プラザ」を、2019年3月から、「スタジオ HIKARI」としてリニューアルオープン
- ※ 「紅葉坂ホール」は、2022年度は、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(6) 地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

利用状況 年度	プラザホール			映像ホール			多目的室			創作スタジオ			ワークショップ		
	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率
2018年度	340	224	65.9%	345	236	68.4%	359	332	92.5%	359	356	99.2%	359	348	96.9%
2019年度	340	207	60.9%	345	220	63.8%	360	311	86.4%	360	347	96.4%	360	339	94.2%
2020年度	292	72	24.7%	295	143	48.5%	306	187	61.1%	306	274	89.5%	306	244	79.7%
2021年度	350	194	55.4%	351	181	51.6%	359	304	84.7%	359	345	96.1%	359	342	95.3%
2022年度	350	243	69.4%	352	206	58.5%	359	335	93.3%	359	354	98.6%	359	351	97.8%
2023年度	337	210	62.3%	358	170	47.5%	360	319	88.6%	360	357	99.2%	360	352	97.8%
2024年度	346	263	76.0%	353	238	67.4%	359	334	93.0%	360	355	98.6%	359	346	96.4%



V 進行管理のための参考指標等

5 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

都道府県	標本数	推定人口	総数	スポーツ観 覧・観戦(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	美術鑑賞(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	演芸・演 劇・舞踊鑑 賞(テレビ・ スマート フォン・パ ソコンなど は除く)	映画館での 映画鑑賞	映画館以外 での映画鑑 賞(テレビ・DVD・パ ソコンなど)	コンサート などによる クラシック 音楽鑑賞	コンサート などによる ポピュラー 音楽・歌謡 曲鑑賞
		(千人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	171,360	112,462	86.3	14.5	11.4	6.7	29.8	52.7	3.9	5.9
北海道	5,175	4,614	85.4	15.5	8.8	4.6	23.3	51.7	3.9	5.6
青森県	3,243	1,090	78.6	11.9	8.4	3.2	21.1	43.5	1.9	3.4
岩手県	3,418	1,075	82.9	13.2	8.9	4.5	19.2	45.1	3.8	4.5
宮城県	3,399	2,065	87.0	19.2	9.2	6.4	29.0	51.6	3.8	5.5
秋田県	3,515	849	82.1	15.0	9.0	4.4	21.9	46.6	3.3	3.6
山形県	3,665	944	82.4	13.1	10.9	4.5	27.1	46.2	4.1	4.3
福島県	3,601	1,632	81.5	11.2	9.8	3.5	21.2	46.7	2.5	3.5
茨城県	3,451	2,572	85.3	12.1	8.5	3.8	28.6	50.2	2.9	3.1
栃木県	3,523	1,730	83.9	13.4	7.1	3.9	25.9	47.7	2.7	3.9
群馬県	3,587	1,724	85.2	11.6	8.7	4.2	27.9	51.0	4.0	4.5
埼玉県	6,153	6,622	88.4	14.7	9.4	7.6	32.8	55.6	4.2	6.4
千葉県	4,670	5,670	87.0	13.7	8.7	6.3	31.6	53.8	3.3	6.3
東京都	3,496	12,724	91.4	15.1	17.8	12.6	37.4	62.4	6.2	8.3
神奈川県	5,273	8,344	89.2	15.2	12.3	7.8	34.4	58.8	4.8	7.9
新潟県	3,606	1,955	84.0	13.7	12.5	4.5	26.6	49.1	2.9	5.1
富山県	3,584	922	82.6	14.0	13.1	5.8	30.9	48.0	4.2	4.6
石川県	3,365	997	86.2	12.7	13.4	5.6	30.5	50.1	4.2	5.2
福井県	3,538	677	85.2	12.4	13.8	4.8	31.3	50.8	4.6	5.0
山梨県	3,216	725	83.1	14.5	12.1	5.4	24.9	47.5	4.1	5.3
長野県	3,569	1,824	84.8	14.3	11.7	5.9	26.0	48.2	4.1	5.1
岐阜県	3,764	1,764	84.9	11.0	8.7	5.2	27.3	48.2	2.9	4.2
静岡県	3,822	3,241	85.1	13.1	10.5	5.1	27.5	50.0	3.8	4.5
愛知県	6,028	6,728	89.3	16.0	12.1	6.8	33.5	56.3	3.9	6.7
三重県	3,524	1,574	84.2	12.2	8.4	5.1	27.9	48.9	2.4	5.5
滋賀県	3,445	1,261	86.4	14.1	11.1	5.2	29.1	50.7	3.1	4.3
京都府	2,845	2,311	85.6	15.2	15.4	8.8	30.3	53.1	4.4	7.6
大阪府	4,520	7,913	86.7	14.7	11.7	8.2	33.5	54.0	3.8	7.7
兵庫県	4,512	4,871	85.4	13.9	12.4	6.4	27.6	51.2	4.5	5.9
奈良県	3,305	1,183	86.2	13.3	12.1	6.7	28.3	51.1	3.2	6.1
和歌山県	3,214	816	83.3	11.9	8.1	3.8	25.0	46.3	2.8	3.8
鳥取県	3,444	484	81.7	12.0	12.5	4.4	23.0	44.7	2.8	3.4
島根県	3,420	586	82.5	12.5	9.8	4.6	23.3	44.6	3.2	3.7
岡山県	3,284	1,666	85.0	12.4	11.2	4.3	23.9	48.8	3.6	4.1
広島県	3,406	2,474	85.1	22.9	11.4	5.5	29.9	49.9	3.8	5.3
山口県	3,146	1,177	83.9	12.4	8.7	3.7	22.7	46.4	2.6	3.4
徳島県	3,088	632	80.6	12.1	7.2	4.0	23.3	43.7	2.0	3.0
香川県	3,143	837	82.9	11.5	9.3	4.2	25.5	46.9	3.2	3.8
愛媛県	3,347	1,178	84.3	13.0	8.8	3.9	23.1	48.9	2.2	3.3
高知県	2,837	606	81.7	10.8	9.9	3.5	24.2	47.6	2.2	4.3
福岡県	4,383	4,509	85.8	17.4	11.1	7.1	31.1	52.8	3.5	6.1
佐賀県	3,427	703	82.1	13.6	10.3	5.4	25.7	45.0	3.7	4.4
長崎県	3,096	1,135	79.7	13.0	8.9	3.6	20.9	43.6	2.7	3.5
熊本県	3,420	1,511	84.1	15.3	9.6	5.4	29.6	47.8	2.9	5.1
大分県	3,100	979	82.3	17.1	12.8	5.4	25.2	45.2	3.6	4.4
宮崎県	3,084	928	81.6	13.7	9.7	4.2	20.8	44.3	3.9	3.9
鹿児島県	3,002	1,377	81.0	13.3	8.7	4.0	24.2	45.3	2.6	4.3
沖縄県	2,707	1,263	80.0	14.1	6.4	3.5	22.5	48.4	2.3	2.4

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	楽器の演奏	邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	コーラス・声楽	カラオケ	邦舞・おどり	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	53.5	10.2	3.0	1.7	13.5	1.0	1.1	3.4	1.3	0.8
北海道	51.9	9.5	2.7	1.3	14.8	1.0	0.9	3.0	1.0	0.7
青森県	43.4	5.5	2.7	1.0	10.9	1.0	0.7	2.2	1.0	0.5
岩手県	46.0	7.1	2.7	2.1	11.2	1.1	0.7	3.2	1.4	0.9
宮城県	54.1	9.8	2.9	1.5	13.0	0.8	0.7	3.0	0.9	0.5
秋田県	45.1	6.9	2.5	1.3	11.8	1.0	0.6	2.7	1.5	0.9
山形県	45.0	7.5	2.9	1.8	12.5	0.8	0.8	3.5	1.9	1.0
福島県	47.7	7.3	2.7	1.5	11.1	1.0	0.9	2.5	1.1	0.7
茨城県	50.3	8.5	2.4	1.2	12.0	0.6	1.2	3.7	1.2	0.8
栃木県	48.9	8.5	2.1	1.3	12.6	0.6	1.1	2.7	0.9	0.5
群馬県	52.0	8.7	2.4	1.5	13.3	0.9	1.2	3.2	1.2	0.7
埼玉県	56.3	11.2	2.9	1.9	13.0	0.7	1.4	3.9	1.2	0.5
千葉県	55.4	9.9	3.2	1.5	12.5	1.1	1.1	2.8	0.9	0.6
東京都	64.4	14.5	3.5	2.1	16.1	1.5	1.7	3.0	1.0	0.8
神奈川県	59.5	12.1	3.2	2.2	14.0	0.9	1.6	3.4	1.0	0.9
新潟県	48.2	8.0	2.7	1.4	12.1	0.8	1.0	3.7	1.4	0.7
富山県	44.3	8.6	2.2	1.2	11.2	0.9	0.8	3.0	1.5	1.3
石川県	51.0	8.5	2.8	0.9	12.3	0.8	0.6	3.5	2.0	1.2
福井県	49.3	8.8	3.1	1.4	12.7	1.3	0.9	3.5	1.5	1.1
山梨県	47.8	9.6	2.9	1.6	12.3	0.9	0.8	3.9	1.4	0.8
長野県	49.0	9.7	2.3	2.1	14.0	0.8	1.0	3.7	2.0	0.7
岐阜県	48.4	8.5	2.6	1.6	11.8	0.8	0.9	3.9	1.7	1.1
静岡県	50.1	9.7	3.0	1.9	12.8	1.3	1.0	2.8	1.6	0.8
愛知県	57.1	11.2	3.2	1.6	14.9	1.0	1.1	4.1	1.3	0.9
三重県	49.1	8.3	2.5	1.5	12.5	1.2	1.0	3.8	1.4	1.1
滋賀県	52.8	10.3	2.9	1.5	14.1	0.9	0.9	3.8	1.8	0.9
京都府	53.7	11.4	3.3	1.7	13.4	0.9	1.3	3.5	1.7	1.2
大阪府	54.2	10.0	3.4	1.3	14.6	0.8	1.1	3.3	1.2	0.7
兵庫県	52.7	10.1	2.6	1.9	11.7	0.7	0.8	4.0	1.5	0.8
奈良県	51.1	10.4	2.5	1.8	12.9	0.8	0.9	3.9	1.9	1.3
和歌山県	45.8	8.3	2.9	1.1	13.0	0.8	1.2	3.6	1.8	1.0
鳥取県	47.1	9.1	2.1	1.5	12.3	1.2	1.2	3.3	1.5	1.1
島根県	45.4	8.4	2.4	1.5	12.5	1.0	0.6	2.9	2.1	1.2
岡山県	51.2	9.2	2.2	1.6	11.2	0.9	0.8	3.5	1.7	1.1
広島県	51.3	9.0	3.4	1.9	14.4	1.2	0.9	3.6	1.3	1.3
山口県	47.6	9.0	2.4	1.5	12.2	0.6	1.1	3.5	1.7	1.2
徳島県	44.3	7.7	1.5	1.1	9.8	0.8	0.5	3.2	1.5	0.9
香川県	47.6	8.2	2.5	1.7	13.7	1.2	0.8	4.2	1.8	1.0
愛媛県	48.2	7.4	2.1	1.4	14.0	0.7	0.7	2.8	1.3	0.7
高知県	45.7	8.6	2.5	0.9	12.0	1.3	0.7	2.9	1.1	0.6
福岡県	52.5	8.6	3.5	1.4	13.9	1.2	1.6	3.0	1.2	1.1
佐賀県	46.8	7.8	2.8	1.6	12.2	1.0	0.8	4.5	1.3	0.8
長崎県	44.3	7.1	2.2	1.7	12.0	1.2	0.9	3.8	1.1	0.7
熊本県	48.3	8.5	2.0	1.6	14.6	0.9	0.8	3.9	1.2	0.7
大分県	47.5	6.7	2.9	1.1	11.3	0.8	0.6	3.3	1.1	0.6
宮崎県	47.1	8.5	2.7	2.0	12.7	1.1	0.6	3.3	1.4	0.6
鹿児島県	45.7	8.9	2.7	1.6	15.0	1.5	1.0	4.0	1.3	0.5
沖縄県	49.2	10.2	5.5	1.1	13.4	1.1	0.9	3.9	0.7	0.5

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	絵画・彫刻の制作	陶芸・工芸	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説などの創作	趣味としての読書（マンガを除く）
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	5.5	8.8	19.0	26.0	11.0	3.4	1.6	21.9	2.2	31.6
北海道	5.9	10.7	18.7	27.0	12.4	3.1	1.3	21.2	1.8	29.4
青森県	4.1	8.3	13.9	24.4	10.3	1.7	0.9	14.6	1.5	22.7
岩手県	5.7	10.5	17.5	28.8	12.9	2.6	1.6	18.2	1.6	25.3
宮城県	5.2	9.2	20.2	27.3	11.4	2.5	1.8	21.5	2.7	33.0
秋田県	5.8	9.6	17.5	26.9	12.7	2.1	1.1	15.9	1.2	24.6
山形県	5.7	9.3	17.1	29.1	11.3	2.6	1.9	17.8	1.9	25.2
福島県	4.3	8.2	16.0	27.6	11.4	2.3	1.4	17.0	2.1	25.2
茨城県	4.8	7.9	18.8	32.2	13.0	3.4	1.4	22.2	1.8	29.3
栃木県	4.7	7.4	16.7	29.4	11.1	2.9	1.7	19.3	1.6	25.8
群馬県	5.0	7.9	17.5	32.8	11.6	3.2	1.7	21.7	2.1	27.5
埼玉県	6.1	9.1	19.4	28.2	11.8	3.5	1.4	23.6	2.0	34.4
千葉県	6.2	9.2	19.3	26.0	10.5	3.4	1.4	22.4	2.4	33.7
東京都	5.9	8.4	21.9	22.3	9.6	4.5	2.1	27.2	3.5	43.4
神奈川県	6.3	9.7	20.6	25.7	10.7	4.0	1.9	26.7	2.5	38.7
新潟県	5.4	8.3	17.5	28.5	10.9	3.1	1.1	19.0	1.9	28.2
富山県	4.3	7.7	16.1	25.1	11.4	2.5	1.1	18.3	1.7	26.3
石川県	4.9	8.1	18.2	25.2	9.8	2.9	1.7	18.1	1.8	28.3
福井県	4.8	7.6	18.4	25.7	11.1	3.0	2.1	19.2	1.8	27.0
山梨県	4.9	9.1	18.8	29.6	11.5	3.9	1.6	19.2	2.8	28.3
長野県	5.3	8.9	20.1	32.3	12.2	3.1	1.7	19.8	2.6	30.3
岐阜県	4.9	7.8	17.8	27.6	12.2	2.9	1.4	18.5	2.0	25.1
静岡県	5.8	9.5	18.5	28.4	10.8	3.7	1.7	21.0	2.2	29.3
愛知県	6.2	8.8	20.1	26.4	10.9	3.5	2.0	23.8	1.6	31.0
三重県	5.3	8.5	18.4	28.4	12.1	3.0	1.7	20.0	1.6	26.8
滋賀県	5.5	9.2	20.1	27.8	13.6	3.9	2.1	21.8	2.1	29.1
京都府	6.1	9.3	19.5	24.8	10.6	4.4	2.0	23.5	3.1	33.4
大阪府	5.2	9.1	19.3	19.5	10.0	3.5	1.4	21.2	1.9	31.8
兵庫県	5.9	9.7	19.2	24.1	11.2	3.7	2.0	21.1	1.9	30.8
奈良県	5.4	9.1	18.6	28.4	10.9	3.8	1.8	21.4	2.0	31.3
和歌山県	5.2	7.6	16.2	28.6	12.0	3.0	1.7	17.8	1.7	23.9
鳥取県	4.9	8.3	18.6	26.0	10.0	3.1	1.0	17.7	1.9	27.1
島根県	4.4	8.7	16.7	28.9	11.8	2.7	1.7	17.1	2.0	27.1
岡山県	5.4	9.5	20.0	30.1	11.4	3.0	1.5	20.0	2.0	27.1
広島県	4.9	8.4	18.3	25.1	12.5	3.5	1.2	21.0	2.1	28.0
山口県	5.6	9.0	16.1	28.3	10.3	3.0	1.3	19.1	1.9	25.8
徳島県	5.2	8.3	17.2	27.6	10.7	2.5	0.9	16.0	1.6	24.4
香川県	4.9	7.9	17.5	27.4	9.9	3.3	1.1	18.0	2.0	27.0
愛媛県	4.1	7.9	17.1	28.7	10.9	2.3	1.0	18.9	2.4	26.3
高知県	4.9	8.1	15.6	26.0	10.3	2.4	1.3	16.9	1.6	24.4
福岡県	5.1	8.2	18.9	23.1	9.3	3.2	1.5	21.2	2.0	29.3
佐賀県	5.4	8.3	17.6	27.6	11.3	3.2	1.3	18.9	1.5	23.9
長崎県	5.0	7.5	15.7	26.1	10.5	2.5	1.2	16.6	1.5	24.1
熊本県	5.4	8.6	17.2	29.2	12.0	3.0	0.8	21.3	1.6	25.8
大分県	4.5	6.8	16.5	26.4	9.3	2.7	1.3	17.5	1.5	25.0
宮崎県	4.9	6.8	16.3	28.1	11.9	3.0	1.4	18.6	1.6	23.9
鹿児島県	5.3	8.7	17.9	28.9	12.5	2.6	1.8	19.6	1.9	26.4
沖縄県	4.2	6.7	16.1	20.2	12.1	2.7	0.8	15.9	1.3	23.9

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	マンガを読む	囲碁	将棋	パチンコ	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	遊園地、動植物園、水族館などの見物	キャンプ	その他
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	36.8	0.9	3.0	6.3	42.9	19.0	6.0	3.7
北海道	35.5	0.7	2.7	7.8	44.2	16.3	9.1	3.8
青森県	29.3	0.8	2.2	7.6	34.4	10.7	5.3	2.5
岩手県	31.3	0.9	2.2	8.0	36.9	8.2	3.7	2.8
宮城県	38.9	0.9	2.7	7.5	42.5	17.9	6.2	3.2
秋田県	29.9	0.5	1.4	6.7	33.7	14.6	4.0	3.1
山形県	32.7	0.6	2.2	6.9	35.8	12.6	5.9	2.9
福島県	34.3	0.8	2.6	7.0	37.4	13.0	4.7	2.9
茨城県	34.7	0.8	2.7	6.0	41.2	17.4	4.9	3.6
栃木県	33.0	0.6	2.6	6.2	40.5	18.5	5.2	3.2
群馬県	34.8	1.1	2.6	5.4	40.1	16.5	4.8	2.5
埼玉県	38.8	1.0	3.4	5.5	44.0	18.5	6.3	4.4
千葉県	36.8	1.0	2.9	5.2	43.7	19.1	5.8	3.6
東京都	43.2	1.1	3.6	4.4	48.3	23.7	6.7	5.0
神奈川県	41.2	0.9	3.2	5.2	47.9	24.0	6.8	3.9
新潟県	35.1	1.1	3.1	5.3	38.3	16.7	5.1	4.1
富山県	32.7	0.8	2.5	6.5	36.6	16.6	4.3	3.7
石川県	38.6	0.5	2.8	8.1	42.5	14.7	4.6	3.8
福井県	35.1	0.7	2.9	7.9	39.9	14.8	5.0	3.9
山梨県	32.1	1.0	3.3	5.9	36.8	14.7	6.0	3.0
長野県	34.6	1.1	2.4	5.8	36.9	13.4	5.8	3.3
岐阜県	33.9	0.8	2.0	7.8	41.8	15.5	5.4	3.6
静岡県	36.5	1.0	3.3	6.6	42.8	16.7	5.6	3.7
愛知県	40.2	1.0	3.4	7.9	48.4	25.5	8.9	4.2
三重県	34.6	0.7	3.3	7.9	41.1	15.0	4.7	3.6
滋賀県	37.1	0.4	3.0	5.7	43.9	16.9	7.3	3.7
京都府	37.2	1.0	3.2	4.7	43.2	23.9	5.8	3.3
大阪府	38.2	0.9	3.4	8.0	45.7	22.1	5.5	3.7
兵庫県	34.8	1.1	3.0	5.1	41.9	19.0	5.4	3.2
奈良県	32.9	1.0	2.8	4.6	42.4	18.0	5.7	3.4
和歌山県	30.9	0.8	2.3	7.4	37.7	16.3	5.2	3.3
鳥取県	30.8	1.0	3.1	6.8	34.2	10.5	4.2	3.3
島根県	32.3	1.0	3.3	7.6	35.6	12.2	3.6	2.8
岡山県	33.5	1.1	3.4	5.9	39.8	15.0	5.6	3.3
広島県	34.9	0.7	2.5	6.8	41.1	16.3	6.8	3.3
山口県	31.8	0.9	2.1	6.7	37.6	16.1	4.3	3.2
徳島県	32.1	0.7	3.3	5.3	37.3	12.2	4.1	2.9
香川県	33.6	1.0	3.8	6.5	39.6	17.6	4.7	2.8
愛媛県	34.4	0.6	2.6	6.8	39.4	13.2	3.8	2.8
高知県	32.5	1.0	2.8	7.7	37.2	18.1	6.5	2.9
福岡県	36.6	1.1	2.4	6.6	42.5	19.5	6.0	4.2
佐賀県	31.7	0.7	2.8	8.6	36.8	16.4	5.4	3.0
長崎県	29.7	1.3	3.0	7.3	34.9	13.0	3.3	2.7
熊本県	33.1	0.8	2.6	8.2	38.2	17.1	6.5	2.9
大分県	30.9	1.0	2.8	7.4	36.0	16.4	4.7	2.3
宮崎県	29.5	0.8	2.2	8.4	35.9	13.4	5.3	2.5
鹿児島県	31.7	0.7	2.7	8.6	35.2	16.0	6.6	2.4
沖縄県	33.0	0.8	2.1	3.6	36.5	13.7	4.1	2.1

「令和3年『社会生活基本調査』都道府県、趣味・娯楽の種類別行動者率（10歳以上）」

のデータを加工して作成

令和3年 社会生活基本調査 調査対象 全国約9万1千世帯の10歳以上の世帯員（第1次抽出単位を国勢調査調査区とし、第2次抽出単位を世帯とする層化2段抽出法）
調査期日 令和3年10月20日（5年ごと）
調査方法 調査員による調査票の配布及び収集

Ⅵ 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

県の文化芸術振興の総合的な目標等を定めた「かながわ文化芸術振興計画（計画期間：2024（令和6）年度～2028（令和10）年度）」において、「重点施策」及び「基本的な施策」に位置付けた各事業の実施状況を取りまとめたものとして、2025（令和7）年8月21日開催の第38回審議会において、県から報告を受けたところである。

当審議会として報告を受けた内容について審査を行い、課題等について、次のとおり意見を述べ、この年次報告のまとめとする。

・ 重点施策1、2について

伝統芸能の後継者育成支援について、交流ワークショップ等を実施していると思うが、担い手を育成するという点において具体的な成果がどれだけあるのかが心配である。子どもたちに今後も継続して活動してもらえるような取組を進めてほしい。

・ 重点施策3について

共生共創事業は、障がい者のことを忘れないという趣旨で始まった活動であると思うので、高齢者のみならず、障がい者についても引き続き目配りいただきたい。

・ 重点施策4について

YPAM2024 をこれまで継続して開催しており、国際共同制作により KAAT 神奈川芸術劇場が創作した「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」においては、スコットランドで上演し賞を受けている。これは海外との交流だけでなく、それを越えた成果であり、年次報告書で強調されたのは大変良いことだと思う。県内でこのような活動が継続的に実施されているのは、県にとって非常に重要なことである。

・ 重点施策5について

神奈川近代文学館については、所蔵している資料の所蔵スペースに関して、他の施設でも同様の問題が生じているかと思うが、手狭になってきている現状がある。引き続き、文学館の活動を支えるためにも、資料の所蔵場所の確保が必要であるということを、心に留めていただきたい。

・ 年次報告書の記載について

重点施策5「（3）文化芸術活動継続のための支援」について、補助金が2種類あることが記載されており分かりやすい。しかし、民間団体と非営利の団体とで書き分けられていることは何となくは分かるが、県内の地域で活動している方々はこの説明だけで分かりやすいのかが気になった。

年次報告書を積極的に県民の方々に目を通していただき、県の活動について理解をしていただくと同時に、それを知ったことによって自分たちの活動が広がっていく契機になればと思う。例えば、問合せ先の記載があれば、県民の方々の反応が引き出されるきっかけになるのではないかと考える。障がい者の事業について、新しい事業やこれから強調していきたい事業については、反応が引き出されるような仕掛けを作っていただきたい。